滿洲日報
(明治卅八年十二月五日第三種郵便物認可)
二月二十八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橘本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

米の輿論に刺戟され 英も對日滿外交轉換

滿洲國承認論俄に擡頭

【東京特電二十八日發】ロンドン二十六日發電某所着電によれば、米國の滿洲國承認論に刺戟されて英國政界は對日滿外交に一大轉換をみんとする氣勢が漲つて來た、それは日米關係の融和と米國の滿洲國承認運動、帝制確立と滿洲獨立の強化、滿洲における英國の經濟的地位の確保に對する在支在滿英人の要望等に刺戟されたもので、英國としては米國に滿洲國承認の先手を打たれては東洋における外交、經濟の優先的地位を米國に與へることゝなるので頗る狼狽の氣味で、滿洲國承認論が官民を通じて俄に擡頭しつゝある、これらの空氣に鑑み政府は內閣改造を斷行しサイモン外相を更迭せしめて外交行詰り打開を行ふことゝなる模樣である

獨逸の滿洲國承認 急速に實現か

墺國も準備を整ふ

【新京廿八日發國通】三月一日愈々帝制を實施するに至つた滿洲國にドイツが率先して承認するためハルビン總領事バルゼル氏が東京に急行、ドイツ大使と打合せ、ドイツ大使より外務省に諒解を求めた結果、獨、滿兩國交涉は順調に進展しドイツの滿洲國承認は急速に進展するものと觀られ、ついでオーストリヤも滿洲國承認の準備を整へてゐると

聯盟小國側の不安

不承認主義決議を希望

【東京特電二十八日發】ジュネーヴ發某所着電によれば、米國政府が滿洲國不承認のスチムソン主義を放棄する意思ありとの報道に聯盟參加國の連中はかなりあはてた模樣で、廿六日より開かれた諮問委員會では全然沈默を守りそのため却て小國代表者たちを不安がらせてゐる、小國側ではフランスをしてロシアを說かせて五月十四日に開かれる委員會に參加せしめこゝで再び不承認主義の決議をなしたい肚らしい

波蘭が率先して 滿洲國を承認か

駐日公使滿洲國視察

【東京特電二十八日發】駐日ポーランド公使モスシッキー氏は滿洲國視察のため二週間の豫定で二十八日午後一時東京を出發した、同國は列國に先んじて滿洲國を承認するとの說が高い

南米移民出發

【神戸二十八日發國通】南米ブラジルの樂土に輝く希望を抱いて移住する百四十一家族、九百餘名は（男四百九十五名、女四百九名）廿七日午後四時商船ハワイ丸で神戸出帆壯途に上つた、社會大衆黨員で福岡縣々會議員八幡市會議員を兼ねてゐる堂本氏は十ヶ月の豫定で南北アメリカ、歐洲に在留邦人の訪問と移民の實情調査のため同船で出發した

市立中學設立 同盟會祝宴

大連市會並に小學校保護者聯合會を世話役とする市立中學校設立期成同盟會では所期の目的を達したので二十七日午後六時小川市長、岩井少將以下約四十名、喜月に參集し解散を兼ね自祝の粗宴を張つたが、岩井少將は市民の熱烈なる要望により驚異的短期間に目的を達成し入學志望者並に父兄に頗る生色あることを喜び關係方面の善處を謝する挨拶をなしたるに對し、小川市長は市民輿論の力は勅令初まつて以來僅々一週間にして改正の運びに至らしめたる打明け話などを以て答へ一同和氣靄々裡に新中學の前途を祝福した

訥黑間バス

【チチハル二十七日發國通】鐵路總局の直營長途汽車公司では三月一日より訥河黑河間の乘合自動車の定期運行を開始することゝなり一日訥河において盛大なる開通式を擧行することゝなつた

北平における「滿洲國帝制批判」

北平特派員 風間阜

滿洲國執政の登極については現在滿洲國の建設過程が非常なる躍進を示し王道國家成就への第一階段を經過しつゝある時期であるから親滿氣分は各方面に漲つてゐるがこの傾向は各方面に見られ、特にそれが北支に顯著であつて知識階級は日本と滿洲國を誤解せんとし滿洲國へ仕官を希望する人士の急テンポの增加等々に見られることろであるが、帝制確立に對する各方面の輿論が何を暗示するか興味ある問題である。天津のペキン・エンド・テンシンタイムスは

帝制の確立は滿洲國の基礎を益々鞏固にするを以て、支那は失地恢復の如きは絕對に望み無く、列國も終に滿洲國を承認の已むなきに至るであらう。

と評したが、この議論は幾分英國の輿論をも代表してゐる、蓋し英國は曩に在滿の英國領事館の一部分が北平大使館の管轄であつたが今回之を東京公使館に移すことになつた、何事も實地に立脚する英國のことであるから、近き將來滿洲國に對する第一のメッセージがあるであらうことを豫想される。

◇

現在の支那の言論界では滿洲國が成立して以來、僅かの歲月であるから敢て眞意を吐露し得ない情勢にあるが、二十一日の北平新晨報は登極問題より延いて內外の反響を論じ

米國の政策は全く不承認主義の範圍を出てないし、小國からは若干同情の呼聲を博得せるに過ぎない、政府はこのことに關して宣言を發表する以外方法無く、別に方法を求めんとするならば武力以外他に方法が無い、中國今日この資格ありや否やは贅言を要せぬ、吾人の言はんと欲するところは即ち國際的反響も亦彼の如く國內の反響亦斯の如し、この嚴重關頭に當つて、吾人は防止に法無く、消止に力無いから、不妥協の態度を堅持するより外はない、吾人は固より善隣親善に反對しない、而して隣にして我を以て魚肉となす以上、降服より親睦を選ぶべきであらうか？

と述べたが、これには深い暗示があることを發見するであらう、恐らく言論界のリズムの變化の一斑を窺知し得る。在支英字紙中帝制問題については上海ノース・チャイナ・デリーニュースが最も多くの報道と評論をなした、その北平通信には、パパス通信に傳へられた舊の宣統皇帝教師レヂナルド・ジョンストン氏のステートメントを引用し

一九二二年以來帝制を期待する北支の愛國運動は抑壓された

——記者註民國十一年北伐軍の長江進出後北方に對する壓迫を言ふか——

とのジョンストン氏の「愛國心が抑壓された」との言葉は北支における滿洲人と蒙古人について意味するならば、この言は正しい、之を明らかに示してゐる、蒙古の領袖は屢次蒙古人は帝制の下において非常に安定せる生活をなしたと公言して憚らない、この理由によつて中央政府が若し自治の要求を容れなかつたならば、滿洲國へ歸屬を決したであらう、しかし蒙古人と滿洲人は北支人口の一部分を占めるのみであることは記憶すべきであらう。

◇

この問題に關し北方漢人側の懷抱は一般的に不安であり複雜してゐるが、北支の現狀には一般に不滿である、この理由によつて帝制には好意を有するであらう……と述べた、現地における各種事態は南方に反響する、一月二十三日のノース・チャイナ・デリーニュース紙は「滿洲國皇帝」と題して

皇帝の稱號は復辟を意味せずと聲明されたが、しかし清朝の往時を懷古する可能性を勘定に入れなければならぬ、北平（政權を指すか？）の注意深い警戒は想像し得られ、又帝制は滿洲國並に漠然たる蒙古てふ羅地の基礎を確立せんとする決定的な刺戟を與へられることは明らかであらう。

と論じ、宣統帝が如何に民國に於て紛に叛かれ、虐遇を受けられたことに同情を表した。

◇

滿洲國の帝制に關心を持つてゐる英本國の輿論如何を知ることも一の興味あることであるが、之に就て「西洋から見た支那」と題する倫敦一月十一日發O・M・グリーンの滿洲帝制に關する一節に

極東問題に關して英國新聞は最近異常な注意を拂つてゐる、溥儀氏が近く滿洲國皇帝に就かれるとの報道は大標題で報ぜられてゐるが、左傾的分子は是は單に日本が滿洲本土の把持を更に強化せんとする日本の動きであるとしてゐるが、その他の見解では日本の眞の目的は滿洲國をはげまして一人歩きをなし得るやうな狀態に置かんとするにありて友情を以てするがある點では日本にとつてかなりのパートナーとするにあると紙上ではなく話題の上で、來るべき皇帝が結局のところ北平に働きかけるか否かといふ多くの思惑があつて、多數は動きかけるであらうと信じてゐる、この場合外國諸政府の立場と交民巷（北平公使館街）の當惑は彌次馬連中の大きな悅樂となるであらう

と報じてゐる。この報道は在支英人其他の外人も共鳴するところであるが、唯支那一般の心證は南と北で差異あり、北方でも種々の分子があつて表面と裏面とも異り一概に言ふことは出來ぬが、大きな□を起してゐることは事實で、登極は「新京の政府の永久性を證明する」或は否らずとなしする者の民國の態度、歸人の策動をちへて見て□に□持つ連中が多いところもあることも想像される。

政黨合同は 余の持論と一致

久原房之助氏聲明

【東京二十八日發國通】政黨聯盟論擡頭により一國一黨論を放棄したやうに傳へられるので久原房之助氏は談話の形式で左の聲明をなした

時局重大なる故、この際寧ろ政黨は小異を捨て大同につき一擧に合同するにしかず、之は斷じて政黨の解消ではない、自分の持論と精神に一致し理想に近いので反對しない（寫眞は久原氏）

適當の機會に善處

鳩山文相貴族院で言明

【東京二十八日發國通】本日の貴族院本會議で鳩山文相は適當の機會に善處する事を言明した

査問委員會

【東京二十八日發國通】世間の視聽を集めた衆議院の岡本一巳君の發言に關する事實調査委員會も去る二十三日來まる四日間の休みで一寸氣を拔いたが、これで却て新な氣分になり二十八日朝十時三十四分開會された、第五回目の委員會は更に人氣を呼び樺工事件に關する調書の査閱も濟んで問題の解決點に近づいたゞけに開會前の委員のひそ〳〵話にも一抹の殺氣が漲つてゐる、先づ調査委員會設置動議の提出者江藤源九郎君に對し濱田國松氏（政）江藤君の動議提案の趣旨說明は五項に分れてゐる、第一は靈銀保有株賣却に關し鳩山文相が日銀總裁を訪ひその條件を記せる文書を示し交涉したとあるが、その事實なりとする根據如何

江藤源九郎氏（政）御質問に答へる前に動議提出の趣旨を更に敷衍して申上げた方がよいと思ふ

大塚氏の緊急質問

【東京二十八日發國通】二十八日貴族院における大塚惟精氏の緊急質問は帝人問題を始め各派の態度極めて強硬で勢ひの赴く所鳩山文相の責任を糾彈せんとするもので、齋藤首相の答辯如何によつては第二段の工作に移らんとして居るが、研究、公正兩派は政府の責任を追求し全國的政府不信任の聲となる情勢である

蔣氏を大總統に

滿洲國の帝制に刺戟されて 藍衣社中心に運動

【上海特電二十八日發】滿洲國の帝制に刺戟されて蔣介石氏を大總統及び國民黨總理に推戴する運動が藍衣社を中心として進められつゝあり、既に曾擴平氏等湖北黨務委員がこれが建議をなした、しかし上海の機關紙は一齊にこれを否定してゐる

學校電話料問題

市當局に支辨を歎願

小學校保護者聯合會では市內小學校および公學堂十六校の電話使用料を昭和九年度も市において支辨されるやう小川市長並に大內市會議長に今明日中歎願書を提出すべく各學校保護者會代表の署名捺印を求めつゝあるが、右電話料問題は年金額二千圓に滿たざるも昨年の豫算市會において論議の花を咲かせ

市會は已むを得ず昭和八年度は支辨するも九年度以降は支辨せず、市當局は關東廳において支出するか、若くは市より電話を無料貸付くるを以て校長又は保護者會において負擔するやう善處されたしとの結論に到達した、然るに關東廳に於ては市が架設したる電話の使用料を支出するいはれなしと主張し保護者會も亦經費負擔に堪へずとしてゐる、そこで市當局が市支出を提案するとするも市會が果して協贊を與ふるや逆睹し難く一波瀾免れぬ形勢にある

饗宴に御召の 在滿邦人代表

【新京特電二十八日發】二日の饗宴には在滿邦人代表（關東州外）

奉天商工會議所會頭庵谷忱、新京在鄕軍人聯合分會長四戶友太郎、新京朝鮮人居留民會長金東曉及び加藤ハルビン商工會議所會頭の四氏が御召の光榮に浴することに決定した

蛇角

◇

出過ぎた釘は打たれる、スチムソン・ドクトリン散々。

◇

ボラー君も話せる男になつた、正論は傾聽せざるべからず。

◇

內閣「文相問題は遺憾である」ですますつもり。

◇

內閣の「頰冠り主義は遺憾である」と國民はいひ度い。

◇

北滿は快晴、南滿は積雲、だが滿洲國の冬もけふ限り。

◇

あすからは春光蕩々、王道いよいよ榮えあらん。

歡び賑ふ新京城內

ばいかる丸船客

【門司特電二十八日發】二日大連入港豫定ばいかる丸の主なる船客諸氏

鐵路總局囑託八田厚志、製藥業木村英次郎、清水組社員黒岩正夫、正金銀行員中山英四郎、實業家佐藤半藏、會社員泉明次郎、正金銀行員河南武藏、會社員嘉村清一、竹山準一、著述業山本周作、教員角田寅、會社員鈴木亮三、滿鐵社員杉田光次、日本國防新聞社長高木義枝、笠原秀彥、新天勝一行六十六名（大連劇場出演）

人事

▲大谷光瑞氏（元西本願寺法主）二十八日出帆奉天丸にて上海へ
▲林博太郎氏（滿鐵總裁）二十八日午前九時發はとにて新京へ
▲枝原百合一氏（旅順要港部司令官）同上
▲築島信司氏（國際寄務）廿八日午前七時四十分着列車にて歸連
▲清水本之助氏（關東廳土木課長）同上
▲山田穆氏（東拓理事）來連挨拶のため中澤支店長同道二十八日午前來社、一兩日在連の筈

生活の虹 (58)

菊池寛作 志村立美畫

死床の願ひ（一）

綾子を愛撫の的としては、ふつつり思ひ切らうと決心して以來、子爵の心は、淸く澄み澱つて行つた。

綾子の姿を美しい花のやうに、可愛い小鳥のやうに、日常生活の慰安として、毎日エレヴエーターの昇降に、見守りながら、またその人の幸福を祈り、萬一その人に不幸が襲つて來るときは、何を措いても一番に馳けようと云ふ氣持で滿足してゐた。

自分の愛人として、自分の妻として、身ちかく置きたいと云ふ希望を失つた悲しみは、なほ心のどこかに低迷してゐたけれども、しかしそれを未練として、出來るだけ克服する事に努めた。

その中に、秋が過ぎて新しい年が來た。

芙美子は、子爵の綾子に對する氣持が急變したことを知る由もなかつたら、いつまでも、綾子と云ふ强敵が、朝夕子爵の身邊に存在するものと思つてゐたから、だん〳〵氣持があせつて來るらしく、直接子爵の心を獲得するよりも、正式に人を介して緣談を申し込んだ方が、早手廻しではないかと考へるやうになつてゐた。

それに、お友達典子を唯一の味方として賴んでゐたが、典子があまりに、やり過ぎるので却て、事をぶち壞してゐるやうな容子を察しると、典子だけを賴んでゐることが、心ぼそくなつてゐた。

丁度、お正月になつて、松飾りが取れた頃だつた。

芙美子は、父の居間で、珍しく二人ぎりで、話す機會があつた。

「芙美子、お前も今年は二十三だらう。今年中には、結婚してくれないと困るよ」

父の山崎將作氏は、娘自慢であつた。

「えゝ」

芙美子は、父の氣に入りで、甘つたれ娘であつた。

「町子も、二十だし……お前が早く片づかないと、妹まで緣談が遲くなるよ」

町子は、芙美子の妹で、芙美子よりは、器量がズーツと落ちる。

「えゝ」

「やつぱり、華族でなければいけないのか」

「さうだわ」

「お前が、いつかお母さんに話したと云ふ、お友達のお兄さんと云ふのは、どうなつたのだ」

「工藤子爵でせう」

「さう〳〵。工藤子爵さん。工藤邦彥さんの息子さんか。工藤邦彥さんと云へば、一度司法大臣になつたことがあるな。貴族院の研究會のチヤキ〳〵だつた。あの人の息子さんなら、至極結構だが、話は、何うなつてゐる」

「まだ、どうもなつてゐないの」

芙美子は、やゝ頰を赤らめて、さすがに賴らしく、テレかくしに金銀の刺繡のついたクッションの房を、いぢつてゐた。

建國三周年の佳き日 蘭花薫る高御座
午前八時郊祭・正午登極式
三月一日大典行事

【新京特電二十八日發】滿洲國政府においてはさきに三千萬民衆の燃ゆるが如き要望によつて帝制を布くべく決定し溥儀執政を滿洲帝國第一世の皇帝に推戴すべく執政の嘉納を經て帝制實施に伴ふ諸制度の改正、皇帝登極の儀その他に關する準備を進めてゐたが豫定の如く三月一日の建國三周年記念日を期して諸制度改正に關する根本法規を公布すると共に溥儀執政即位の大典を執り行ふこと、なつた、當日の式典は午前八時新京順天廣場において降天を拜するの御儀として行はれる郊祭に引續き正午執政府内において莊嚴なる登極の儀が行はれる筈であるが、この日執政には午前五時半御起床、滿洲古代の祭服を召されて午前八時執政府を御出門、文武百官を從へられて同十五分郊祭場に成られ式場の天壇上において崇高なる迎神の儀の後奉襄官より玉璽を受けられ四十分式を終り五十分祭場を還出される筈である、しかして正午より執政府内の勤民樓上において登極の儀を行はれ文武大官外賓の侍立するうちに高御座に上られ郊祭の儀において降神を迎へて受けられた玉璽を三千萬國民に賜ふ詔書に鈐せられ次いでこれを宣讀される筈である

大典を謳歌し 元宵節の祝に涌く
新京城内に春光燦々

【新京特電二十八日發】全滿三千萬民衆が赤心より祝ひ奉る滿洲國帝制實施の即位大典を後一日に控へた二十八日は元宵節の祝を兼ねて首都新京城内滿洲國側の熱狂は沸き立つばかりだ、城内メーンストリートの大馬路を中心として各路には普天同慶萬壽無窮慶祝帝制實施等の大文字を飾りたてた牌樓を立て黄地四條の滿洲國旗を張り廻らし早春の微風に飄飜としてひらめき大典の喜びを謳歌してゐる新京に於ける滿洲國側全學生もこの大典の喜びを奉祝する爲に既に一ケ月前から奉祝歌、奉祝行進の練習を行つてゐるが二十八日は大馬路に於て城内新京全體學生謹祝の文字を連れた大牌樓を立て、青年學生の赤誠を表し、青年大滿洲帝國生長の洋々たる前途を祝福した、城内を歩く滿人も大典の喜びの日を待ち切れぬ顔に喜色に溢れてゐる、天候も二十八日になつて數日來の冬曇りをからりと打ち拂ひ溫度も昇り一天青色に澄み切つた蒼空には朝風を追ひ立て、來た春光がさんさんとして降り注ぎ帝制を嘉す天意が地上の民草に向つて呼びかけてゐる、關東軍飛行隊の飛行機は數機編隊して新京の上空を高翔し爆音の伴奏を以て天來の喜びに應へてゐる

道路の左は首都警察廳右側の廣場には新聞記者團自動車の置場が設備されてゐる更に輿運輸を渡り輿運門に至れば五色の小旗が張り廻され門中央の御紋章が陽光に燦然として輝き既に門前廣場には登極盛典用自動車警備區域が黄色のチョークで判然として區劃されてゐる既に輿運門内への一般人士出入は禁止されてゐるが拜するに勤民樓は嚴として明日の盛儀を偲ばせるものがある

晴の輿運路に 五色の幔幕
明日を待つ街の装ひ

【新京特電二十八日發】曠古の大典を明日に控へ殊に勤民樓に於ける登極の大儀を執り行はせらる執政府は準備萬端滯りなく當日輿運通行の輿運路は道の兩側に五色の美しき幔幕を引き多數の係員が塵一つないまでに掃き淨めその間を警備員のオートバイが慌たゞしく來往、乘馬警備員の馬蹄の音が春空に高く鳴り渡り衛兵の物腰も一層緊張してゐる、

雪の大連市大典祝賀式場

オリムピック 東京開催運動

【東京二十八日發國通】第十二回國際オリムピックを東京に開催するため二十七日共同協議會を開催 東京市より牛塚市長、藩合、澤本鷲尾三助役外務省から杉村陽太郎氏其他嘉納治五郎、平沼亮三氏等出席意見交換の結果

一、五月十六日ハーデンに開催されるオリムピック委員會に嘉納杉村兩氏の何れか出席さす事

一、日本が如何に熱意あるかを示すため競技場設定、旅費等の計畫を各國へ報告する事

一、大公使をして極力運動さす事

等を決定した

雪に淨められ 明日は晴れ
新京は快晴大典日和

立春の聲を聞いてからめつきりと暖かくなり町歩く人達も明朗に春、春、を思はせる今日この頃季節はづれの大雪が二十七日の五時頃から大連附近一帶を襲つて人を驚かした大雪は何時になつても止みさうもなく、一晩中ふりつゞき明けて二十八日の朝は一面の銀世界と共に時ならぬ冬に逆もどりである、明日の御大典を懸念して早速若草山に伺ひを立てると快報！昨日朝天津西方に低氣壓が發生し漸次東方に移動し昨夕から大連、新義州一帶にかけて雪となつたが奉天、新京は快晴、明日も心配なく全滿に亘つて快晴の見込です と聲も朗か、空前絶後の大典日は一點の雲もない滿洲晴れで天意は王道の天地を壽いでゐる

蘇聯機なら抗議
朝鮮の怪飛行機事件

【東京二十八日發國通】怪飛行機事件に關し外務省は朝鮮總督府に調べさせたが二十七日來電によれば

一、二十三日午前三時半頃咸北慶源、新阿山、慶興、雄津に飛行機來り午前五時半頃琿春縣に入りソ聯方面に機影を沒した

一、二十五日午後三時飛行機一臺慶興對岸滿洲國領頭道溝上空に現れ七道溝、八道溝を經九道溝よりソ聯方面へ機影沒した

と報道ありと云ひ外務省では再調査の上ソウエート機ならば抗議を提す方針である

北鮮廻りの 滿鮮巡遊コース
旅行シーズンの寵兒
鮮鐵は金剛山を入れて宣傳

三月の聲を聞くと、春ほがらかに旅行のシーズンで、内地から滿洲視察の團體客が押しかけて來る、今年は前例のない大記錄を示すらしく滿鐵營業課へは既に十團體以上の申込みがあり、早いのは三月匆々にはやつて來ることになつてゐる

かく今年特に多くなる豫想がされてゐるのは、ことなくなつて旅行の安全が保たれる樣になつた事、第二に滿鐵が今年は積極的に内地で勸誘をやること、第三に帝制實施が内地人に旅行の興味を與へた事などが理由だが

さらに今年の新しい呼物は北鮮廻りが巡遊コースに加つて來たことでこれがために一度滿鮮旅行をした經驗のある人も北鮮および京圖線視察のために再遊ぜんとする人も相當出て居る、こゝに問題となつて居るのは巡遊コースに釜山安東の朝鮮本線を取り入れるか否かで、今後は大連より北滿を經て北鮮に出るか若しくはその逆のコースをとる團體が相當殖えるべくこれは朝鮮鐵道としては大打擊なのでそれに對抗する興味ある新コースを考案してゐる

その一は釜山より京城を經、金剛山を見て北鮮に出て、新京に出るもので、朝鮮鐵道局はこのコースを大々的に宣傳する事になつて居るが、東北關東方面の團體は距離の關係上新潟又は敦賀より直接北鮮に出るものが相當あるべしと見られてゐる

理事會を前に 最後の活躍
滿洲國側に空氣好轉

【東京二十八日發國通】滿洲國の極東大會參加に對する日本體育協會の最後的態度を決定すべき體協理事會は愈々二十八日午後五時三十分中央亭に開かれるが、滿洲國體協の久保田、茂木革新聯盟の岡部の諸氏を中心とする滿洲側は二十八日開催の理事會の空氣好轉のため連日大車輪の活動をつゞけ二十七日も外務省の坪上、柳井、田尻各課長に重ねて滿洲側の決意を披瀝してその援助を懇請した所各課長も充分諒解し山川體育課長と聯絡して政府としての對大會態度を決する模樣であり又帝都運動界を牛耳る辰野保拓務省の高山秘書官馬術協會大島中將等の諸氏も滿洲側の固き決意に贊成し一般の空氣は日増しに滿洲側に好轉しつゝあるが、議會に於ける文相の言明體協松澤氏一派のにえきらぬ態度等よりみて二十八日の理事會が果して如何なる態度を決するか疑問視されなり滿洲側としては引續き二十八日も奔走する

重大視される その成行
今夕の理事會

【東京特電二十八日發】滿洲國參加問題に對する日本體協理事會は二十八日夕刻から開かれるが滿洲體協の久保田、茂木兩氏は二十七日夜平沼體協副會長を訪問して理事會に於ける盡力を懇請した 體協の幹部は連日に亘る滿洲國側の運動及び學生聯盟その他の熱烈な要望に對しその主旨には贊成しながら全然滿洲國の要望に從つて直に極東大會改革に邁進する勇氣あるかどうかはなはだ疑問とされ一方文部省側の態度も明確でないのでこの日の理事會は明解な決定を見ることは困難の模樣であるが何れにしてもその成行重大視される

滿洲開拓 女性先驅者來る
臺山屯に女子農民塾
抱負を語る馬島漾子さん

傳へられてゐた國家社會黨の領袖馬島僴氏の長女漾子(一九)さんは船中名を秘め二十八日入港のしあさる丸で父の親友若林不比等氏と共に來連したが非常時女性に適はしいがつちりした體格を綿の制服に包み流石に處女らしいはにかみを見せながら「こつそり來るつもりだつたのに、もう判りましたか」と冒頭し後見役の若林氏と共に交々語る

滿洲開拓の女性先驅者として臺山屯農場を經營し女子農民塾を開くため來滿

滿洲の農業開拓に女性の進出は四年前から計畫されてゐましたが事變のため一時頓挫してゐました、滿洲國が建設されて以來農業方面の異常な發展につれ女性の進出が益々必要となつて來ましたので幸ひ臺山屯にある四町歩の土地に農場を經營し女子農民塾を開いて農業は勿論更に從來の農民教育と異り射擊、馬術、治病及子弟教育の根本問題等々を研究せしめ「母たる女性」としての資格、信念をもつ女性を作りあげたいと思つてゐます 當分は家を造り農場を整へる工作に追はれると思ひますがやがて女大出の優秀な女性が應援に來て呉れますし、三格姫の先生持原武子さんが支那語の先生として來て下さることになつてゐます、これから二年も經てば本格的にやつて行けるだらうと思つてゐます

漾子さんは直に臺山屯農場に赴くが溥儀執政に獻上するため世界紅卍會の老僧が揮毫した「皇上萬歲」及「滿洲野」の二軸を携行してゐた【寫眞は漾子さん】

背任でないと 法廷で論爭
稅關吏の密輸公判

現職稅關吏が密輸業者と共謀、四萬四千圓に上る大脫稅を行つた砂糖密輸の背任事件が二十七日より川畑裁判長係高井檢察官立會の下に審理が行はれてゐるが、密輸取締り規則を繞つて檢察官と辯護士との間に意見の相違を來し、現職稅關吏の背任瀆職、四萬四千圓の脫稅が有罪と無罪の岐路に立ち、俄然法曹界の注目をひくに至つた

事件は市内紀伊町四九雜貨商王春霖(四二)は砂糖の天津向け密輸を計畫、市内山縣通一一五運送業明治商會こと向江寬次(三八)に相談した所、向江は知り合ひの稅關吏、北大山通民船監視所勤務今村洪兒(三六)と共謀今村が砂糖一俵につき一圓にて買收、昭和七年七月七日より同八月十二日迄に七千四百七十三俵の砂糖を州内行きと稱し、城子疃或ひは貔子窩行きの如く裝つて天津に密輸、四萬三千百二十四圓の脫稅を行つたが、その後大連水上署の探知する所となり王、向江、村今は告發、高井檢察官の取調べの結果起訴、公判に附されたものである

其後三被告は齋藤、渡久山、相川飾岡四辯護士を代理人として辯護を依頼したのであるが四辯護士が被告より事情を聽取、愼重研究を重ねた結果

大連海關は昭和七年六月二十六日滿洲國に接收されたが、滿洲國の强制接收であつて當時はまだ民國稅關もまだ大連に駐在してをり、又日本は當時未だ滿洲國を承認してゐなかつた等の關係上滿洲國は大連より天津方面の輸出品に對して課稅する法的根據がなかつた、而して今村等の行爲は法律的に滿洲國に課稅權がなかつた七年七月七日より八月十二日までに亘つて行はれたもので、課稅しなかつたのは當然のことである と純理論を振り翳して無罪を主張したが、檢察官は事實上滿洲國は海關を接收してをり、今村は滿洲國の海關吏であつたのであるから背任の事實は明かであると有罪を主張し、純理論と事實論の衝突のまゝ二十七日は閉廷したが、次回公判(期日未定)における辯護は法曹界注視の的となつてゐる

死因が疑はしく 遺骨すら屆かぬ
不倫の娘の父から調査願

長崎縣北高來郡湯江村淵上正次妻イネ(四二)は昭和七年八月同村の福田清(四一)と不義の呼き交す仲となり、夫と子供二人を殘し二人手を携へて來連、市内武藏町五〇細尾元三郎方に間借りし不倫の戀に醉ひしれてゐた、ところが昨年九月五日イネの實父中島定左衞門宛に福田清から「イネ急死す、遺骨は大連寺に預け、九年一月中に持參する」旨の通知があつたので中島一家は悲歎に暮れ遺骨が着いてから葬儀を營むべく待つたが其後福田から音信なく今日に至るも遺骨を持參せず、死因及び死體處置に就いて疑はしい點が多いといふので大連署へ取調方を願つて來たものである

同署司法係吉岡强力班刑事は早速各關係筋に就いて取調べたところ市内武藏町五〇細尾方には福田清一及び妻清子と自稱する夫婦者が間借りしてゐたことがあり清子は昨年九月十三日淋巴肉芽腫といふ病名で聖愛醫院に入院同年十月五日死亡し、六日火葬に附しその後福田清一は本溪湖に住居してゐる事實が判明した問題の福田清一及び淵上イネが僞名し細尾方に同居してゐたものと推定されてゐるが果して當の二人かどうか確定せず大連署では二十八日附事件を本溪湖署に移牒し福田清一に就いて嚴重取調べることゝなつた

件がある 邪戀の道行きで家名を汚した娘ではあるがその死因が疑はしく送つたさいふ遺骨すら屆かぬから調べて下さいと二十七日實父から大連署へ奇怪な調査を依頼して來た事

陰謀の本據を襲ひ 重要人物檢擧
奉天で憲兵隊大活動

【奉天特電二十八日發】元宵節で滿洲國側各官公署始め奉城内外の各戸は何れも國旗を揭揚し休業平和氣分は横溢してゐるが三月一日の滿洲國大典のため日滿兩國官憲は水も漏さぬ嚴重な警戒の第三陣を固めつゝあり憲兵隊では廿六日以來露に活動を開始し〇〇の陰謀の策源地を襲ひこの首魁と目される重要人物を檢擧し目下嚴重檢査の歩を進めつゝある、之により不逞の徒の跋扈を事前に防ぐことを得た樣子で事件の内容については嚴密に附され大典の終るを俟つて發表される模樣であるが反滿抗日分子の策謀である

なほ奉天警察廳では總領事館警察と協力し〇〇ビラ撒布者の檢擧につとめ、谷口高等係主任は領事館警察に出張何事か重要協議を進めてゐるがビラは城内と商埠地一帶に今朝撒布されたが藍衣社系統の者らしく憲警方面では俄然緊張し極力搜査に當りつゝあり第四陣の警備は一層嚴重となつた

テロを決行市中を攪亂し人心を動搖せしめんとする大陰謀計畫の下に去る一月中旬元兇二名が

不逞鮮人を 哈市で一網打盡
大典を期し攪亂計畫

【ハルビン二十七日發國通】曠古の大典を期して滿洲國攪亂の大陰謀を企圖した朝鮮獨立黨員の元兇四名が二十六日、日本領事館警察高等係員のため一網打盡に逮捕された

即ち日本領事館警察では朝鮮及南滿方面の鮮人獨立黨員多數が大典を期し國際都市ハルビンで武器彈藥不穩文書等を携へ新京よりハルビンに潛入した、花島警部、青木部長以下全課員は元兇の隱家に踏込み最高幹部德田

下級生に謝罪して圓滿解決

【撫順特電二十八日發】撫順中學校内に惹起した下級生毆打事件の善後處置につき學校當局は二十七日職員會議を開き協議の結果その動機は全く校紀の肅正をはからうとの公憤に出でたものであるから犧牲者を出さないことに決し同日體操場において四年生一同に下級生に對し陳謝せしめた

元(二三)幹部全德泉(二四)同じく英元吉(二三)同じく羅禎昌(二三)及十九歲の鮮人美女五名を一網打盡に檢擧し拳銃二挺、双眼鏡其他多數の不穩文書を押收嚴重取調べ中である

白耳義から 大使の聲
國際電話テスト

【東京二十八日發國通】國際無線電話は愈々四月から對滿洲國、對臺灣等の通話が開始される豫定であるが歐洲及び米國との通話テストも目下頻に行はれてをりこの夏から秋にかけて開通の運びになる模樣である、二十七日も午後五時三十五分神田駿河臺の牧野遞信政務次官の私宅と在ベルギー日本大使館と卓上電話で通話のテストが行はれたが永井大使の聲は明瞭に聞き取られ殆ど市内電話と變らず七通話も(一通話三分)完全に電話が出來た、因に一通話の料金六十圓である

"酒井雲"來る

滿洲の浪曲ファンより待望されてゐた浪曲界の重鎭、酒井雲一行十四名は二十八日入港のしあさる丸で來滿したが大連を振出しに約十八日間沿線各地を興行し朝鮮經由離滿するが全旅程四十日の豫定であると

加藤外科病院

加藤精一郎博士は今回大連有志の懇請に依り大阪住田病院を辭し三月一日より市内三河町四番地に加藤外科病院を開院した博士は九大出身同大學助手となり外科教室勤務中博士號を受け大阪住田病院に轉し九大が誇りとする整形外科脊柱疾患膝關節外科外傷骨折脫臼外科の泰斗である

伊勢參拜團募集
三月十日うらる丸

第十七回伊勢參拜團は來る三月十日大連發下關より出雲大社、城崎溫泉入湯、大阪、奈良、伊勢大神宮參拜なし二見、名古屋、曹洞宗總本山永平寺、加賀山中溫泉入湯金澤、新潟、會津、東山溫泉入湯仙臺、松島、鹽釜神社、日光、東京、京都、廿五日間の大旅行に夜行列車一回もなし

老人婦人お子達は歡迎し居り學校試驗休の學生は母國見學上親人と同伴には最も好機會で有ります鐵道省全線バスお持の方にも特別の便法あり、幹會では充分なる手配を致し至れり盡せりて、すべて安心して參加出來ます團費金百十八圓で一切を含み絕對團費外は要りません御希望の方は大連市吉野町崇敬會に御通知あらば直樣手續致します

天氣予報

一日 北西の風晴一時曇り

各地溫度(廿八日)

	午前五時	午前十一時
大連	零下三	零下四
旅順	同三	同三
營口	同五	同二
奉天	同〇	同二
新京	同一二	同一五
新義州	同一三	同一一

新講談

丹下左膳 (31)

林不忘作　小田富彌畫

文珠の智慧（二）

大したもんですれ、秦軒先生の人氣たるや。

さう、遠くのはうから、チョビ安作親無し千鳥の唄を歌つてくる先生の聲が、聞えると、露地にガヤ／＼してゐた長屋の一同、兵隊さんが騷いでるところへ師團長が來かゝつたやうに、ピタリ鳴りをしづめて、

「お！お歸りだ、お歸りだ！」

「先生のお戻りだぞ」

「御歸館だ――」

なんかと、中には、ブルジョア用語を心得てるのもある。

この聲々が、口から口、耳から耳とリレー式に、たちまちのうちに露地口からトンネル長屋の奧まで、ズーッと傳はつて行くところは、壯觀です。

「あれで、秦軒先生は、鼻をひそめて角に待つ連中は、腕つ節の強えばかりが能ぢやアれえんだ。學問ならお前孔子でも仔馬でもちヤンさあの眞ん中に蔽つてるんだから、ヘッ、豪勢なもんヨなあ」

「何時かも、人間は何さかてエ七輪が大事だと、先生がおつしやつたぞ」

「馬鹿野郎！七輪ぢやアれえ。五徳だ。仁義禮智信、これを五徳といつてナ」

「何を言やアがる。五徳ばかりあつたつて、七輪がなくつちやア仕樣がれえや」

「なにをッ！」

と双方、肌ぬぎになりかけて、喧嘩になりさうだ。やつぱり何うも、トンガリ長屋です。

それでも……。

秦軒先生が近づくと、襟を掻き合はせたり、袖口を引つ張つたり或る者は手に唾をして、小鬢を撫でつけたり、手拭で裾をはたいたり……イヤ、忙しく身づくろひして並んでるところへ、

「ウム、次ぎは――

ちよいと訊くから教へてお呉れ
あたいの父は何處へ行た
あたいのおふくろ……

と、これでえゝのかな？」

秦軒先生濁み聲を張り上げて、お美夜ちやんに、チョビ安の唄を習ひながら、ブラリ、ブラリ、大道狹しとやつて來る。

「ほゝほゝゝ、そこんとこの節廻しが、違ふわ。あ、た、いのウで上つて、父はアつて下るのよ。小父ちやんのは、それぢや逆だわ」

「いや、仲々難しいもンぢやなう」

あたいのお母さここにゐる
焦つたいぞエお地藏さま
石が口利きや木の葉が沈む――」

「あらッ、駄目！違ふわよ、ちがふわよ。それぢやアまるで、出たら目の文句だわ。嫌な秦軒小父ちやん！ほゝほゝゝ」

「イヤ、こりやア失敗つた。また縮尻つたかの」

秩父の郷士の出で、豐臣の流れを汲んでゐるところから、徳川の世を白眼に睨んでゐる稀代の快豪、蒲生秦軒居士。

肩を撫でる合總、顏を埋める髯と胸毛を、風に靡らせて、相變らず、ガッシリした身體を包むのは、若芽のやうにぼろの下がつた素袷に、繩の帶です。たいていの貧乏にはおどろかない、とんがり長屋の住人ですが、この秦軒の風體にだけは、上には上があるとホトホト感心してゐる。

冷めし草履を引きずる先生の傍に、ちよこ／＼走りのお美夜ちやん……稚兒輪の似合ふ可愛い顏で襟袖垂れて大事さうに、胸のところに抱いてゐるのは、秦軒小父ちやんの一升徳利で。

この奇妙な取り合はせの二人伴れが、とんがり露路へかゝると、待つてゐた一同、ていれいにお低頭をして、後からゾロ／＼恭やしくついて這入る。いやモウ大變な尊敬……。

ブダペストの動物園

フオツクス映畫　日活館上映

パラマウントのプロジユサーであつたジエス・ラスキーの獨立第一回作品でフオックス映畫に珍しいカラーの作品でローランド・V・リーの監督色監督である

物語はブダペストの動物園に働く若い孤兒のザニ（ジーン・レイモンド）は親身になつて動物に世話をする變人な性格の一面毛皮のマフラーをする婦人を憎惡してマフラーを奪つては燒き捨てる程の情熱漢だつた。或日孤兒院の團體が見物に來たが、その中のイヴ（ロレッタ・ヤング）は規定によつて近く製革工場に賣られることになつてゐるので他の孤兒達が同情してイヴを動物園内で逃がしてやつた。イヴが草叢にひそんでゐるところへ、毛皮を盜んで逃げ廻るザニと出會ひ互に戀心を感じながら園内の洞窟の中に二人がのがれる その時乳母の手から離れて園内を彷徨つてゐた富豪の息子ボウルが間違へて虎の檻をあけたことから大騷ぎとなり百獸が荒れ狂ふうちをザニはボウルを救けたことからザニとの仲が結ばれる。

このザニとイヴとの孤兒同士の淡い戀を描いたものであるが、映畫をより以上大衆的に面白く見せるために動物映畫らしいスリルを追うて富豪の息子を使つて猛獸を檻から放つまでの無理な筋の運びはさつひけたやうでこの映畫で唯一の缺點となり、これがため全篇に緒觸美が失はれてゐるのは惜い、その代りに大衆的には面白くなつてゐる。

しかしホントウの良さは前半猛獸が暴れ出すまでの動物園の林泉美を背景とした若い孤兒の戀の繪卷を素晴らしいリー・ガームスのカメラを驅つて描き出したところにある。月明の夜、草叢で二人が戀を囁く前後は池中に放育された水禽を配して軟調な感傷氣分を盛り上げてゐる。

この草叢の場面でヤングは一番輝かしい美しさを見せてゐる。レイモンドの園丁も感じが出てゐていゝ演技を示してゐる。結局大衆的には猛獸が暴れる場面がヤマ場となり子供にも喜ばれる動物園映畫である。

〃ブタペストの動物園〃特別試寫會

日活館では次週上映のフォックス映畫「ブタペストの動物園」の一般公開に先だち三月一日午後四時から各方面の映畫關係者その他を招待して特別試寫會を開催する

喜多會例會

喜多會滿洲支部では三月四日午前十時から市内浪速町「ほてい」において例會を開催、番組左の如し

▲素謠月宮殿、竹生島、田村、雲林院、高野物狂、山姥▲仕舞來賓獨吟仕舞▲囃子小鍛冶、八島、草紙洗小町、櫻川、春榮、高砂

うわさ話

春の映畫街に華々しい一戰が豫想される「さくら音頭」合戰がどう展開されるか興味を集めてゐるが▲早くも帝國館にプリント到着説が傳へられてゐる。最初新興キネマの作品を上映するものと見られてゐたがヘンリー・キネマだとのことゝ▲そして愈々宣傳戰が華やかになるまで封切せずストックして待機の姿勢をとる▲次いで寶館の大都（キングレコード）も既に完成してゐるからこれまた近く入荷の豫定である▲全く見當のつかぬのは日活館でPCL（ビクター）日活（ポリドール）のどちらが先になるか惱みの種らしい▲寶塚キネマが解消し作品が細川興行の手で配給される結果大連では寶館に今後上映されることになつた

哈爾濱消組擴大に輸入組合參加

共存共榮の見地から

◇…算へらるゝ利益の數々

滿洲國産業開發の中心が北進するに從ひ北滿の中心都市ハルビンは異常なテムポを以て發展し既に滿鐵の建設事務所や鐵路總局關係諸機關が、設置されるに至り、この地に於ける滿鐵並に關係社員の數は逐月増加の趨勢にあるので滿鐵社員有志間に今後の情勢に對應するため現在の委託經營の消費組合より大規模な消費組合に擴充するの機運が動き、鐵路總局その他滿鐵關係社員有志間に完全な消費組合設立が計畫されつゝあつたが、二十八日大連輸入組合に入つた

情報　によればこの計畫に輸入組合も關與して共存共榮の理想的消費組合創立の議が纏まり、近く具體化することになつた、即ち消費組合結成は過去の例に徴するまでもなく必然的に市中商人對組合の抗爭を惹起し、利害對立の立場にあり、過去における消費組合對市中商人の苦き對立抗爭に鑑み市中商人との利害の調整につき輸入組合側と種々協議の結果、新消費組合は地場仕入を立前とした ものとなし、これが組合商品の仕入に對しては輸入組合が仲間に介在して組合員商店より仕入を行ふこの場合一部卸商のみに利益を壟斷され小賣邦商の商圈を狹少ならしむる虞あるがため、これを未然に防止するの見地より各業種別に同業組合或は納入組合を組織せしめて納入交渉團體とするといふにあり、これにより消費組合側では
一、委託仕入、仕切仕入の方法により多額の資金を必要とせず、また資金の固定を避け得る
二、また手持品値下りによる損害や賣殘品による損害皆無となる
三、保管、倉敷等の諸費用皆無となる
四、從つて内部的の人件費も單獨でやる場合の如く增嵩せず
五、常に中間に介入する輸入組合が最も公平なる立場より斡旋を爲す爲め納入價格を低廉ならしめ得る
等の諸利益あり、大連の組合本部より少額宛仕入れるよりも遙かに有利なる結果を招きまた市中商人側でも
一、地場仕入の原則により滿鐵沿線において見るが如き組合との對立を見ず
二、納入に對し機會均等なるが故にその努力如何によつては從來社員に對する露人、滿人商店の得意先をも併せ有し得る事となる
三、從つて消費組合の擴充により賣上の增進を來すとも決して減退を招く虞はない
また一般組合員外消費者に於ても消費組合との均衡上、賣價にも擊肘を受け物價の低下を促進し、間接ながらその利益を享受し得るといふ利

氣運　があり、滿鐵社員も市中商人も兩立し得るといふ理想的の消費組合で要はその經營方法の如何にあり、好成績を納め得れば組合未組織の各地にも相當刺戟を與へるものとしてその成行に對しては多大の興味がつながれてゐる

硫安思惑買

中止方嚴重警告

商工省が配給組合に

【東京特電二十八日發】商工省は配給組合代表を招致して硫安の思惑買を中止せしむると共に萬全の處置を講ずるやう嚴重警告したが右に對し組合代表は
一、契約三ケ條による輸入數量は十萬噸であつたが、今後需給の實勢に對應して右の限度を隨時增加すること
一、目下外品安の手當は組合側は五月迄八萬噸の契約あるが、此外に組合外に二萬噸あり之れに一月輸入せる一萬七千噸を加算すれば十一萬七千噸の輸入となるを以て供給不足の懸念なし
一、更に萬全の處置を講じて善後策の遺憾なきを期す
と答申した

先行高見越しの大連麻袋市況

大連麻袋市況をみるに一月末五百萬枚の在荷を擁し一面現物の賣行不振から當地氣配は極度に悲觀されし、現物三十五錢九厘と新値に崩落、産地市場に比し二錢擱みも下鞘を呈するなど需要家としては稀に見る現象を招來し、先行頗る憂慮されたが

爾後　輸入筋は極力輸入を手控へ、地場當業者も亦先物の買を見送り、手持ちの荷捌きに努め斷くして不安人氣を除くと共に相場の恢復を待つの方針に出たゝめ市場も稍明るくなり、氣配も漸次立直り二錢擱みの反撥をみるに至つた、現在當地の在荷は大約四百萬枚を算し三月中の入荷は五十萬枚見當を豫想されてゐる、一方奧地大豆の出廻り狀況をみるに北滿は殆ど殘されてゐるらしくこの數量については諸説區々として的確な數字は判明せぬが、假に百萬噸とし、この内五十萬噸が出廻るとしても五百萬枚の麻袋を必要とする、而もこの出廻りは時期の問題であつて現狀よりすれば歐

支那錢莊の凋落と新金融制度確立期

（三）

廣畑生

新式銀行擡頭の諸原因

支那固有の金融機關たる錢莊が多年の努力によつて築き上げて來た經濟的勢力を、脆くも僅々三十餘年の歷史しか有たない新式銀行の前に膝を屈しなければならなくなつたに就ては既に前項において一わたり述べたが、前項の衰退諸原因の外に彼等自身の内部組織に於て脆弱であり小規模であつたため大資本を擁する各國の金融勢力及び國内新金融勢力に抗することが出來なくなつたことは爭はれない事實である、今主なる諸點を擧ぐれば
一、從來錢莊が掌握してゐた政府の國庫事務は民國革命後新式銀行の手に歸し、或は政府收入の大宗たる關稅收入の保管が外國銀行の手に收められてゐること
二、新式銀行は政府の公債募集に應ずるを餌として兌換券の發行權を獲得してゐること
三、新式銀行は其出資者が殆んど舊軍閥或は舊官僚であり、此等の政治的勢力を利用して政府の公金を保管利用し或は富豪の資金を吸收してゐること
四、從來新式銀行は手形交換所を有せず、總て錢莊の手を通じて交換してゐたものであるが、上海事變後上海各銀行は協力して遂に多年の懸案たる手形交換所を創設し錢莊の一勢力を奪つた
五、昨年四月錢莊の唯一の武器であつた銀兩を廢止してその最後の止めを刺したこと
六、新式銀行はその新知識を利用して各貿易港に倉庫や市内分店を增設し、或は紡績に投資する等漸次商工業者の利便を圖り、錢莊の牙城であつた一般經濟界に喰入りつゝあること

滿洲國内錢莊の現狀

以上に依つて大體支那に於ける錢莊の現狀と今後略が判つたと思はれるがついて滿洲國内の實狀を見るにハルビン、新京、奉天、吉林、安東、營口等の各地は一昨年三月滿洲國が生れ中央銀行創立後は、通貨統一の見地から國幣が發行され、從來個々の價額で流通してゐた各種の通貨は一定の回收價額が規定されたゝめ、從來これ等多種類の通貨の市價變動に依つて利益を收めてゐた各地の錢莊は此處でも利源の一つを奪はれ、舊軍閥時代の如く通貨の市價變動が激しくなつたゝめ、その營業的機能を發揮するに由なく、僅かに金票對國幣或は金票對鈔票の變動に餘命を繋いでゐるが、如何にその全實力を發揮して見ても程度が知れて居り矢張り支那各地の錢莊の運命と同樣、他に轉業するか或は多數が合同して新式銀行化するより外途がないものと觀られてゐる、今大連錢莊の概況を見るに左の如し（滿洲の錢莊中最も勢力を有つてゐた奉天錢莊の現狀に就ては本年一月號の滿鐵調査月報に詳細な調査が掲載されてあるので茲には略す）

滿洲の門戸たる大連の錢莊は大連の呑吐する輸出入貨物が激增するに從つて、繁榮しなければならない筈であるが、その輸出入貨物の大部分が日本を相手としてゐるもの丈に、彼等の手を煩はすのは僅かに關稅納付用の鈔票と國幣の賣買のみに過ぎず彼等の勢力であり利源であつた對上海向爲替及び支那各地向爲替が、滿洲事變後滿支國交斷絕から封鎖的高率關稅の實施となり、上海方面を主とする對支移出入貿易が全く杜絕し、對上海及び對支那各地向爲替が殆んど皆無となつたと同時に、支那國民政府の通貨統一政策とは、恰も右から左からと同時に頰べたを毆られた形で、右せんにも左せんにも機能の發揮し樣なく、且つ本家の上海及び支那各地の錢莊が沒落する影響を受けない譯に行かず、新たな活路を求むる轉換途上の運命に立たされてゐることは否まれない

新金融制度確立の絕好機

支那全國の錢莊が軍閥舊官僚の惡政でひしひしと押寄する世界的不況に抗し得ず衰退の悲運に見舞はれ、滿洲國の錢莊が舊軍閥驅逐、王道政治を標榜する新國家建設から固陋な舊制度改革となり、その舊制度改革の犧牲となつて沒落の過程に立つてゐることは、偶然とは云へ時を同じくしてその軌を一にしてゐることは命運と云ふ可きである、從來一般商工業者に對する金融を殆ど一手に掌握してゐた錢莊の沒落は、宛も明治維新の際に於ける諸侯の御用を勤めてゐた兩換屋の沒落と同樣、封建的經濟狀態から近世資本主義經濟に轉換する一現象であり、近世資本主義經濟組織を創建するには絕好の機會であり、支那に於ては新式銀行滿洲に於ては吾が鮮銀、正金其他の邦商銀行の賦足を伸ばすことが極めて容易になつたのである、更に滿洲國財政部や中央銀行は樣々な計畫を立て、新金融制度を創設するに於ては怎んな理想的な金融組織でも新設し得られると云ふ恵まれた立場に置かれてゐると云ひ得る、何れ滿洲國内の錢莊も支那の錢莊と同樣、銀行合同を行ひ、新式銀行を組織する轉換期に遭遇するので、王道政治の眞義と共に、新式銀行が雨後の筍の如く續出するであらう、何分文化と民度が低いので彼等を啓發して、「等の…つといふ漸進的態度に出なければ、彼等の信頼を失い許りでなく、急進的態度は實狀に即せぬことになる、されば滿洲國當局には滿洲各銀行に於ても滿洲の性を究め、樣な遠大な計画を立てゝ之に臨むに非ざれば、生まれた環境に立つても充分な伸展を遂げることは出來ないと云へる（完）

"既定方針を飽迄固持せよ"と

紡聯我代表部に訓電

【大阪二十八日發國通】ランカシヤ綿業者が對日綿業對策委員會で世界市場の全般的協定をせよとの決議をしたとの報道に接し、紡聯では二十七日午後二時綿業俱樂部に特別委員會を開き協議の結果
一、第三國と英帝國自治領等の協定より除外せよとの既定方針は飽くまで固持す
二、英國側が民間會商を一時打切り政府會商に移す場合には日印會商の轍を踏まぬ樣その方針を決定し我代表部に訓電を發した

第三次會商

延期に決定

【ロンドン二十七日發國通】日英民間協議會は市場問題を挾んで双方の主張が極端に尖鋭化し、二十八日の第三次正式會商は決裂の外なき形勢にあつたところ、二十七日に至り兩國代表協議の結果延期に決定した、尙三、四日中に兩國代表協議の上次回の開會日を決定の筈で多分三月七日には開會の運びとなる模樣である

二月限

株式受渡

大連五品取引所における二月限株式定期受渡高は株數二千百枚、代金六萬七千三百五十五圓、一株平均値三十二圓七錢で之れを前月の受渡に比較すると株數三百五十枚代金三萬八千九十五圓を減少し一株平均値は十圓九十七錢の値下りとなつてゐるが各取引人別に受渡内容を示せば左の如し

◆五品株（渡方）山田三〇〇、伊藤一三〇、德泰五〇、石橋六〇笠間四〇〇、瀨川五〇、早渡三二〇（受方）山田四一〇、伊藤八

對印輸出統制案

官民協議會に附議

【東京二十八日發國通】商工省では對印輸出綿布規定の成案を得たので、近く官民協議會を招集して附議決定する、當業者側は統制規定の決定次第輸出組合の設立認可を正式に申請するが、目下の處十日頃設立を終り十五日より實施する模樣である

漁區の再競賣

依然強硬態度で進む

【東京二十八日發國通】ソ側は既報の如く二十八日ウラジオで漁區の再競賣を行ふ旨通達し來つたが日本側は
一、三十二錢五厘の換算率は從來の如く總ての漁業問題に關する支拂ひに適用すべき事
一、二十八日の追加競賣はこれを形式的のものとし事實においては二十日の日本人側入札をその儘承認する事
の二點に同意せざる限り追加競賣には參加しない方針であるから、ソ聯側が如何なる態度に出づるか重要視されてゐる

支那の一律課稅大連には有利

差詰め油房には好影響

◇…齎らされる一現象

南京政府はいよいよ滿洲國よりの輸入貨物に對して正式に輸入稅を賦課徵收することになりこの旨上海、青島、天津海關において布告されたが、これがため從來差別的取扱ひによつて不利な立場にあつた大連輸出品は營口、安東と均等な立場に置かるゝので大連油房の如きは直に好結果を來すのではないかとみられてゐる、當業者方面に於ては未だ確報がないがいづれにしても大連積のみが、高率關稅を課徵せられてゐた不合理が一掃さることゝなるので營口、安東積に轉嫁せられてゐた支那向は今後大連積にも相當の取引をみるのではないかと期待されてゐる、大連市場に於ける滿商並に華商側は比較的鈍感なるため左程の影響をみないが南支筋が先般來十萬枚

滿鐵鐵道收入

中旬は減收

二月中旬の滿鐵鐵道收入は
客車收入　三七二、〇九四圓
貨車收入　三、〇一六、八五二
雜收入　八二、〇三七

計　三、四七〇、…にして前旬に比し客車收入六千三百三十三圓、貨車收入六十千四百四十四圓、雜收入百九十五圓の各減收である

大連商議

新等級制認可

大連商工會議所の新等級に對する定款變更は過般の臨…において正式決定を見るに…で、直に關東廳に認可申…

市場電報（廿八日）

（相場表の細字は判読困難）

五品株式 取へ上場

下旬貿易 入超百廿八萬圓

市況（廿八日） 株式 内地鑾らず 當市保合

上海爲替情報

滿鐵株（昂騰）

五品雜觀

産金買上値据置

山森駐在員東上

滿洲日報 附錄

國を擧げて・けふの慶祝

各地慶祝大會と賜餐

三千萬民衆の待望久しかつた滿洲國帝制實施の日、溥儀執政登極の日たる三月一日は遂に來り當日全滿洲國内はあげて慶祝の坩堝と化すことになつた、即ちさきに帝制實施決定が發表されるや各地民衆は感激にふるへ爾來ひたすら當日を待望するとともにこのよき日の慶祝につき各地それぞれ趣向をこらして諸行事の準備を進めてゐたが既にこれが準備もなり今や津々浦々にいたるまで大典慶祝氣分が横溢し今一日を迎へるとともにいよいよこれが最高潮に達せんとしてゐる、各主要地における諸行事豫定は大體左の如くであるが當日は各地ともあげて慶祝大會を開く外晝は旗行列、夜は提灯行列を行つて名狀すべからざる民衆歡喜の情を爆發せしめんとしてゐるのであつてかくの如く全滿洲が國旗と慶祝提灯とをもつて掩はれんとするが如きは未だ曾て見ざるところであり當日の民衆のこの盛んな慶祝行事は滿洲建國の歷史とゝもに永く記錄さるべき盛事である

奉天

慶祝大會と賜餐

三月一日の大典當日商民住戸一齊に國旗を掲揚し奉天市内主要ケ所二十ケ所に大國旗を掲揚し、又大西門、小西門にイルミネーションで裝飾を凝した大アーチ裝飾塔を設置し午前十時より由緒深い故宮十王亭に官民代表三千名を招じて大慶祝大會を開催し、先づ閻奉天市長の開會の辭に次いで軍樂隊の國歌吹奏裡に國旗掲揚、御眞影、國旗遙拜禮、敎書奉讀、來賓の祝賀、大滿洲國の萬歲を三唱して式を終了し、それより省公署において委任官以上、市政公署各科長主任、並に巡官以上二千名へ賜餐、委任官以下は酒肴料、學生生徒には菓子を賜はり、正午より十王亭前を起點として日滿小中學生約七千人、官吏二千、工商會員二千、警察隊、同馬隊、童子軍二百、一般民等合計一萬六千人の一大旗行列を行ひ附屬地大廣場前にて日本側と合體し日滿兩國の萬歲を三唱して午後三時解散し更に當日は飛行機數臺が慶祝飛行を行ひ空より慶祝傳單を撒布し花電車花自動車が運行され市中は全く感激と慶祝の渦卷きである、午後七時より建國前後の滿洲國史、帝制の意義等についての講演會、演劇、映講、ラヂオ放送等三日間に亘り行はれ更に三月二日午後六時より五色に染出された滿洲國を表徵せる提灯を持つて一萬數千人の賑やかな提灯行列が行はれるのである

邦人側の旗行列

三月一日皇帝卽位式當日の邦人側で催してある慶祝旗行列は當日午後一時忠靈塔前に參集、醫大十川先生の指揮の下に、醫大、中學、平安、千代田、敷島、の各小學校、普通學校、女學校、彌生、加茂、公學校、春日小學校、居留民會、各町内會、同文商業、商業、中學の順にて約五千の長蛇の陣を造り稻葉町を經、平安廣場に出て東に驛に向ひ千代田通りを經て春日町に廻り浪速通り、滿毛デパート前を過ぎ琴平町を奉天神社に參拜し中央廣場に滿洲國側旗行列の團體と合し最後に粟野地方事務所長は大日本帝國の萬歲を又閻市長は大滿洲帝國の萬歲を三唱日滿融和の礎を作り、盛大裡に解散した尚中央廣場には高さ五十尺の華やかな慶祝塔を樹て市内各要所十一ケ所には大國旗を又各戸には軒頭に國旗をたて提灯をかゝげて、祝意を表した

各種の記念事業

▲市政公署 御大典記念事業として市政公署では滿洲中央銀行所有の大東關小河沿の拂下げを受けて五ケ年計畫の下に一大遊園地として諸種の新施設をなし蓮の名所となす計畫である、又市街美と一般商民の繁榮のため大西邊門より千代田通りまで道路兩側に記念街燈を建設する事となつた

▲奉天教育廳にては帝制記念塔を設立すべく準備中にて三月中に具體的決定をなし各學校小學生より一人に付二錢中學生一人に付き五錢の割にて基金を募集し又一般有志の義捐とに依つて六月頃まで建設の筈である

▲奉天教育廳禮教科に於いては三月一日午前十一時より大南關文廟に於いて孔子祭を行ひ敬老、孝子、節婦の表彰を行ふ事となつた

▲奉天日滿經濟研究會では滿洲國の帝制實施を記念に日滿民衆の融和を一層緊密ならしむる目的で工業費約百萬圓を投じて一大記念館を設立し日滿人の集會に充つる外、映畫、演劇、舞踊、演說、音樂等の會にも利用し又奉天商議、市商會、協和會、各府縣貿易駐在員事務所、小集會所、娛樂場、食堂、運動場、商品陳列場等を設く可く目下具體的研究中である

錦州

名をもつて賀電奉呈午前九時から神社で九時半から納骨祠前でそれぞれ奉告祭執行、午後零時半各學校兒童生徒市民地方事務所前に集合し城内に向け旗行列縣公署前で解散の筈、滿洲國側では一日午前十時より城内四大廟廣場で慶祝大會開催、終つて旗行列を擧行する

一日は各戸に日滿國旗を掲げ第五小學校、縣公署、師範中學校の前に各アーチを樹て午前十一時より第五小學校で盛大な慶祝式擧行、終つて中等學校、小學校各生徒兒童、警官、一般市民等の旗行列、二日正午から師範中學校において縣下各官吏その他に對し賜餐並に記念品の御下賜がある筈

り撫順神社で奉告祭、午後一時より旗行列に移り大官屯で滿洲側の行列と合體、撫順驛前で解散、午後四時三十分より東七條小學校で日滿合同の祝賀會について祝宴が催される、滿洲國側では午前十時から縣公署で慶祝式典、午後旗行列日本側と合體して市中を行進する、縣公署では此外當日第一菜場で一般市民に慶祝饅頭を配給する

大石橋

三月一日を永久に記念するため協和會大石橋支部では娘々廟鎭迷山に珍木を植ゑて「協和の森」を建設

瓦房店

一日各戸に國旗を掲げ復縣公署門前に奉祝の大アーチを建て夜はイルミネーションで飾る、街頭には夜間奉祝提灯を掲げられる、午前九時半から復縣公署で日滿合同慶祝大會を行ひ、十一時より旗行列に移り正午皇帝の萬歲を三唱、零時半から市民倶樂部で慶祝記念宴會、夜十時から提灯行列が縣公署前を出發する、更に二日は市民倶樂部で地方賜餐、夜間は龍燈、高脚、帆船等あり三日は旗行列、記念宴會、提灯行列等あり三日間を通じて慶祝の坩堝と化す筈

安東

曠古の慶典を迎へて安東商埠地は全市五色旗で蔽はれ縣公署の内外一帶は繍濃きアーチが美飾され午前十時頃から日滿官民續々と慶祝大會に參集する、會場の、こゝかしこに高脚踊り、娘太鼓、滿洲藝妓の手踊りが歡舞する、正午前に各學童を主體とする日滿兩方の旗行列が縣公署に參入し岡本安東領事は日本側を代表して卽位の賀辭を採安東縣長に致し關屋市民會長の發聲で大滿洲帝國萬歲を高唱する

二日の地方賜饌は午前十前から縣公署に隣接する縣立第三小學校庭に於て開かれ安東、新義州の地方有力者三百五十名、安東滿洲國各機關職員四百五十名合計約八百名がお召しの光榮に浴する

附屬地においては安東市民會の主催で日鮮中小學校生徒三千五百名と各團體、市民の五千餘人から成る大旗行列は一日午前十一時驛前廣場を出發して縣公署の慶祝大會に參賀する、一日から三日間全市各戸晝は日滿國旗を夜は奉祝燈を掲げる、鎭江山の忠靈塔は滿電安東支店の寄進に依つて三日間美しくイルミネーションが飾られ大滿洲帝國の尊き人柱となつた幾多戰役の忠死者の英靈を慰むるなは安東地方事務所では日滿兩帝國民が永久に記憶すべきこの大典を記念するため日滿兩市街を打つて一丸とする大安東都市計畫を樹立し水道、交通、公園防疫等の日滿ブロックを目標に諸般の文化施設事業を起す方針である

鞍山

午前十一時より鞍山神社で奉告祭同二十分より市民、學校生徒及び各團體の旗行列神社前を出發、驛前廣場にいたり滿洲國側の行列と合して日滿交驩大會を開催、一日より三日までサイレン塔上で日滿大國旗を掲揚、市内各戸に國旗掲揚、四日賀表奉呈、滿洲國側は午前十時興盛廟に參集して慶祝大會を催し終つて旗行列、驛前にて日本側行列と合體

營口

午前十時から縣公署で慶祝式典を擧行、間斷なく煙花を打ち揚げ三江會館で歌舞女の合唱、舞踊の無料公開、高脚踊等ある筈、記念事業として官民に金員を給與、植林道路修築等着々着手する筈

鐵嶺

一日午前十時より鐵嶺神社で奉告祭、午前十時半南關中學校の滿洲國側慶祝大會に參加午後一時小學校前に集合旗行列に移り南門より城内に入り縣公署前より小學校歸來、午後三時より公會堂にて官民合同の大祝賀會、三日間は各戸に國旗掲揚、滿洲國側では午前十時半から南關中學校にて慶祝大會、正午から同校にて賜餐、午後一時から旗行列、次いで午後六時から提灯行列を行ふ

四平街

一日午前十時より四平街神社にて奉告祭、終つて旗行列に移り、午後一時より公會堂で祝賀大會、この間午前十時より午後七時まで間斷なく煙花を打ち揚げ各戸に國旗を掲揚

ハルビン

民衆待望の三月一日、今日この佳き日を迎へる大ハルビンに於ては市内數ケ所目拔の通りに建てられた紅紫綾なす大慶祝門を縦横にかけ抜ける美しく飾りつけられた花電車が數を連れて市中に現れる、街々戸々に飜へる新五色旗に織交ぜて「慶祝大滿洲帝國」「讃王道大滿洲帝國」のポスター傳單が隙間もなく貼られ、かれこれ十時に道裡公園の慶祝會場から打上げられる煙花に交つて、ポンポンと勇ましい爆竹の音が寒天をふるはせる、折しも爆音朗かに飛行機數臺が五色旗を翻へして市の上空に旋回し、五色の傳單を撒布し地上の喜悦に和すべく夜は街々戸々の慶祝電飾の火も輝く明るく劇場といふ劇場は全部市民に開放され、大會場跡でも支那劇、舞踊等の餘興に賑ひ興じ提灯行列の火が長蛇のやうに市中の夜をうねつて行き斯くて大ハルビン五十萬民衆が終日未曾有の歡にひたつた慶祝第一日の夜は次第に加はる寒さと共に暮れて行くであらう

遼陽

遼陽においては三月一日より三日まで三日間日滿兩國旗を掲揚、一日は[illegible]

撫順

一日から三日まで各戸、電車、自動車等に日滿兩國旗を掲揚、夜間は慶祝燈を掲げ各所に奉祝塔が建てられる、二日[illegible]

喜びの鄭孝胥氏の一家

歷史的意義

劉允升

滿洲國は今や友邦日本帝國の絶大なる正義的援助を受けて王道樂土の建設を見るに至つた顧るにその支援協力を受けたるところ大なるものあり、庶民は擧つて王道を謳歌し樂土建設に邁進し新興國家の前途今や洋々たるものあり、玆に順天安民の大旨に基き執政の登極せらるゝに至つた事は三千萬民衆の最も喜びとするのみならず、東洋平和のため一大歴史的意義を有するものと信じて疑はず、本日より臣民として忠君愛國の精神を振作し興國の大業のため死を以て邁進する事を誓ふものである

慶祝滿洲國卽位大典

商工都市として伸び行く奉天
事變後人口五萬增加

昭和六年九月十八日午後十時半柳條溝における支那兵の滿鐵線爆破によつてわが自衞權の發動さなり、全滿の情勢は一變し舊軍閥の虐政は一掃され三千萬官民は王道善政に安居樂業するに至つた、事變當時の奉天では九月十九日に關東軍司令部が移駐され二十一日には軍の手により省城に市政が布かれ時の土肥原特務機關長が奉天市長に就任し、在奉有力者が幹部となつて一般民衆の安定を圖り、治安維持會を組織して市政の諮問さ治安維持に當つたので民心は漸次安定し一般業務の復活に努力し、十月十五日に東三省官銀號の事務開始さなり、地方金融さ經濟界の安定復活に努め一時杜絕して居た金融を圓滑ならしめた

之がため商取引も復活し人心も安定したので軍の手にあつた市政を滿洲側に引渡し十月十九日趙欣伯氏が市長に就任し、專ら市面の回復に努め貧民救濟其他の社會事業に着手し、二十八日に滿洲自治に關する根本義を闡明にする目的で于沖漢氏を首班さする自治指導部が設立され宣撫宣傳工作並に地方各機關の復活に努力し民衆の安定を圖つた十二月一日より市內各小學校が一律に開校された、二十一日には奉天市內の各機關も全く復活し奉天省政府が開廳された、財政、教育、警務、實業各廳も開設されて政治機構も完備した

×

昭和七年一月には奉山鐵路局が設置されて北支那さの交通聯絡が開始された、二月十八日に東北政務委員會より滿洲獨立を宣言し、十九日溥儀執政を元首に推戴し、三月一日に建國宣言が中外に發せられ政府が確立され、次いで趙市長が立法院長に榮轉したので三月十八日闞傳薇氏が市長に就任し市政の改革を行ひ市財政の確立によつて市政の發展を見るに至つた、臧式毅氏が省長に就任するに至つて奉天全省の治安も次第に安定し、他方警務廳の積極的治安維持策が多大の功績を納めて各種取引も繁榮を來すに至つた、郵政の獨立、關稅自主に次いで愈々滿洲國の基礎も定まり、四月二十二日には國際聯盟調査團一行が來訪した、七月に奉天自治指導部が解散し民族協和の大旗をかざして協和會が設置され協和運動が起され、まもなく軍司令部の新京移轉さ共に本庄將軍さ代りて武藤元帥三位一體の司令官さして着任、大使館開設されて九月十五日愈々滿洲國承認日滿議定書調印さなり、國基彌々鞏固さなる

×

八年に入り軍司令官の更任ありて菱刈大將着任、爾後地方治安も安定し奉天は滿洲各地に比して最も早く安定せし都市だけに、その發展は非常なもので省城の人口は事變直後三十三萬餘であつたが、今日は三十八萬餘に增加し附屬地商埠地の發展も亦著るしく、邦人の進出日々增加し邦人は事變後二萬餘人の增加を示し、日滿商取引は異常な進展を來し、貿易額は一億圓に達するも近き將來であるさ見らるゝまでになつた

滿洲側の政治財政機關は完備し奉天省の稅制の確立により稅收成績も良好にて舊軍閥の暴政に惱んだ一般民衆は平和な樂土化を心から喜びつゝある、日滿融和は益々親密さなり各種の合辦事業相次いで起り、市政公署人口百萬の大都市二十年計畫さ同時に商工業都市の完成を期して日滿合辦の奉天工業土地會社生れ、鐵西二百五十萬坪の工業地の確立に當り航空會社では全滿航空網の完成に努めつゝあるその他造兵所、航空廠、野戰兵器所、放送局、奉天無電臺、被服本廠等の各種主要機關があり九年度に入り滿洲側では建國二周年を迎へて愈々都市計畫の實行に移り、工業土地にも各種工業が起される事さなつた

×

三月一日執政の登極によつて滿洲國も獨立國家さして世界各國さ等の完全なる國家さして益々發展を遂げる事さなつた、省城附屬地を合すれば人口四十五萬の大都市で商工業貿易の中心點をなし、日滿貿易は年々增加しつゝある、事實に驚歎に値す、事變直後より總てに順調な進展を見た奉天の今後は文化的大都市さして伸び行く一方である

各種建設事業の驚異的躍進振
見よ、輝やく王道政治

新帝卽位の佳き日に當つて、滿洲國の建國以來驚異的急速なる足どりを以て進展しつゝある幾多建設上の業績を數字的に擧げて見るのも此の際意義なしさしない

治安狀況

先づ第一に國家建設の基礎的大事業さされた治安維持の狀況から見るに、滿洲事變の直後地方に遁入せる敗殘兵は地方匪賊さ結び、各地に匪賊集團を結成して到る所にその蜂起を見、一時全滿における匪賊總數は三十六萬さ稱されたが、北滿及び熱河における集團匪賊の大討伐及び昨年夏期における地方匪賊の大討伐大いにその効を奏し今や集團的匪賊はその跡を絕ち、現在における全滿匪賊數は三十六萬から僅か六萬五千餘に減少した各省の現在匪賊概數は次の如くである

奉天省	一萬五千五百
吉林省	二萬五千
黑龍江省	五千三百
熱河省	一萬五千五百
興安省	三千八百
總計	六萬五千百

舊紙幣回收

次に中央銀行の創立を機さして開始された舊紙幣回收狀況は舊紙幣引繼ぎ總額一億四千二百萬圓中、昨年十一月末迄に總額の七三%卽ち一億三百萬圓餘を回收し、未回收額は三千九百萬圓に減少され國家經濟の基調たる幣制統一事業は豫想以上の好成績を示してゐるこさは滿洲國政府の國家財政の健實さ相俟つて注目に値する、因に一月末迄における中央銀行の紙幣及鑛貨發行平均高は紙幣發行高一億二千六百餘萬圓、鑛貨發行高二百餘萬圓、計一億二千八百餘萬圓である

歲入狀況

國家歲入の狀況は如何さいふに、大同元年度の歲入決算額は一億一千餘萬圓で、豫算額に比し千四百萬圓の增收であつたが、大同二年度の歲入豫算額は約四千萬圓增加の一億四千九百萬圓さ計上された、この中には公債金建國年度剩餘金も計上されてゐるが、之を控除した政府歲入は元年度の一億一千餘萬圓に比し一千七百萬圓增加の一億二千七百餘萬圓さ計上され七月以降十一月末迄の五ケ月間に豫算半額の實收入を得てゐる、其出豫算は建國年度一億八千餘萬圓、大同元年度一億三千七百餘萬圓、大同二年度一億四千九百餘萬圓である、因に滿洲國現在の國債在高は金圓五千二百萬圓、國幣六千五百萬圓、總計約一億一千七百萬圓でその內譯は次の如くである

朝鮮銀行借款(金圓)	二千萬圓
第一次中銀借入金(國幣)	四百萬圓
第二次中銀借入金(同)(中銀株式拂込に充當)	七百五十萬圓
建國公債(金圓)	三千萬圓
第三次中銀借入金(國幣)	
中銀補償公債(同)	三千三百萬圓
第四次中銀借入金(同)	七百萬圓
積缺整理公債(同)	六百萬圓

交通方面

產業開發の基礎的事業に屬する國道及鐵道等の交通建設事業を見るに、國道建設事業は大同二年六月十四日の第一回國道會議で第一次三ケ年國道建設計畫五十八路線七千三百六十キロ中で昨年十月末迄に竣工したる國道は

▲奉天建設處管內
1、南雜木―新賓街道
2、北山城子―柳河街道
3、遼陽―遼中街道
4、遼陽―立山街道
5、鞍山―立山―七嶺子街道
6、鞍山―湯崗子街道
7、莊河―城子疃街道
8、北票―朝陽街道
9、前所―義院口街道
　橋頭―大安平街道

▲新京建設所管內
1、懷德―公主嶺街道
2、穆稜站―穆稜縣間

▲チチハル建設處管內
1、訥河―嫩江間

等で、建設里數約二千キロに達してゐる、因に滿洲國は國道建設十ケ年計畫を有し、總經費一億圓、六萬キロの路線完成を目指し邁進してゐる、鐵道建設もまた亦非常

現有の國有鐵道哩數は△奉山線八九五キロ△瀋海線三二七キロ△吉長線一八四キロ△吉敦線三四七キロ△四洮線四三四キロ△齊克線二五四キロ△洮索線八四キロ△呼海線二二二キロ△總計二九七五キロに達してゐるが、この外滿洲國政府に於て建設せる新設鐵道は敦化圖們間百九十キロ、泰安、海倫間二百八キロ、ハルビン拉法間二百六十八キロ、計六百六十六キロに達した、自動車交通網は鐵路總局に於てその擴大に力瘤を入れてゐるが、既に北票―承德間三三〇キロ、朝陽―赤峰間一九〇キロの開通を見、近く更に安東―城子疃間二三六キロの外

新京―扶餘間	一六六キロ
奉天―撫順間	四三キロ
山城鎭―通化間	一三六キロ
承德―赤峰間	二三七キロ
ハルビン―同江間	六一六キロ

の開通を急いでゐる

輸出入の盛況

轉じて對外貿易に就て見るに、大同元年の貿易總額は輸出六億一千六百萬圓、輸入三億百萬圓、總計九億一千七百萬圓で、三億一千五百萬圓の輸出超過であつたが、大同二年の全貿易は輸出四億四千八百萬圓、輸入五億一千四百萬圓、總計九億六千二百萬圓で、元年に比し輸出一億六千八百萬圓減、輸入二億一千三百萬圓增加で、全貿易に於て四千五百萬圓の增加を示した、而して滿洲の對外貿易は累年輸出超過狀態をたどつて來てゐるに比し大同二年貿易が六千六百餘萬圓の輸入超過を招いたこさは注目に値する、主要輸出入品に就てその貿易額を示せば次の如くである

▲輸出	
大豆	一億六千九百萬圓
豆粕	五千七百六十萬圓
石炭	四千七百二十萬圓
豆油	一千八百四十萬圓
▲輸入	
綿織物	六千九百十萬圓
麥粉	五千八百六十萬圓
鐵類	三千九百九十萬圓
車輪	二千二百六十萬圓
砂糖	一千六百萬圓

國民負擔の輕減

其他滿洲國政府が斷行した課稅の免除乃至輕減による國民負擔輕減額を數字に見積ると大體次の如くである

(1) 滯納田賦及營業稅の免除、免除額約二百五十萬圓
(2) 大同元年度分田賦其他土地に賦課する國稅の半減、減稅額二百三十萬圓
(3) 雜貨釐捐の廢止、減稅額六十五萬圓
(4) 契約稅罰則適用停止、減稅額六萬圓
(5) 奉天省營業稅々率の減稅的統一、減稅額三百萬圓
(6) 熱河省蒙鹽稅の輕減及海鹽稅の重複課稅廢止、減稅額十五萬圓
(7) 熱河省捲菸統稅の稅率引下減收見込額五萬圓
(8) 熱河省輸入の生活必需品に對する減稅、減稅額三十萬圓
(9) 關稅の引下げ(未詳)
(10) 票證費の廢止、減收額十萬圓
(11) 出產稅及牲畜稅の重複課稅廢止、減收額約二百萬圓
(12) 間島地方に於る官賣鹽價引下げ、減收額約九萬圓
(13) 熱河貨物稅並に牲畜稅、道路稅並に附加稅廢止、減稅額二十八萬圓
(14) 舊熱河省鹽斤食戶捐及禁煙罰金免除、減稅額百三十萬圓
(15) 熱河省及興安西分省の滯納田賦及附加雜穀免除、減免額四百十萬圓
(16) 出產糧石稅法の減稅的整理及吉林省糧石銷場稅及糧石斗稅の廢止、減稅額九百二十萬圓

右減免稅額累計二千六百十八萬圓

慶祝滿洲國即位大典

大連市會議員一同（次第不同）

志村德造　西田猪之輔　松浦開地良　森川莊吉　菅原恒男　一宮章　直塚芳夫　五十嵜正大　千種峰藏　恩田明　石川良三郎　大內成美　三田芳之助　立石保福　龜澤福禎　相川米太郎　有馬邊　古泉光男　芦刈末喜　高塚源一　山口十助　高橋猪兎喜　今村貫一　矢野靜哉　熊谷直治　上原進　小野實雄　田中宇一郎　若月太郎　桑野彌一郎　蔦井新助　笠原博　張本政　麗睦堂　邵愼亭　劉仙洲　許億年　黃信之　周子揚　市會書記 野口一二

總ては春の姿

あらゆる階級の人々が押寄す

成人熱河の事情

暴戻な舊東北軍閥の壓迫に嘗ては鐵火の雨を降らした熱河省にもまた麗かな春が廻つて來た、長城の山波は遠く霧に霞み灤河の流れは何時しか滔々の響を立てる、秘境離宮の丘の上にも夢のやうな陽炎が燃え始めた、鳥が啼く、馬が嘶く、すべては春の姿である、康熙帝以來顧みられなかつた熱河も滿洲事變に蘇へつて麗かな第二春を迎へたのだ、而も昨年とは異り今年は執政の即位もありこの輝かしい歷史を迎へて同じ春でも潑剌たる粧ひである、街には汽車の汽笛が鳴り村には自動車のエンヂンが響く、電燈も灯され電話もかゝり、目醒ましい新興の躍進である、空には平和の戀雲が棚曳いて地には「成人熱河」の曲が奏られる、春にめぐまれるもの——熱河は日々に拓けて行く……いろ／＼な意味で謎とされてゐた熱河省が日本あるひは世界の認識に上つたのは一昨年の春王道立國滿洲國が建設されてからである、それが熱河作戰となり國際聯盟の問題となつて一躍世界の舞臺に登場し續いて平和克復、文化建設によつて熱河省の名は普遍化した、而もその熱河省は今後の經濟的諸關係に於て多大の關心を寬めてゐる、もと／＼熱河省が對外的に認識を興へなかつた事は土地邊陬に位して地理的に惠まれず從つて文化の交渉薄く交通不便な結果からと云はれてゐるがまた一方舊東北軍閥が極端なる排他主義から外來者の出入を阻止したと云ふ事實も否めない原因の一つであつた、謎の熱河として想像圈內に置かれてゐたのもその爲めで地下の經濟は徒らに死藏され康熙年間の豪華版と云はれた離宮、ラマの伽藍さへ餘りに紹介されず暴虐な匪政下に埋もれて來た處が熱河戡定を一契機として謎の扉は靜かに開かれ正體熱河が漸く認識されると同時に文化建設の運動は澎湃として起りいま省を擧げて全面的に動きつゝある

◇……◇

熱河省を語るには先づ省內の地形から述べねばならぬ、熱河省は滿洲國でも西南隅に片より興安山脈につゞいてゐる關係上到るところ山が多い、でなければ不毛の曠原である、朝陽から凌源平泉あたりまでは赭土の山、凌南の省境から長城線にかけては岩石露出の峨々たる險山で承德あたりも山の中、それより北の隆化も山また山の山岳地帶である、川は幾條となくその山波を縫ひ耕地は僅かその川べりに點在するのみ、赤峰附近も山多くそれより以北興安省に隣接の地はまた見渡す限り茫漠たる曠野である、斯うした地勢にある關係上匪賊の橫行も甚だしく皇軍入省後と雖も李海山、唐七點五龍、老耗子など大匪團を始め大小無數の賊團が各地に割據して掠奪暴行を恣にしてゐたためにその被害を蒙らざる地がなくこれが爲め土民は生命財產の保障なく安んじてその業に服する事も出來ず家業を抛ち耕地を棄てゝ他へ避難する者多く長きに亘る軍閥の搾取誅求と相俟つて一時省內は疲弊困憊その極に達してゐた

◇……◇

ところが皇軍の治安維持に當つて以來滿洲國側と協力し日夜これが討伐に當り或ひは宣撫よく努めた結果その多くは掃蕩され或ひは歸順して今では賊影を認めず治安全く恢復して何れも安仕樂業についてゐる平和の風景と吹くところ牧童も高らかに角笛を吹いてゐる

◇……◇

熱河省の人口は滿洲人三百六十萬人、蒙古人四十萬人、計四百萬人といはれてゐる、邦人は聖戰後漸次入省し所謂寶庫熱河の宣傳がきゝ過ぎて始めは軍隊を對象とする料亭、飲食店これを根城とする藝酌婦、女給、御用商人のみであつたが今では旅館洗濯業、時計商、土木業、雜貨商、菓子製造、豆腐製造、寫眞屋、湯屋と總ゆる職業人を網羅し先づ朝陽の千百人、凌源の七百人、平泉の三百人、承德の九百二十人、赤峰の七百人を始め北票、口北營子、葉柏壽、建平灤平、古北口、凌南といたるところその姿を見ざる無くその數約五千と云はれてゐる、一時は困つた醫師さへも今では飽和狀態である

衞生方面は文化の低い關係上一般に思想幼稚で一度罹病すれば病勢の成り行きに任す惡習の狀態にあつたが昨今は邦人側の阻地開業醫も見、その上日滿軍警間に於て屢々衞生會議を開催し衞生思想の普及に努めてゐるので漸次向上の狀態である、省內の主なる疾病は呼吸器病、皮膚病、眼病等で花柳病も相當多く蒙古人には梅毒、滿洲人には淋病が流行つてゐる、學界の謎、甲狀腺の腫脹は平泉南方の山間僻地に多く寬城附近に行けば澤山の瘤男、瘤女が見受けられ彼氏、彼女等は咽喉元に大きな瘤をフラつかせながら而かも眞面目に戀を囁いてゐる

◇……◇

關稅取引は事變前主として平津地方に行はれてゐた、事變後は關稅その他の關係により奉天營口方面に轉向したが即ち赤峰、北票、朝陽は錦州を經、奉山鐵道により平泉地方は驢馬、駱駝により喜峰口を經、承德附近は灤河を利用し或ひは古北口を經、相當額の取引を行つてゐた、それが事變中通商が杜絕し事變後國境關稅が賦課さるゝやうになつてその取引は一變し奉山線利用による奉天、營口方面と結びつけられたのである、若し將來承德或ひは古北口に鐵道が敷設さるゝ曉あれば更に熱河貿易は一大變革を來し遠く察哈爾の多倫、張家口にまでも進出するであらう

通貨は十年以前まで吊文紙幣が一般に行使され民國十年熱河省興業銀行開設されてからは該銀行券を所謂「熱河票」として流通した、その後省政府の紙幣濫發に起因して漸次市價を下落せしめ不換紙幣として商民もこれを喜ばないので遂に現大洋一元につき同票五十元にまで低落した、併し滿洲國の建設とともに中央銀行が設置され同票五十元に對し中央銀行券一元の換算率を以つて兌換し回收に努めたので漸く通貨の安定を見、ソレに同銀行が一般業務も開始したので商民はその利便に非常に感謝してゐる、一般產業は地勢交通の不便な關係からこれが指導開發は比較的閑却されて來たが今後鐵道施設が完成し、交通機關が整備すれば或る程度まで引上げることが出來るであらう

◇……◇

現在においてすら朝陽、凌源、平泉附近からは熱河特產の大宗といはれる阿片を始め粟、高粱、大豆小豆、包米等の雜穀を產出し林檎葡萄、梨、棗、杏子等の果實も稔り凌南地方からは名物の蔬菜が產出する、灤河の川べりには水田が拓け赤峰地方からは羊毛、皮革を始め甘草、阿片が輸出される。初夏の候カッキリ晴れた大空の下雪かとまがふ罌粟の花盛りは熱河でなければ見られぬ美觀の一つであるがだが熱河省は前にも述べた通り山岳地帶が多く耕地は極めて狹い、然うした關係上地上の物產は隣接の奉天省や吉林、黑龍兩省と比較にならず現在では熱河一省の自給自足にも達しない貧弱な有樣である。

たゞ前人未到のまゝ顧みられなかつた地下の經濟價値が今後の大きな謎として殘されてゐるが今の處では北票、新邱、隆化などが石炭礦として採掘に着手されたのみ、この外に金、銀、銅その他の鑛物が無盡藏だと傳へられてはゐるが未だに採鑛の着手を見ない、これも滿洲國の鑛業統制により何時世に現はれるか不明であるが併し國內の整備國礎の充實と相俟つて近き將來には必ずや採掘されるであらう埋藏量など幾何なるや一種の謎として疑問符上に置かれてゐる關係上そこに多大の興味を持たれる譯だが或ひは地上の貧弱なる物資を地下によつて補ふ事になるやも知れない。

◇……◇

ソレにしても必要なのは近代文化の注入である、道路に鐵道に電燈電話、電信にその完成は現在の熱河省として焦眉の喫緊問題とされ既に道路は滿洲國の建設により朝陽より古北口まで幹線國道として着手し朝陽赤峰間もまた修築されつゝあるが併しまだ完成に至らず、雪解けまたは雨季に際會せば、[illegible]川は一時に氾濫して交通杜絕の止む無きに至るであらう、凌南、凌源間平泉、喜峰口間、承德、隆化および赤峰間、平泉、[illegible]城間、凌源、赤峰間また主要道路であるに拘らず荒廢破損に委せてゐる。鐵道は北票線口北營子より朝陽までは既に假營業が開始され朝陽より凌源までは目下工事中である、四月中旬か五月上旬までには開通さすべく完成を急がれてゐるがこの鐵路、この鐵道などは特に熱河產業開發に重要な使命を帶びてゐる關係もあり、鐵道は更に赤峰までと承德を經て古北口までの延長を要望されてゐる「一寸奉天まで」など、氣輕に旅行し得らるゝ事になれば熱河文化の建設にも之れが根幹となつて多大の貢獻を齎すであらう。

◇……◇

バスは現在のところ朝陽を起點として赤峰と承德に毎日運轉されてゐるが賃銀は片道國幣赤峰まで九圓、承德まで十四圓である、承德から赤峰にも通ひまた北平にも運行されてゐる、北平間は古北口を中繼として古北口までが五圓、ソレより先き北平までが六圓、また平泉、北票間は十二圓五十錢である、熱河過渡期における交通機關として利用されてゐるが飛行機もまた毎週五日間錦州、朝陽、凌源承德のコースを往復し奉天にも連絡する、承德まで片道が國幣の四十五圓で機上から熱河の秘境を探勝する等は恐らく同地方としては尖端的の旅であらう。

◇……◇

電燈は既設の北票を始め朝陽、赤峰にも灯つたがこの三月中旬からは承德の市中にも點燈される事になつた、その他の都市即ち凌源、平泉、凌南、隆化、灤平、古北口は何れも前世紀の遺物である洋燈により漸く照明を得てゐる始末で夜間の市中は全く暗黑の世界である、電氣事業はその點燈によつて生活の向上を圖るのみならず土地の治安維持にも至大の關係があり動力供給により種々の企業を促進することゝもなるから近い將來には右都市の點燈は勿論延いては熱河電化といふ大きな計畫も目論まれるであらう

電話は現在赤峰と承德に架設されてゐるが今回更に赤峰五十個承德八十個の增設を見た、朝陽にも近く架設される運びになつたがこれも一般都市に架設の機運にあり、嘗ては長距離電話も開通し奉天、大連あたりと「あゝモシ／＼」てな調子で通話出來るやうになり商取引その他に至大の福音を齎すこと請合だ。電報も各主要都市に取扱はれ赤峰、北票、朝陽、承德のほか二月始めからは凌源、平泉にも漢文、歐文のほか和文も併せて取扱はれる事になつた、錦州からの無電通信は現在赤峰間だけ直通となつて居り承德間は奉天迂廻の不便な狀態にあるが近く錦州に對熱河の一大無電送信所を設置するの計畫あるから完成の曉は承德とも直通となり總ての點において便利になる譯である

◇……◇

その他灤河の水運、牧畜の改善等も計畫にあり加工工業なども相當考へられてゐる。即ち未開熱河は未だ幼稚であり建設時代であるが以上鐵道の敷設、道路の開鑿、電氣事業の普及、電信、電話の架設その他文化施設の擴充により地上の物資、地下の鑛產を開拓し以て新興熱河の價値を引き揚げやうと努力してゐるのである、北、滿目荒涼たる千里の曠野、東、赭土の丘陵と不毛の山、西南、峨々たる險峰、この文化未到の熱河は產業黎明の處女地としていま總ゆる人工に科學の力が働きかけてゐるのだ、拓け行く熱河——その躍進途上に「成人熱河」の行進曲は朗かに演奏されてゐる。【寫眞は熱河街道キヤラバン】

慶祝滿洲國即位大典

大連綿糸布商組合
(イロハ順)

伊藤忠商事株式會社大連出張所　大連市山縣通 電二三五八五
日本綿花株式會社大連支店　大連市山縣通 電六一一七五
日華蠶糸株式會社大連出張所瑞豐　大連市山縣通 電八七一一四
東洋棉花株式會社大連支店　大連市山縣通 電六一一五八
藤沼洋洋　大連市紀伊町 電五八九五
株式會社大信洋行　大連市監部通 電六一一四一
叉一株式會社大連出張所　大連市山縣通 電二二六六六
上野洋行　大連市山縣通 電六二二三〇
株式會社丸永商店大連出張所不破洋行　大連市山縣通 電五〇七〇
江商株式會社大連出張所　大連市山縣通 電五〇六九
株式會社永順洋行　大連市山縣通 電四三三九

振動不感　ハフィス
実用時計　メイフォード
標準時計　ロックストン
大衆時計　フホックストン

シベリヤ毛皮商會　大連市大山通(三越前)　電話三六五六番

大連海運業聯合會員
(イロハ順)

井戸川商店
日本郵船株式會社出張所
渤海商船公司
大阪商船株式會社支店
吉村事務所
大連汽船株式會社
高橋商會
大連東和汽船株式會社
合資會社大三商會
合資會社辰馬商會
堤商會
山下汽船株式會社支店
松浦汽船株式會社
合資會社丸二商會
國際運輸株式會社
合資會社永和公司
阿波國共同汽船株式會社支店
株式會社澤山兄弟商會出張所
三井物産株式會社船舶部
合資會社靖和商會

大倉土木株式會社大連出張所
大倉商事株式會社大連出張所
大連市山縣通大倉ビル

S.S.
榊谷組
大連市能登町一五

森永製品滿洲販賣株式會社
大連市雲井町二七
電話(九〇二一 九八八四)番

合名會社肥塚商店大連支店
大連市山縣通六九
電話七〇三六番

清酒白鶴發賣元
大日本麥酒株式會社
野田醤油株式會社
代理店
嘉納合名會社
大連市監部通
電話(五三二五 七〇四四)番

遼東ホテル
大連市大山通
電話代表三一七七番

製品(鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋豆油容器、煖爐類)
株式會社大連機械製作所
本店　大連市沙河口臺山町
電話(代表共通番號 九一五一番 夜間及長距離 九一五三番)
支店・分工場　奉天西塔大街三丁目 電話二二〇三番
要目(汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製圖、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯)

日本ペイント滿洲販賣株式會社
大連市山縣通二一
電話三八二三番

三越
大連

有價證券、錢鈔賣買取引人
株式會社德泰公司
大連市山縣通り五番地
電話四五四五・六一六四番
支店　京城府明治町　奉天加茂町
出張所　撫順東二番町　鞍山大正通

合服と毛布の御撰擇は先づ弊店にて
大連滿毛百貨店分店
大連市信濃町(浪速町電停前)
電話四七七九番

中部大連カフヱーバー組合

昭和製鋼所

滿蒙開發の先驅　東洋貿易の楔子
海陸運輸及附帶事業一切を始め
小荷物の取扱迅速低廉
國際運輸株式會社
大連山縣通
電話代表三一五一番
滿鮮其他主要地に支店、出張所、取扱店の設置あり

國際都市の交通機關
大タク

大タクの電話

本社	二二四六八	吉野町	三三三三	若松町	七七五一
營業部	八五一四	晴明臺	三三三一	南山麓	四七三四
常盤橋	五七七四	聖德街	九三二四	北大山通	六九六四
春日町	三三五八	沙河口	九五一二	星ケ浦	九〇三九
逢坂町	五五〇二	大正通	九五三六	靜ケ浦	四七八〇
山縣通	七八四一	若狹町	八四一九		
加賀町	三〇三六	攝津町	八八〇八		

輸出入、土木建築、倉庫、保險
機械類一切自動車、鑛油、揮發油其他
建築、土木一切、諸雜貨、食料品類
FC
福昌公司
大連山縣通
電話代表七一七一番
保險會社代理店

福昌華工株式會社
大連埠頭構內
電話代表四五一〇番

奉祝滿洲國帝政

國務院總務廳
新京市政公署

滿洲中央銀行
總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
吳思培
武安福男
劉燏棻
五十崎保司
監事 劉世忠
闞潮洗

滿洲國協和會

國際運輸株式會社
新京支店
支店長 蔘沼泰一

株式會社 福昌公司
新京出張所
新京八島通四二

新京電話工業株式會社
新京日本橋通七三
電話四九八一・三七三二番

株式會社 滿洲モータース
新京支店
新京八島通三二
電話三九〇八番

社團法人 新京賽馬倶樂部
新京富士町六
電話二三二三番

被服請負
株式會社 丁子屋商店
新京出張所
新京老松町四
電話四九五五番
本店 京城

滿鐵新京販賣事務所

新京地方事務所長
荒木章

新京販賣事務所長
久松治

南滿瓦斯株式會社
新京支社長
靑木哲兒

新京輸入組合
理事 久末吉次

新京附屬地
各學校長一同

新京警察署長
高山勝司

新京地方委員議長
辯護士 大原萬千百
新京老松町一六
電話三九三七・三九六七番

新京商業會議所
理事 大垣鶴藏

新京驛區長一同

新京郵便局職員一同

三井物產株式會社
新京出張所長
中山佐吉

大連火災海上保險株式會社
新京出張所
所長 細井研智
新京八島通三二
電話三〇七四番

大信洋行新京支店
支配人 村上照一

滿鐵新京醫院一同

堀山產婦人科醫院
院長 堀山研作
新京蓬萊町一丁目一五
電話三一八〇番

知識眼科醫院
院長 知識吉彥
新京大和通六六

株式會社 山葉洋行
新京出張所
新京梅ケ枝町
電話三二五七一番

金華號新京支店
新京日本橋通
電話三八四二番

羅紗及御服附屬
建築材料及塗料
加藤洋行支店
新京日本橋通

內田洋行新京支店
新京中央通
電話四七四四番

和洋雜貨
平本洋行
新京日本橋通
電話一一五番

大連出光商會
日本石油製品 新京代理店
撫順公司新京支店
石橋德太郎
新京日本通橋
電話二四四三番

各種皮靴
毛織物綿布
貿易商
合資會社 廣本洋行
新京日本橋通

松田商會
松田彌三郎
新京大馬路四九
電話三九四四・七六八九番

世帶道具と食料品の店
遠藤洋行
遠藤才次
新京中央通
電話四四五四番

森洋行新京支店
新京中央通四八
電話三八七三番

大阪屋號書店
新京中央通
電話二三二一番

文具の店
林洋行
新京日本橋通
電話二一六五番

滿洲金物株式會社
新京支店
新京永樂町二
電話二八一九番

寶山燐寸工場
前田伊織

和洋雜貨
寶山洋行
新京永樂町一丁目

品川洋行支店
新京日本橋通五九
電話三〇六二・五九三番

大華窯業公司
新京日本橋通
電話二八四〇番

合資會社 鈴木勝本商會
新京曙町三ノ四
電話二六六八番

南滿洲電氣株式會社
新京支店

滿洲電信電話株式會社
新京首席駐在員 中谷彥太
新京放送局長 加藤誠之
新京中央電報局長 有川博基
新京工務所長 長谷忠二
新京中央電話局長 福永高介
新京無線工務所 佐々木敏郎

土木建築請負
碇山組
本店 奉天靑葉町一四
電話四六五二番
支店 新京曙町二丁目一二
電話三三五三番

新京石炭商組合
松茂洋行 電話二〇四二・二五六二 東二條通
泰利號 電話三一七〇・二六九〇 東一條通日本橋通
加藤洋行 電話二〇三二 日本橋通
大昌煤局 電話二五八二・三四七一 祝町三丁目
裕新公司 電話二三一三 北大街
仁和洋行 電話二五八二・三四七一 三笠町
泰山行 電話二一五六 日本橋通
新泰洋行 電話二二九七 祝町四ノ四

資本 國幣六百萬圓（全額拂込濟）
主要業務 當業、造酒、製油、雜貨買賣、財產ノ管理、代理業、公債、社債券其ノ他有價證券募集並引受
大興股份有限公司
本店 新京特別市北大街第三十六號
支店 奉天、新京、吉林、哈爾濱
營業店 滿洲國內重要地四十七ケ所

和紙
洋紙
鳥ノ子紙
薄葉紙
紙問屋 丸三合名會社
新京出張所
新京老松町九番地
武生製紙所
特產製紙株式會社
株式會社西野製紙所
株式會社丸井工場
總代理店
本店 大阪西區靱上通一丁目
電話三八八六番

慶祝・新帝即位

國民の渴望　こゝに充たさる

ハルビン總領事　森島守人

滿洲國新帝陛下には天命に順ひ五族三千萬民衆の熱望に推されて本日御即位の大典を擧げさせられる。滿洲百四十萬平方粁の全土が陽春の光の如き歡喜に浸ることも亦誠に宜なりといふべきである。滿洲帝國は玆に限りなき待望の裡に産れ出でた次第であるが、同國が之に依つて獨立國としての地歩を一層鞏固ならしむるに至つたことは、特に滿洲國と緊密な關係にある善隣の日本人として滿洲國人と共に慶祝に堪へないところである

思ふに滿洲國建國以來僅に二年に過ぎないが新興國として活潑々地の發展途上にあり、經濟的建設に於ては先づ幣制は統一を見、交通機關は整備せられ、航空路は四通八達し、敦圖、拉濱、二鐵道建設の結果は海を隔てゝ日本と息々相通ずるに至つたし、道路も亦既に國內樞要區間二十路二千粁の完成を見、其他各般の施設は着々として進捗しつゝあり、斯の如き經濟建設の成就は全く日滿兩國軍並に各警察機關の涙ぐましい努力による治安維持の賜であつて、之を往年の舊軍閥當時の滿洲又は中華民國の現狀と比較する時實にこの國こそ王道樂土の名實を具有するものだとの感を深からしむる、治安維持確保に伴ふ經濟建設は上述の通りであるが、更に政治的方面に就て見るに、行政機構は整備せられ、野に遺賢なきと迄に人材の登用行はれ、政治建設は日に月に進展の一路を辿り五族協和の實績を擧げんとしつゝあり、新帝の御即位は眞に畫龍點睛とも申すべきもので聖、賢、智を一身に具有せらるゝ王者の出現を見、化養の治に浴し、順天安民の善政を謳歌せんとする全國民の渴望は玆に充たさるゝに至つた次第である、新帝陛下の聖明なる御資質に就ては今更贅言を要しない、新帝の御登極に依て滿洲帝國の基礎は磐石の重きを加ふる次第であるが、最も重大なりと爲すべきは、滿洲人の心理建設が之に依つて成ることであつて三綱五常依つて以て樹ち、王道蕩々萬邦をして之を仰がしむるの基礎をなし、德治主義の國家として行詰れる各國政治の是正を示唆するものとなり、世界文化の向上に貢獻する所多大なるべきを思ふ次第で、之は今後の滿洲帝國の政治建設、經濟建設將又文化建設等の上に如實に表現せらるゝものと待望するものである

友邦滿洲帝國は之よりして內は上に聖明なる元首を戴き順天安民王道樂土の實現を見るに至るべく外は、國際信義を重んじ各國との邦交は益々敦厚を加ふべく、日滿兩帝國の提携は愈々固かるべく、東洋の平和は恒久に確立せられ、隣邦中華民國及ソ聯邦との友好關係は更に好轉し、延いては各國の不承認問題の如きも解消を見るであらう、斯く觀じ來れば、滿洲帝國は波靜かなる大洋の眞中に確實なる航海を續け來たり、今や更に「スピード・アップ」せんとして居るの概がある、その前途實に洋々たりと言ふべきである

玆に謹んで新帝陛下の聖壽無窮を奉祝し滿洲帝國の健全なる發展を祈る次第である

黎明の曉雲闢く

新京特別市長　金璧東

天意の赴く處些たる人爲を以て之を阻むべくも非ず、而も滿蒙三千萬民衆の輿望滔々として之に隨ひ玆に溥儀執政の御登極に會ひ奉り、順天安民の帝制國家は窮りなき滿蒙黎明の曉雲を闢きて出現す執政の英明に在し一に國利民福も亦痛快ならずや

要は日滿提携、五族協和、只管大東亞の和平に向ひて邁進あるのみ、正義の存するところ又何をか憂ひ恐れん

斯る四圍の情勢下に在りて滿洲國は既に大同三年の春を迎へ、國

軍閥の暴政の害を嘗めたが、幸にして九・一八事變の機に乘じ隣師を借り醜類を驅除し民族自決の精神により滿洲新國を建てゝより歲月匆々既に二星霜を閱した、此の二年の過程中朝野上下の努力及友邦の熱烈なる援助により種々なる建設今日の成績を收めたのは吾人の自ら大いに慰め、且つ友邦に對し感謝措く能はぬところである、建設上に於ては相當の進展を見たが國體上なほ確實なる制定無く建國の大義未だ備はらざるものあるに依り、三月一日を期し天意に順じ、人心に應じ我執政皇帝の位に就き、國體を君主となす、萬姓歡騰朝野共慶す、實に千載難逢の盛典である、現に中央政府は憲法調查委員會を組織し憲法の編成に從事しつゝあり、大約明年三月には公布されると聞く之に依つて國家體制は益々完備し國家の基礎は益々鞏固となり我三千萬民衆は永く王道樂土に住ひ、安居樂業の生活を樂しむ譯である、我滿洲國民は之に依り永く王道の恩澤に浴し東亞民族の幸福世界永久の和平を見るべく我等臣民無限の欣賀の意を表するを禁じ得ない處である、所謂國家とは多數の風俗思想歷史言文相同じき民族が一定の土地內に組織せる生活集團の謂である、その國家の體制政治の主義は人心趨向の一種の反映的表現である、友邦日本は其の人民忠君愛國の精神に富み、皇祚無窮の思想を抱くが故に君主立憲の國體を有すると、佛米兩國人民は自由の思想に富み進取主義を抱くが故に人民共和の政治を有する、是各國建國の精神政治の主義各異なり、何れも一種の傳統的觀念を有しその由來する處久しく決して偶然のものではない、我滿洲は邊垂に位置し民風樸茂孝悌忠信の思想に對し一種の傳統的特性を有し如何なる新主義と雖も此の舊思想に抗するを得ない之滿洲民族と善隣日本の根本的一致點である、日本は明治維新以來今日迄六十餘年の努力を經、君主立憲王政復古の薰陶を受け遂に今日の政治の休明、經濟の發展、文化の優越、軍備の強大を齎し進んで世界三大強國となつた、滿洲人民は辛亥以來廿年未だ共和の福を享ける事なく、軍閥の害のみを受け來つた、之三千萬民衆が獨自の建國と帝制の實施を渴望する由來であるが、他面我執政の聖德格天民隱を化治し、臨御二載に過ぎないが功德全國に著しく遐邇賓服、朝野謳歌し三千萬人民の三月一日の皇帝即位を渴望する所以でこれより順天應人大いに先王の道行はるれば人民は更に一層王道の恩澤を享受すべく帝制の實施は實に自然の趨勢であり必然の徑路で所謂上順天意下應民心とはこの謂である天既に水深火熱の中から我三千萬民衆の蘇生の機を與へた以上、我民衆は此の意を體し忠君護國の精神により勇往邁進更始を圖り天心に副ふべきは三千萬民衆の天職である。

東洋政治思想の動向を暗示

奉天總領事　蜂谷輝雄

本日の御盛典による滿洲國帝政の實現は、新皇帝たる溥儀執政の御英德に基く天意の發露として、又國內三千萬民衆の人心を安定し、その國礎を固むる意味において、滿洲國成立以來最も慶賀すべきことである、又今回の帝政實施を國際的に觀察するに、これにより新たに極東に一新帝國を出現せしめた意味において東洋史、否世界史上の一大劃期的事業として最も意義深きところであり、又これによつて近時高まりつゝあつた諸外國の滿洲國に對する認識を一層強からしむるものと考へられるので、之は眞に世界平和のために悅ぶ可きことゝ思ふ、更に之を現代の政治的思潮から見ると、一頃世界を風靡した所の共和政治に對する疑念が昨今起りつゝある際に新興滿洲國が率先してこの帝政を實施したことは將來に對する世界的少くも東洋的政治思潮の動向を暗示するものとも思はれ、此の意味に於ても極めて重要視すべき所と考へられるのである、帝政實施に際し新皇帝の萬壽を祈り奉ると共に滿洲國の發展を希望し以て祝詞とする

恭值大典公布我
執政即
皇帝位爲非常榮幸之事臣民有擁戴心久
奚適來兵戎載戢年穀順成天心顯示
東顧也天爲民立之君凡以從民欲耳
皇上俯允勸進大寶誕膺上下實一心也順
民心即所以順天心滿洲全國咸仰望
皇上正此大位拯天下於水火而登諸衽席
仁民愛物納斯世於大同焉俾其禕而
丁鑑脩謹話

上順天意　下應民心

北滿特別區長官　呂榮寰

辛亥民國成立以來九・一八事變に至るまで二十年の歲月を經たがこの二十年間に我滿洲三千萬民衆は

にのみ御心を用ひさせらるゝ大德を備へ給ふは申すも愚、三千萬民衆の欣喜、渴仰亦何をか言はん、惟ふに君主國たるべき滿洲國の理想は夙に建國者並に三千萬民衆の輿望として其の發見を見たるものにして執政出廬の當初より滿蒙上下の間に燃ゆるが如き立憲君主國建設の熱望蟠居せしは多言を要せざる所なり

而も民衆如何に王道樂土の出現を渴望せりと雖も暴虐極りなき舊軍閥の壓政下に在りて確たる指導者さへ有せざるに於ては、民衆の聲は無に等しく徒らに苦痛を反覆するに過ぎざりしも、俄然勃發せる過般の九・一八事件を導火線として爆發するや滿蒙獨立の聲、春潮の澎湃たるに似て止まる處を知らず、指導的人傑の出現に加ふるに善隣大日本帝國擧國一致の犧牲的援助に俟ちて滿洲國の獨立となり、共存共榮の大同國家の建設を見、今又玆に光輝赫々たる立憲君主國の實現に會へり

建國以來微力を致せる不肖又感激措く能はざる所にして、三千萬民衆と共に今日の盛典を天に謝し大日本帝國に感謝す

滿洲國の獨立、更に立憲君主國の出現、今尚世界列國の承認する處とならずと雖も嚴然たる此實在を聯盟以て如何ともなすや、而も尚この事實を快しとせざる國家なきを保し難し、皇帝の威容備はり滿洲國玆に安定したりと雖も天下愈々多事にして世界の風雲亦漸く急を告ぐるを惑するとき、その局に當る者更に一段の大志壯圖を描く

內の治安定まり人心既に一に歸し王道大政治の原則に返りて本道を歩み堂々國體を一決して君主制を定め、執政を推戴して第一代皇帝の榮冠を戴かしめ、三千萬民衆相和して光彩燦然たる新國家の偉容を示し、玆に極東永遠の平和は嚴然としてその基礎を確立せり

斯く滿洲國が其の國體の基礎を帝制に置くべきは、理論上よりするも實際上よりするも既に一點の疑義を存せざる所にして、天意、民意、合致の極なりとも稱すべく極東平和、世界平和を確保する上より見るも當然なる歸結なり

斯くして滿洲國が立憲君主國としての偉容を完備せる今日、人材を擧ぐるにも布衣の間に於て徹し、徒らに形式に墮したる老廢人物或は軍閥的人物を陳列することなく、苟も採るべき有らば山澤の一青年、巷間の一布衣をも擧げて新皇帝の輔相とするの英斷を以てせば日滿兩國他日の提携、勃興期して俟つべきあるは言を俟たず、不肖龍親王の恵を享けて國恩を蒙ることも亦大なり、此の盛世に會ひて只管感涙あり、身を賭して盡忠の志あるのみ

滿洲國大典記念繪はがき

慶祝滿洲國即位大典

新京

新京岡組出張所　長濱德市　新京曙町三ノ四　電話二七八八番

福井高梨組　新京出張所　新京中央通二六

阿川組　新京日本橋通一六　電話二〇三六番

新京旅館組合一同

旭ホテル　新京日本橋通六　電話代表二七四六番

太陽ホテル　經營者　小泉喜治　新京永樂町一丁目　電話代表四九七九番

東亞ホテル　新京朝日通一七　電話代表四九二七番

向陽ホテル　新京大和通七三　電話代表三八八二番

滿蒙旅館　新京大和通三番地　電話二五〇八番

大和旅館　新京大和通　電話二六五七番

新京キネマ館　館主　岸本朝次郎　支配人　三戸壽　新京祝町・電二〇六八番

新京附屬地　カフエー組合一同

割烹　やよい　新京吉野町三丁目五　電話三四九〇番

扇芳亭　新京永樂町一丁目　電話四七〇三番

御料理　永樂支店　新京吉野町三丁目　電話二一七九番　本店　大連西檢

御料理　一樂　理髮館　紅葉軒　新京大馬路三馬路　電話三七三〇番

美味求眞　天平新京支店　新京永樂町二丁目　電話三三九一番　本店　大連市浪速町二丁目

割烹　青葉　新京三笠町二丁目　電話二九四二番

賓宴樓飯店　新京東三條通二六　電話二八一二・二七二八番

新京　タンス・キヤピタル　上野由人　外從業員一同

ダンスホール　新京會館

吉林

吉林省公署　省長　熙洽

吉林省公署總務廳　廳長　三浦綠郎

吉林省公署民政廳　廳長　李銘書

吉林省公署警務廳　廳長　金名世

吉林省公署實業廳　協和會吉林事務局長　廳長　孫輔忱

吉林省公署教育廳　廳長　榮孟放

吉林省公署總務廳　調査科長　山本紀綱　總務科長　徐家桓　經理科長　根本成一　人事科長　大內龜太郎　民政廳　事務官　馬江　財務科長　盛長次郎　警務廳　警務科長　林源之助　外事科長　萬文灝　事務官　窪田五六　特務科長　岩島勇太郎　事務官　竹內源次郎　實業廳　事務官　柏堅　事務官　畢鎭濤　事務官　花田孫平　事務官　豐島平　技正　國分堅　技正　秀島秀夫　教育廳　事務官　桑畑忍　省視學　伊藤伊八

吉林省警備司令部　司令官中將　吉興

中央銀行　吉林駐在理事　劉燏棻

永吉縣公署　縣長　李科元　參事官　三宅秀也　副參事官　佐々木堯

滿洲國協和會吉林事務局　副局長　三橋政明　事務長　高須祐三　總務科長　高附榮太郎　地方科長　戴華勛

吉林省會警察廳　廳長　穀昌　外事科長　何春魁　馬場利秀

吉林市政籌備處　處長　程科甲

吉林電燈廠　駐在員　神村鶴雲　廳長　林鶴皐　副廳長　周廣治

吉林電報電話局　局長　馬象圖　庶務課長　木村有雄

吉林郵便局　局長　臧又青　駐在員　小川信三

吉林日文電報局　局長　荻沼秀雄

吉林滿鐵事務所

吉林料理店組合

日清ホテル　名古屋旅館　近江屋旅館　初音旅館　東京旅館　大坂旅館　金千代旅館

吉林木材興業株式會社

奉祝満洲國帝政

瓦房店

復縣公署一同

娘々宮　海邊警察隊員一同

瓦房店國境警察隊職員一同

復縣警務局一同

復洲灣煤礦一同

瓦房店電燈株式會社　社員一同

國家指定土木建築請負業　井上組　電話七六番

白龍正宗釀造場　電話一一一番

許家屯　製造業　和記號

蘆家屯商務會

萬家嶺商務會

松樹商務會

許家屯商務會

田家商務會

地方事務所長　越智通明

警察署長　酒井碩三

警院長　佐藤良治

蘆家屯　萩岡農園

萬家嶺　石材業　吉田連

萬家嶺　石材業　多田工務所

復州鑛業株式會社　川上眞水

復縣金融合作社　丹上義勝

復縣稅捐總局長　呂振邦

御料理　筑紫館　電話一五番

カフエー　キング　電話一三番

さんば　大河原ヒロ　電話七九番

蘆家屯商務會長　共和村　鄒子厚

蘆家屯商務會副會長　天合成　鄒彝軒

蘆家屯　大有慶　高會鄉

蘆家屯　天順合　金翔閣

蘆家屯　全盛泰　王淬然

蘆家屯　慶合東　唐化南

得利寺　商務會

松樹　元泰永　孫元福

許家屯　義成興　王舉英

萬家嶺商務會長　德生合　張蘭亭

萬家嶺　福全棧　王金五

萬家嶺　裕興隆　丁熙元

萬家嶺商務會副會長　松聚源　王振廣

洋酒、雜貨　德裕商店　電話二九番

田家商務會長　王向周

田家商務會副會長　宮子安

田家　那永順

田家　慶來盛

復縣第三小學校職員一同

復縣第十二小學校職員一同

復縣第九小學校職員一同

撫順炭礦　炸子窰炭坑一同

量復製鹽　緝私局　王家驛長　川口晃藏

公學校長　伊藤德市　田家驛長　鶴蘭勇吉

瓦房店驛長　川名繁吉　復縣地方法院長　袁希懋

電燈會長支配人　齋藤喜一　復縣檢察廳長　曹鵬飛

瓦房店小學校長　雪本一智　監獄長　伍光曦

松樹公學校長　山路猶龍　復縣苗圃主任　宋香遠

瓦房店郵便局長　女池賢純　許家商務會長　王品三

瓦房店保線工長　三宅善平　許家屯副會長　陳溪泉

地方委員議長　丸目保　許家屯　吉順東

東區長　森田彥三郎　許家屯　東興盛

電報電話局長　末武時太郎　萬家嶺　忠發德

消費組合主事　赤木源五郎　萬家嶺　利發長

滿鐵、陸軍指定　みどり旅館　松樹商務會長　劉星輔

蘆家驛長　陶山太平　松樹　東盛隆

九寨驛長　山賀仙造　松樹副會長　趙鑄三

許家屯驛長　小林光威　得利寺　籌雲章

萬家嶺驛長　若林彥一郎　得利寺　衛子陽

松樹驛長　鹿野鶴造　得利寺　蔡聖禹

得利寺驛長　竹澤富久治　滿日支局長　井上秀雄

洮南

洮南縣
縣長　齊鄉
參事官　永井正
副參事官　岩尾精一
警務指導官　井村衷
同　浦山德太郎
同　岩元一雄
總務科長　孫炳輝
警務局長　許越衡
內務局長　王廼武
教育局長　于香九

洮昂
洮齊索克　鐵路局

滿鐵洮南事務所

洮南日本居留民會

洮南電燈廠

洮南輕便鐵路公司

國際運輸株式會社　洮南營業所

洮南康樂街　川本與賀郎　南滿旅館

洮南康樂街　御料理　青楊

洮南康樂街　御料理　藤乃家

洮南康樂街　御料理　松芳樓　支店　白城子城內

カフエー　ミス洮南　洮南康樂街

和洋御料理　御壽司　折詰辨當仕出　鈴蘭　洮南康樂街　電話交通七一

洮南康樂街　食道樂　高砂

カフエー　アルシヤン　洮南老馬市

カフエー　ふく助　洮南康樂街

洮南同樂街　御旅館　萬國ホテル　電話交通一六七

洮南榮市街　南滿醫院　朝山英夫

洮南康樂街　陸軍御用達　永昌號

カフエー　ホンカン　（洮南康樂街　電話交通九三）　安留千代子　洋子　政子

陸軍御用達　滿鐵消費組合　特產物貿易商　高木洋行

洮南朝鮮人民會

洮南富文街　滿蒙貿易館　昭盛號

撫順印刷會社　洮南出張所　洮南康樂街　電話交通一六一

洮南商務會長　張遇春

洮南稅捐局長　喻榮華

大矢組洮南出張所

滿洲日報洮南支局

洮安

洮安縣
縣長　張殿銘
參事官　高橋光雄
副參事官　稻田勝芳
警務指導官　松本寬二
同　藤原今衛門
同　古賀定治
總務科長　王盛貫
警務局長　李樹田
內務局長　佟履謙

洮安縣商務會長　王香九

(昭和八年十二月二十日 第三種郵便物認可)

滿洲日報
二月二十八日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社 滿洲日報社

米の輿論に刺戟され 英も對日滿外交轉換

滿洲國承認論俄に擡頭

【東京特電二十八日發】ロンドン二十六日發電東京所着電によれば、米國の滿洲國承認論に刺戟されて英國政界は對日滿外交に一大轉換をみんとする氣勢が漲つて來た、それは日米關係の融和と米國の滿洲國承認運動、帝制確立と滿洲獨立の強化、滿洲における英國の經濟的地位の確保に對する在支在滿英人の要望等に刺戟されたもので、英國としては米國に滿洲國承認の先手を打たれては東洋における外交、經濟の優先的地位を米國に與へることゝなるので頗る狼狽の氣味で、滿洲國承認論が官民を通じて俄に擡頭しつゝある、これらの空氣に鑑み政府は內閣改造を斷行しサイモン外相を更迭せしめて外交行詰り打開を行ふことゝなる模樣である

獨逸の滿洲國承認 急速に實現か

墺國も準備を整ふ

【(國通)廿八日發國通】三月一日愈々帝制を施行するに至つた滿洲國にドイツが率先して承認するためハルビン總領事バルゼル氏が東京に急行、ドイツ大使と打合せ、ドイツ大使より外務省に諒解を求めた結果、獨、滿兩國交涉は順調に進展しドイツの滿洲國承認は急速に進展するものと觀られ、ついでオーストリヤも滿洲國承認の準備を整へてゐると

聯盟小國側の不安

不承認主義決議を希望

【東京特電二十八日發】シュネーヴ發東京所着電によれば、米國政府が滿洲國不承認のスチムソン主義を放棄する意嚮ありとの報道に聯盟參加國の連中はかなりあはてた模樣で、廿六日より開かれた諮問委員會では全然沈默を守りそのため却て小國代表者たちを不安がらせてゐる、小國側ではフランスをしてロシアを說かせて五月十四日に開かれる委員會に參加せしめこゝで再び不承認主義の決議をなしたい肚らしい

波蘭が率先して 滿洲國を承認か

駐日公使滿洲國視察

【東京特電二十八日發】駐日ポーランド公使モスシツキー氏は滿洲國視察のため二週間の豫定で二十八日午後一時東京を出發した、同國は列國に先んじて滿洲國を承認するとの說が高い

南米移民出發

【神戶二十八日發國通】南米ブラジルの樂土に輝く希望を抱いて移住する百四十一家族、九百餘名は廿七日午後四時離船ハワイ丸で神戶出帆壯途に上つた、社會大衆黨員で福岡縣々會議員八幡市會議員
(男四百九十五名、女四百九名)

政黨合同は 余の持論と一致

久原房之助氏聲明

【東京二十八日發國通】政黨聯盟論擡頭により一國一黨論を放棄したやうに傳へられるので久原房之助氏は談話の形式で左の聲明をなした
時局重大なる故、この際寧ろ政黨は小異を捨て大同につき一黨に合同するにしかず、之は疇じて政黨の解消ではない、自分の持論と精神に一致し理想に近いので反對しない(寫眞は久原氏)

市立中學設立 同盟會祝宴

大連市會並に小學校保護者聯合會を母體とする市立中學校設立期成同盟會では所期の目的を達したので二十七日午後六時小川市長、岩井少將以下約四十名、大月に參集し解散を兼ね自祝の祝宴を張つたが、岩井少將は市民の熱烈なる要望により驚異的短期間に目的を達成し入學志望者並に父兄に頗る生色あることを喜び關係方面の善處を謝する挨拶をなしたるに對し、小川市長は市民輿論の力は勅令砥まつて以來僅々一週間にして改正の運びに至らしめたる打明け話などを以て答へ一同和氣靄々裡に新中學の前途を祝福した
を兼ねてゐる堂本氏は廣く十ケ月の豫定で南北アメリカ、歐洲に在留邦人の慰問と移民の實情調査のため同船で出發した

適當の機會に善處

鳩山文相貴族院で言明

【東京二十八日發國通至急報】本日の貴族院本會議で鳩山文相は適當の機會に善處する旨を言明した

査問委員會

【東京二十八日發國通】世間の視聽を集めた衆議院の岡本一巳君の發言に關する事實調査委員會も去る二十三日來まる四日間の休みで一寸氣を拔いたが、これで却て新な氣分になり二十八日朝十時三十四分開會された、第五回目の委員會は更に人氣を呼び樺工事件に關する調書の査閱も濟んで開會の解決點に近づいただけに開會前の委員のひそ〳〵話にも一抹の殺氣が漲つてゐる、先づ調査委員會設置動議の提出者江藤源九郎君に對し濱田國松氏(政)江藤君の動議提案の趣旨說明は五項に分れてゐる、第一は秦銀保有株賣却に關し鳩山文相が日銀總裁を訪ひその條件を記せる文書を示し交涉したとあるが、その事實なりとする根據如何
江藤源九郎氏(政)御質問に答へる前に動議提出の趣旨を更に敷衍して申上げた方がよいと思ふ

大塚氏の緊急質問

【東京二十八日發國通】二十八日貴族院における大塚惟精氏の緊急質問は前述政府の責任を糺彈せんとするもので、齋藤首相の答辯如何によつては第二段の工作に移らんとして居るが、研究、公正兩派を始め各派の態度極めて強硬で、弊ひの赴く所鳩山文相の責任問題と政府の責任を糺彈も全國的政府信任の聲となる情勢である

學校電話料問題

市當局に支辨を歎願

小學校保護者聯合會では市內小學校および公學堂十六校の電話使用料を昭和九年度から市において支辨されるやう小川市長並に大內市會議長に今明日中歎願書を提出すべく各學校保護者會代表の署名捺印を求めつゝあるが、右電話料問題は年金額二千圓に滿たざるも昨年の豫算市會において論議の花を咲かせ
市會は已むを得ず昭和八年度支辨するも九年度以降は支辨せず、市當局は關東廳において出するか、若くは市より電話無料貸付くるを以て校長又は護者會において負擔するやう處されたしとの結論に到達した然るに關東廳に於ては市が架設たる電話の使用料を支出するいはれなしと主張し保護者會も亦負擔に堪へずとしてゐる、そこで市當局が市支出を提案するとも市會が果して協贊を與ふるや否や晴し難く一波瀾免れぬ形勢にある

蔣氏を大總統に

滿洲國の帝制に刺戟されて 藍衣社中心に運動

【上海特電二十八日發】滿洲國の帝制に刺戟されて蔣介石氏を大總統及び國民黨總理に推戴する運動が藍衣社を中心として進められつゝあり、既に曾擴平氏等湖北黨務委員がこれが建議をなした、しかし上海の機關紙は一齊にこれを否定してゐる

饗宴に御召の 在滿邦人代表

【新京特電二十八日發】二日の饗宴には在滿邦人代表(關東州外……

北平における 滿洲國帝制批判

北平特派員 風間 阜

溥儀執政の登極については邦人側で滿洲國の建設過程が異常なる躍進を示し王道國家成就への第一階段を經過しつゝある時期であるから親滿氣分は各方面に漲つてゐるがこの傾向は各方面に見られ、特にそれが北支に顯著であつて知識階級は日本と滿洲國を諒解せんとし滿洲國へ仕官を希望する人士の急テンポの增加等々に見られるところであるが、帝制確立に對する各方面の輿論が何を暗示するか興味ある問題である。天津のペキン・エンド・テンシンタイムスは帝制の確立は滿洲國の基礎を益々鞏固にするを以て、支那は失地恢復の如きは絕對に望み無く、列國も終に滿洲國を承認の已むなきに至るであらう。
と評したが、この議論は幾分英國の親滿論をも代表してゐる、蓋し英國は夙に在滿の英國領事館の一部分が北平大使館の管轄であつたが今回之を東京公使館に移すことになつた、何事も實地に立脚する英國のことであるから、近き將來滿洲國に對する第一のメッセージがあるであらうことを豫察される。

◇

現在の支那の言論界では滿洲國が獨立建國して以來、僅かの歳月であるから敢て眞意を吐露し得ない情勢にあるが、二十一日の北平新晨報は登極問題より延いて內外の反響を論じ
米國の政策は全く不承認主義の範圍を出でないし、小國からは若干同情の呼聲を博し得るに過ぎない、政府はこのことに關して宣言を發表する以外方法無く、別に方法を求めんとするならば武力以外他に方法が無い、中國今日この資格ありや否やは贅言を要せぬ、吾人の言はんと欲するところは卽ち國際的反響も亦彼の如く國內の反響亦斯の如し、この嚴重關頭に當つて、吾人は防止に法無く、消止に力無いから、不妥協の態度を堅持するより外はない、吾人は固より善隣親善に反對もしない、而して隣にして我を以て魚肉となすに至れば、降服より親善に遷るべきであらうか?
と述べたが、これには深い暗示があることを發見するであらう、恐らく支那輿論のリズムの變化の一端を窺知し得る。在支英字紙中帝制問題については上海ノース・チャイナ・デリーニュースが最も多くの報道と評論をなした、その北平通信には、パパス通信に傳へられた舊の宣統皇帝教師レヂナルド・ジョンストン氏のステートメントを引用し
一九二二年以來帝制を期待する北支の愛國運動は抑壓された――記者註民國十一年北伐軍の長江進出後北方に對する壓迫を言ふか
とのジョンストン氏の「愛國心が抑壓された」との言葉は北支における滿洲人と蒙古人について意味するならば、この言は正しい、之は最近の蒙古における自治運動が明らかに之を示してゐる、蒙古の領袖は屢次蒙古人は帝制の下において非常に安定せる生活をなしたと公言して憚らない、この理由によつて中央政府が若し自治の要求を容れなかつたならば、滿洲國へ歸服を決したであらう、蒙古人と滿洲人は北支を占めるのみであるべきであらう。

◇

この問題に關し……

歡び賑ふ新京城內

訥黑間バス

【チチハル二十七日發國通】鐵路總局の直營長途汽車公所では三月一日より訥河黑河間の乘合自動車の定期運行を開始することゝなり一日訥河において盛大なる開通式を擧行することゝなつた

奉天商工會議所會頭庵谷忱、在鄕軍人聯合分會長四戶友太郞、新京朝鮮人居留民會長金東峻及び加藤ハルビン商工會議所會頭の四氏が御召の光榮に浴することに決定した

ばいかる丸船客

【門司特電二十八日發】二日大連入港豫定ばいかる丸の主なる船客諸氏
鐵路總局囑託八田厚志、製藥業木村英次郎、淸水組社員黑岩正夫、正金銀行員中山笑四郎、實業家佐藤牛藏、會社員泉明次郎、正金銀行員河南武藏、會社員嘉村淸一、竹山準一、著述業山本周作、教員角田寬、會社員鈴木亮三、滿鐵社員杉田光次、日本國防新聞社長高木義枝、笠原秀彥、新天勝一行六十六名(大連劇場出演)

人事

▲大谷光瑞氏(元西本願寺法主)二十八日出帆奉天丸にて上海へ
▲林博太郎氏(滿鐵總裁)二十八日午前九時發はとにて新京へ
▲枝原百合一氏(旅順要港部司令官)同上
▲築島信司氏(國際運輸專務)廿八日午前七時四十分着列車にて歸連
▲淸水本之助氏(關東廳土木課長)同上
▲山田穆氏(東拓理事)來連挨拶のため中澤支店長同道二十八日午前來社、一兩日在連の筈

生活の虹 (58)

菊池寬作 志村立美畫

死床の願ひ (一)

綾子を愛情の的としては、ふつつり思ひ切らうと決心して以來、子爵の心は、淸く澄み渡つて行つた。
綾子の姿を美しい花のやうに、可愛い小鳥のやうに、日常生活の慰安として、毎日エレヴエーターの昇降に、見守りながら、またその人の幸福を祈り、萬一その人に不幸が襲つて來るときは、何を措いても一番に馳けようと云ふ氣持で滿足してゐた。
自分の愛人として、自分の妻として、身ぢかく置きたいと云ふ希望を失つた悲しみは、なほ心のどこかに低迷してゐたけれども、しかしそれを未練として、出來るだけ克服する事に努めた。
その中に、秋が過ぎて新しい年が來た。
芙美子は、子爵の綾子に對する氣持が急變したことを知る由もなかつたら、いつまでも、綾子と云ふ強敵が、綾々子爵の身邊に存在するものと思つてゐたから、だん〳〵氣持があせつて來るらしく、直接子爵の心を獲得するよりも、正式に人を介して縁談を申し込んだ方が、早手廻しではないかと考へるやうになつてゐた。
それに、お友達で典子と唯一の味方として頼んでゐたが、典子があまりに、やり過ぎるので却て、事をぶち毀してゐるやうな容子を察しると、典子だけを賴んでゐることが、心ぼそくなつてゐた。
丁度、お正月になつて、松飾りが取れた頃だつた。
芙美子は、父の居間で、珍しく二人ぎりで、話す機會があつた。
「芙美子、お前も今年は二十三だらう。今年中には、結婚してくれないと困るよ」
父の山崎將作氏は、娘自慢であつたれ娘であつた。
「えゝ」
芙美子は、父の氣に入りで、甘つたれ娘であつた。
「町子も、二十だし……お前が早く片づかないと、妹まで縁談が遲くなるよ」
町子は、芙美子の妹で、芙美子よりは、器量がズーッと落ちる。
「えゝ」
「やつぱり、華族でなければいけないのか」
「さうだわ」
「お前が、いつかお母さんに話したと云ふ、お友達のお兄さんと云ふのは、どうなつたのだ」
「工藤子爵でせう」
「さう〳〵。工藤邦彥さんの息子さんか。工藤邦彥さんと云へば、一度司法大臣になつたことがあるな。貴族院の研究會のチャキ〳〵だつた。あの人の息子さんなら、申分は結構だが、話は、何うなつてゐる」
「まだ、どうもなつてゐないの」
芙美子は、やゝ頰をあからめて、さすがに恥しらしく、テレかくしに金銀の刺繍のついたクッションを、いぢつてゐた。

建國三周年の佳き日 蘭花薫る高御座
午前八時郊祭・正午登極式
三月一日大典行事

【新京特電二十八日發】滿洲國政府においてはさきに三千萬民衆の燃ゆるが如き要望によつて帝制を布くべく決定し溥儀執政を滿洲帝國第一世の皇帝に推戴すべく執政の嘉納を經て帝制實施に伴ふ諸制度の改正、皇帝登極の儀その他に關する準備を進めてゐたが豫定の如く三月一日の建國三周年記念日を期して諸制度改正に關する根本法規を公布すると共に溥儀執政卽位の大典を執り行ふこととなつた、當日の式典は午前八時新京順天廣場において降天を拜するの御儀として行はれる郊祭に引續き正午執政府内において莊嚴なる登極の儀が行はれる筈であるが、この日執政には午前五時半御起床、滿洲古代の祭服を召されて午前八時執政府を御出門、文武百官を從へられて同十五分郊祭場に成られ式場の天壇上において崇高なる迎神の儀の後奉册官より玉璽を受けられ四十分式を終り五十分祭場を退出される筈である、しかして正午より執政府内の勤民樓上において登極の儀を行はれ文武大官外賓の侍立するうちに高御座に上られ郊祭の儀において降神を迎へて受けられた玉璽を三千萬國民に賜ふ詔書に鈐せられ次いでこれを宣讀される筈である

大典を謳歌し 元宵節の祝に涌く
新京城内に春光燦々

【新京特電二十八日發】全滿三千萬民衆が赤心より祝ひ奉る滿洲國帝制實施の卽位大典を後一日に控へた二十八日は元宵節の祝を兼ねて首都新京城内滿洲國旗の熱狂は沸き立つばかりだ、城内メーンストリートの大馬路を中心として各路には普天同慶萬壽無疆慶祝帝制實施等の大文字を飾りたてた牌樓を立て黄地四條の滿洲國旗を張り廻らし早春の微風に飄颻としてひらめき大典の喜びを謳歌してゐる新京に於ける滿洲國側全學生もこの大典の喜びを奉祝する爲に旣に一ケ月前から奉祝歌、奉祝行進の練習を行つてゐるが二十八日は大馬路に於て城内新京全體學生は祝の文字を連れた大牌樓を立て、靑年學生の赤誠を表し、靑年大滿洲帝國皇座長の洋々たる前途を祝福した、城内を歩く滿人も大典の喜びの日を待ち切れぬ顔に喜色に溢れてゐる、天候も二十八日になつて數日來の冬曇りをからりと打ち拂ひ濕度も昇り一天靑色に澄み切つた蒼空には朝風を追ひ立て、來た春光がさんさんとして降り注ぎ帝制を寿す天意が地上の民草に向つて呼びかけてゐる、關東軍飛行隊の飛行機は戰鬪編隊して新京の上空を高翔し爆音の伴奏を以て天來の喜びに應へてゐる

晴の輿運路に 五色の幔幕
明日を待つ街の裝ひ

【新京特電二十八日發】曠古の大典を明日に控へ殊に勤民樓に於ける登極の大儀を執り行はせらる執政府は準備萬端滯りなく當日幽瀞通行の輿運路は道の兩側に五色の美しき幔幕を引き多數の係員が塵一つないまでに掃き淨めその間を來往、乘馬警備員の馬蹄の音が春空に高く鳴り渡り衛兵の物要も一層緊張してゐる、道路の左は首都警察廳右側の廣場には新聞記者團自動車の置場が設備されてゐる東に興運橋を渡り興運門に至れば五色の小旗が張り廻され門中央の御紋章が陽光に燦然として輝き既に門前廣場には登極盛典用自動車警備區域が黄色のチョークで判然として區劃されてゐる旣に興運門内への一般人士出入は禁止されてゐるが拜するに勤民樓は嚴として明日の盛儀を偲ばせるものがある

雪の大連市大典祝賀式場

オリムピック 東京開催運動

【東京二十八日發國通】第十二回國際オリムピックを東京に開催するため二十七日共同協議會を開催東京市より牛塚市長、落合、澤本、鷲尾三助役外務省から杉村陽太郎氏其他嘉納治五郎、平沼亮三氏等出席意見交換の結果

一、五月十六日ハーデンに開催されるオリムピック委員會に嘉納杉村兩氏の何れかが出席さす事
一、日本が如何に熱意あるかを示すため競技場設定、旅費等の計畫を各國へ報告する事
一、大公使をして極力運動さす事

等を決定した

雪に淨められ 明日は晴れ
新京は快晴大典日和

立春の聲を聞いてからめつきりと暖かくなり町歩く人達も明朗に春、春、を思はせる今日この頃季節はづれの大雪が二十七日の五時頃から大連附近一帶を襲つて人を驚かした大雪は何時になつても止みさうもなく、一晩中ふりつゞき明けて二十八日の朝は一面の銀世界と共に時ならぬ冬に逆もどりである、明日の御大典を懸念して早速若草山に伺ひを立てると快報!昨日朝天津西方に低氣壓が發生し漸次東方に移動し昨夕から大連、新義州一帶にかけて雪となつたが奉天、新京は快晴、明日も心配なく全滿に亘つて快晴の見込です と聲も朗か、空前絶後の大典日は一點の雲もない滿洲晴れで天意は王道の天地を壽いでゐる

蘇聯機なら抗議
朝鮮の怪飛行機事件

【東京二十八日發國通】怪飛行機事件に關し外務省は朝鮮總督府に調べさせたが二十七日來電によれば

一、二十三日午前三時半頃咸北慶源、新阿山、慶興、羅津に飛行機來り午前五時半頃琿春縣に入りソ聯方面に機影を沒した
一、二十五日午後三時飛行機一臺慶興對岸滿洲國領頭道溝上空に現れ七道溝、八道溝を經九道溝よりソ聯方面へ機影沒した

と報道ありと云ひ外務省では再調査の上ソウエート機ならば抗議を提す方針である

北鮮廻りの 滿鮮巡遊コース
旅行シーズンの寵兒
鮮鐵は金剛山を入れて宣傳

三月の聲を聞くと、春はがらかに旅行のシーズンで、内地から滿洲視察の團體客が押しかけて來る、今年は前例のない大記錄を示すらしく滿鐵營業課へは旣に十團體以上の申込みがあり、早いのは三月匆々にはやつて來ることになつてゐる

かく今年特に多くなる豫想が行はれてゐるのは第一に匪賊がほとんどなくなつて旅行の安全が保たれる樣になつた事、第二に滿鐵が今年は積極的に内地で勸誘をやること、第三に帝制實施が内地人に旅行の興味を與へた事などが理由だが さらに今年の新しい呼物は北鮮廻りが巡遊コースに加つて來たことでこれがために一度滿鮮旅行をした經驗のある人も北鮮および京圖線視察のために再遊せんとする人も相當出て居る、こゝに問題となつて居るのは巡遊コースに釜山安東間の朝鮮本線を取り入れるか否かで、今後は大連より北滿を北鮮に出るか若しくはその逆のコースをとる團體が相當殖えるべくこれは朝鮮鐵道としては大打擊なのでそれに對抗する興味ある新コースを考案してゐる その一は釜山より京城へ出るもので、金剛山を見て北鮮に出て、新京に出るもので、朝鮮鐵道局はこのコースを大々的に宣傳する事になつて居るが、東北關東方面の團體は距離の關係上新潟又は敦賀より直接北鮮に出るものが相當あるべしと見られてゐる

理事會を前に 最後の活躍
滿洲國側に空氣好轉

【東京二十八日發國通】滿洲國の極東大會參加に對する日本體育協會の最後的態度を決定すべき體協理事會は愈々二十八日午後五時三十分中央亭に開かれるが、滿洲國體協の久保田、茂木革新聯盟の岡部の諸氏を中心とする滿洲側は二十八日開催の理事會の空氣好轉のため連日大車輪の活動をつゞけ二十七日も外務省の坪上、柳井、田尻各課長に重ねて滿洲側の決意を披瀝してその援助を懇請した所各課長も充分諒解し山川體育課長と聯絡して政府としての對大會態度を決する模樣であり又帝都運動界の牛耳る辰野保拓務省の高山秘書官馬術協會大島中將等の諸氏も滿洲側の固き決意に贊成し一般の空氣は日增しに滿洲側に好轉しつゝあるが、議會に於ける文相の言明體協松澤氏一派のにえきらぬ態度等よりみて二十八日の理事會が果して如何なる態度を決するか疑問視されなほ滿洲側としては引續き二十八日も奔走する

重大視さる その成行
今夕の理事會

【東京特電二十八日發】滿洲國參加問題に對する日本體協理事會は二十八日夕刻から開かれるが滿洲體協の久保田、茂木兩氏は二十七日夜平沼體協副會長を訪問して理事會に於ける盡力を懇請した 體協の幹部は連日に亘る滿洲國側の運動及び學生聯盟その他の熱烈な要望に對しその主旨には贊成しながら全然滿洲國の要望に從つて直に極東大會改革に邁進する勇氣あるかどうかはなはだ疑問とされ一方文部省側の態度も明確でないのでこの日の理事會は明解な決定を見ること困難の模樣であるが何れにしてもその成行重大視される

滿洲開拓 女性先驅者來る
臺山屯に女子農民塾
抱負を語る馬島漾子さん

滿洲開拓の女性先驅者として臺山屯農場を經營し女子農民塾を開くため來滿を傳へられてゐた國家社會黨の領袖馬島僩氏の長女漾子(一九)さんは船中名を秘め二十八日入港のしあさる丸で父の親友若林不比等氏と共に來連したが非常時女性に適はしいがつちりした體格を綿の制服に包み滿石に處女らしいはにかみを見せながら「こつそり來るつもりだつたのに、もう判りましたか」と冒頭し後見役の若林氏と交々語る

滿洲の農業開拓に女性の進出は四年前から計畫されてゐましたが事變のため一時頓挫してゐました、滿洲國が建設されて以來農業方面の異常な發展につれ女性の進出が益々必要となつて來ましたので幸ひ臺山屯にある四町歩の土地に農場を經營し女子農民塾を開いて農業は勿論更に從來の農民教育と異り射撃、馬術、治病及子弟教育の根本問題等々を研究せしめ「母たる女性」としての資格、信念をもつ女性を作りあげたいと思つてゐます當分は家を造り農場を整へる工作に追はれると思ひますがやがて女大出の優秀な女性が應援に來て與れますし、三格姫の先生持原武子さんが支那語の先生として來て下さることになつてゐます、これから二年も經てば本格的にやつて行けるだらうと思つてゐます

漾子さんは直に臺山屯農場に赴く筈で溥儀執政に獻上するため世界紅卍會の老僧が揮毫した「皇上萬歲」及「滿洲野」の二軸を携行してゐた【寫眞は漾子さん】

背任でないと 法廷で論爭
稅關吏の密輸公判

現職稅關吏が密輸業者と共謀、四萬四千圓に上る大脫稅を行つた砂糖密輸の背任事件が二十七日より川畑裁判長係高井檢察官立會の下に審理が行はれてゐるが、密輸取締り規則を繞つて檢察官と辯護士との間に意見の相違を來し、現職稅關吏の背任瀆職、四萬四千圓の脫稅が有罪と無罪の岐路に立ち、俄然法曹界の注目をひくに至つた

事件は市内紀伊町四九雜貨商王春霖(四二)は砂糖の天津向け密輸を計畫し市内山縣通一一五運送業明治商會こと向江寛次(三八)に相談した所、向江は知り合ひの稅關吏、北大山通民船監視所勤務今村洪兒(三六)と共謀今村を砂糖一俵につき一圓にて買收、昭和七年七月七日より同八月十二日迄に七千四百七十三俵の砂糖を州内行きと稱し、城子曈或ひは貔子窩行きの如く裝つて天津に密輸、四萬三千百二十四圓の脫稅を行つたが、その後大連水上署の探知する所となり王、向江、今村は告發、高井檢察官の取調べの結果起訴、公判に附されたものである

其後三被告は齋藤、渡久山、桐川師岡四辯護士を代理人として辯護を依賴したのであるが四辯護士が被告より事情を聽取、愼重研究を重ねた結果

大連海關は昭和七年六月二十六日滿洲國に接收されたが、滿洲國の强制接收であつて當時はまだ民國稅關もまだ大連に駐在してをり、又日本は當時未だ滿洲國を承認してゐなかつた等の關係上滿洲國は大連より天津方面への輸出品に對して課稅する法的根據がなかつた、而して今村等の行爲は法律的に滿洲國に課稅權がなかつた七年七月七日より八月十二日までに亘つて行はれたもので、課稅しなかつたのは當然のことである

と純理論を振り翳して無罪を主張したが、檢察官は事實上滿洲國は海關を接收してをり、今村は滿洲國の海關吏であつたのであるから背任の事實は明かであると有罪を主張し、純理論と事實論の衝突のまゝ二十七日は閉廷したが、次回公判(期日未定)における辯護は法曹界注視の的となつてゐる

死因が疑はしく 遺骨すら屆かぬ
不倫の娘の父から調査願

邪戀の道行きで家名を汚した娘ではあるがその死因が疑はしく送つたといふ遺骨すら屆かぬから調べて下さいと二十七日實父から大連署へ奇怪な調査を依賴して來た事件がある

長崎縣北高來郡湯江村淵上正次妻イネ(四二)は昭和七年八月同村の福田清(四一)と不義の呼きを交す仲となり、夫と子供二人を殘し二人手を携へて來連、市内武藏町五〇細尾元三郎方に間借りし不倫の戀に醉ひしれてゐた、ところが昨年九月五日イネの實父中島定左衞門宛に福田清から「イネ急死す、遺骨は大蓮寺に預け、九年一月中に持參する」旨の通知があつたので中島一家は悲歎に暮れ遺骨が着いてから葬儀を營むべく待つたが其後福田から音信なく今日に至るも遺骨を持參せず、死因及び死體處置に就いて疑はしい點が多いといふので大連署へ取調方を願つて來たものである

同署司法係吉岡強力班刑事は早速各關係筋に就いて取調べたところ市内武藏町五〇細尾方には福田清一及び妻清子と自稱する夫婦者が間借りしてゐたことがあり清子は昨年九月十三日淋巴肉芽腫といふ病名で聖愛醫院に入院同年十月五日死亡し、六日火葬に附しその後福田清一は本溪湖に住居してゐる事實が判明した問題の福田清一及び淵上イネが僞名し細尾方に同居してゐたものと推定されてゐるが果して當の二人かどうか確定せず大連署では二十八日附事件を本溪湖署に移牒し福田清一に就いて嚴重取調べることゝなつた

陰謀の本據を襲ひ 重要人物檢擧
奉天で憲兵隊大活動

【奉天特電二十八日發】元宵節で滿洲國側各官公署始め各城内外の各戶は何れも國旗を揭揚し休業平和氣分は横溢してゐるが三月一日の滿洲國大典のため日滿兩國官憲は水も漏さぬ嚴重な警戒の第三陣を固めつゝあり憲兵隊では廿六日以來竊に活動を開始し〇〇〇の陰謀の策源地を襲ひこの首魁と目される重要人物を檢擧し目下嚴重檢査の步を進めつゝある、之により不逞の徒の跋扈を事前に防ぐことを得た樣子で事件の内容については嚴秘に附され大典の終るを俟つて發表される模樣であるが反滿抗日分子の策謀である

なほ奉天警察廳では總領事館警察と協力し〇〇ビラ撒布者の檢擧につとめ、谷口高等係主任は領事館警察に出張何事か重要協議を進めてゐるがビラは城内と商埠地一帶に今朝撒布されたが藍衣社系統の者らしく憲警方面では俄然緊張し極力搜査に當りつゝあり第四陣の警備は一層嚴重となつた

不逞鮮人を 哈市で一網打盡
大典を期し擾亂計畫

【ハルビン二十七日發國通】曠古の大典を期して滿洲國擾亂の大陰謀を企圖した朝鮮獨立黨員の元兇四名が二十六日、日本領事館警察高等係員のため一網打盡に逮捕された

即ち日本領事館警察では朝鮮及面の鮮人獨立黨員多數が期し國際都市ハルビンでテロを決行市中を攪亂し人心を動搖せしめんとする大陰謀計畫の下に去る一月中旬元兇二名が武器彈藥不穩文書等を携へ新京よりハルビンに潛入した、花島警部、靑木部長以下全課員は元兇の隱家に踏込み最高幹部德田元(二二)幹部全德泉(二四)同じく維禎昌(二三)同じく英元吉(二三)及十九歲の鮮人美女五名を一網打盡に檢擧し拳銃二挺、双眼鏡其他多數の不穩文書を押收嚴重取調べ中である

伊勢參拜團募集
三月十日うらる丸

第十七回伊勢參拜團は來る三月十日大連發下關より出雲大社、城崎溫泉入湯、大阪、奈良、伊勢大神宮參拜なし二見、名古屋、曹洞宗總本山永平寺、加賀山中溫泉入湯金澤、新潟、會津、東山溫泉入湯仙臺、松島、鹽釜神社、日光、東京、京都、廿五日間の大旅行に夜行列車一回もなし

老人婦人お子達は歡迎し居り學校試驗休の學生は母國見學上親人と同伴には最も好機會で有ります

鐵道省全線バスお持の方にも特別の便法あり、弊會では充分なる手配を致し至れり盡せりで、すべて安心して參加出來ます 團費金百十八圓で一切を含み絕對團費外は要りません御希望の方は大連市吉野町崇敬會に御通知あらば直樣手續致します

下級生に謝罪して 圓滿解決

【撫順特電二十八日發】撫順中學校内に惹起した下級生毆打事件の善後處置につき學校當局は二十七日職員會議を開き協議の結果その動機は全く校風の肅正をはからうとの公憤に出でたものであるから犧牲者を出さないことに決し同日體操場において四年生一同に下級生に對し陳謝せしめた

白耳義から 大使の聲
國際電話テスト

【東京二十八日發國通】國際無線電話は愈々四月から對滿洲國、對臺灣等の通話が開始される豫定であるが歐洲及び米國との通話テストも目下頻りに行はれてをりこの夏から秋にかけて開通の運びになる模樣である、二十七日も午後五時三十五分神田駿河臺の牧野遞信政務次官の私宅と在ベルギー日本大使館と卓上電話で通話のテストが行はれたが永井大使の聲は明瞭に聞き取られ殆ど市内電話と變らず七通話も(一通話三分)完全に電話が出來た、因に一通話の料金六十圓である

"酒井雲"來る

滿洲の浪曲ファンより待望されてゐた浪曲界の重鎭、酒井雲一行十四名は二十八日入港のしあさる丸で來滿したが大連を振出しに約十八日間沿線各地を興行し朝鮮經由離滿するが全旅程四十日の豫定である

加藤外科病院

加藤精一郎博士は今同大連有志の懇請に依り大阪住田病院を辭し三月一日より市内三河町四番地に加藤外科病院を開院した博士は九大出身同大學助手となり外科教室勤務中博士號を受け大阪住田病院に轉じ九大が誇りとする整形外科脊柱疾患膝關節外科外傷骨折脫臼外科の泰斗である

天氣予報

一日 北西の風晴一時曇り

各地溫度(廿八日)

地	午前五時	午前十一時
大連	零下三	零下四
旅順	同 三	同 三
營口	同 五	同 二
奉天	同 一〇	同 二
新京	同 一二	同 五
新義州	同 三	同 一

新講談 丹下左膳 (31)

林不忘作　小田富彌畫

文珠の智慧（二）

大したもんですね、泰軒先生の人氣たるや。

さう、遠くのはうから、チョビ安作詞無し千鳥の唄を歌つてくる先生の聲が、聞えると、露地にガヤ〜してゐた長屋の一同、兵隊さんが騒いでるところへ師團長が來かゝつたやうに、ピタリ鳴りをしづめて、

「お！お歸りだ、お歸りだ！」

「先生のお歸りだぞ」

「御歸館だ——」

なんかと、中には、ブルジョア用語を心得てるのもある。

この聲々が、口から口、耳から耳とリレー式に、たちまちのうちに露地口からトンネル長屋の奥まで、ズーッと傳はつて行くところは、壯觀です。

角に待つ連中は、聲をひそめて

「あれて、泰軒先生は、腕つ節の強えばかりが能ぢやアねえんだ。學問ならお前孔子でも仔馬でもちヤンとあの腹ん中に藏つてるんだから、へッ、豪勢なもんヨなあ」

「何時かも、人間は何とかてエ七輪が大事だと、先生がおつしやつたぞ」

「馬鹿野郎！七輪ぢやアねえ。五徳だ。仁義禮智信、これを五徳といつてナ」

「何を言やアがる。五徳ばかりあつたつて、七輪がなくつちやア仕樣がねえや」

「なにをッ！」

と双方、肌ぬぎになりかけて、喧嘩になりさうだ。やつぱり何うも、トンガリ長屋です。

それでも……。

泰軒先生が近づくと、襟を搔き合はせたり、袖口を引つ張つたり、或る者は手に唾をして、小鬢を撫でつけたり、手拭で裾をはたいたり……イヤ、忙しく身づくろひして並んでるところへ、

「ウム、次ぎは——

ちよいと訊くから教へてお呉れ
あたいの父は何處へ行た
あたいのおふくろ……

と、これでえゝのかな？」

泰軒先生濁み聲を張り上げて、お美夜ちやんに、チョビ安の唄を習ひながら、ブラリ、ブラリ、大道狭しとやつて來る。

「ばいほいゝ、そこんとこの新道しが、違ふわ。あ、た、いのウて上つて、父はアつて下るのよ。小父ちやんのは、それぢや逆だわ」

「いや、仲々難しいもンぢやなう

あたいのお母どこにゐる
焦つたいぞエお地藏さま
石が口利きや木の葉が沈む——」

「あらツ、駄目！違ふわよ、ちがふわよ。それぢやアまるで、出たら目の文句だわ。嫌な泰軒小父ちやん！ほゝほゝゝ」

「イヤ、こりやア失敗つた。また縮尻つたかの」

秩父の郷士の出で、豐臣の流れを汲んでゐるところから、徳川の世を白眼に睨んでゐる巷の俠豪、蒲生泰軒居士。

肩を撫でる合總、顎を埋める髯と胸毛を、風に靡らせて、相嬲らす、ガッシリした身體を包むのは若芽のやうにぼろの下がつた素袷に、繩の帯です。たいていの貧乏にはおどろかない、とんがり長屋の住人ですが、この泰軒の風體にだけは、上には上があるとホトホト感心してゐる。

冷めし草履を引きずる先生の横に、ちよこ〜走りのお美夜ちやん……稚兒輪の似合ふ可愛い顔で兩袖重ねて大事さうに、胸のところに抱いてゐるのは、泰軒小父ちやんの一升德利で。

この奇妙な取り合はせの二人伴れが、とんがり露路へかゝると、待つてゐた一同、ていれいにお低頭をして、後からゾロ〜恭やしくついて這入る。いやモウ大變な騷歩……。

「ブタペストの動物園」 フォックス映畫 日活館上映

パラマウントのプロジュサーであつたジエス・ラスキーの獨立第一回作品でフォックス映畫に珍しいカラーの作品でローランド・V・リーの脚色監督である

物語はブダペストの動物園に働く若い孤兒のザニ（ジーン・レイモンド）は親身になつて動物に世話をする一面毛皮のマフラーをする婦人を極度に憎惡してマフラーを奪つては燒き捨てる程の情熱漢だつた。或日孤兒院の團體が見物に來たが、その中のイヴ（ロレッタ・ヤング）は規定によつて近く製革工場に賣られることになつてゐるので他の孤兒達が同情してイヴを動物園内で逃がしてやつた。イヴが草叢にひそんでゐるところへ、毛皮を盗んで逃げ廻るザニとが出會ひ互に戀心を感じながら園内の洞窟の中に二人がのがれるその時乳母の手から離れて園内を彷徨つてゐた富豪の息子ボウルが間違へて虎の檻をあけたことから大騒ぎとなり百獸が荒れ狂ふうちにザニはボウルを救けたことからザニとイヴの仲が結ばれる。

このザニとイヴとの孤兒同士の淡い戀を描いたものであるが、映畫をより以上大衆的に面白く見せるために動物映畫らしいスリルを追うて富豪の息子を使つて猛獸を檻から放つまでの無理な筋の運びはとつてつけたやうでこの映畫で唯一の缺點となり、これがため全篇に純粹美が失はれてるのは惜い、その代りに大衆的には面白くなつてゐる。

しかしホントウの良さは前半猛獸が暴れ出すまでの動物園の林泉美を背景とした若い孤兒の戀の繪卷を素晴らしいリー・ガームスのカメラを驅つて描き出したところにある。月明の夜、草叢で二人が戀を囁く前後は池中に放育された水禽を配して軟調な感傷氣分を盛り上げてゐる。レイモンドの園丁も感じが出てゐていゝ演技を示してゐる。結局大衆的には猛獸が暴れる場面がヤマ場となり子供にも喜ばれる動物園映畫である。

″ブタペストの動物園″特別試寫會

日活館では次週上映のフォックス映畫「ブタペストの動物園」の一般公開に先だち三月一日午後四時から各方面の映畫關係者その他を招待して特別試寫會を開催する

喜多會例會

喜多會滿洲支部では三月四日午前十時から市内濱町「ほてい」において例會を開催、番組左の如し

▲素謠月宮殿、竹生島、田村、雲林院、高野物狂、山姥▲仕舞來賓獨吟仕舞▲囃子小鍛冶、八島、草紙洗小町、櫻川、春榮、高砂

うわさ話

春の映畫街に華々しい一戰が豫想される「さくら音頭」合戰がどう展開されるか興味を集めてゐるが▲早くも帝國館にプリント到着説が傳へられてゐる。最初[illegible]キネマの作品を上映するものと見られてゐたがヘンリー・キネマだとのこと▲そして愈々宣傳戰が華やかになるまで封切せずストックして待機の姿勢をとる▲次いで寶館の大都（キングレコード）も既に完成してゐるからこれまた近く入荷の豫定である▲全く見當のつかぬのは日活館でPCL（ビクター）日活（ポリドール）のどちらが先になるか惱みの種らしい▲寶塚キネマが解消し作品が堀川興行の手で配給される結果大連では寶館に今後上映されることになつた

哈爾濱消組擴大に輸入組合參加
共存共榮の見地から
◇…算へらるゝ利益の數々

滿洲國產業開發の中心が北進するに從ひ北滿の中心都市ハルビンは異常なテムポを以て發展既に滿鐵の建設事務所や鐵路總局關係諸機關が、設置されるに至り、この地に於ける滿鐵並に關係社員の數は逐月增加の趨勢にあるので滿鐵社員有志間に今後の情勢に對應するため現在の委託經營の消費組合より大規模な消費組合に擴充するの機運が動き、鐵路總局その他滿鐵關係社員有志間に完全な消費組合設立が計畫されつゝあつたが、二十八日大連輸入組合に入つた

情報 によればこの計畫に輸入組合も關與して共存共榮の理想的消費組合創立の議が纏まり、近く具體化することになつた、即ち消費組合結成は過去の例に徵するまでもなく必然的に市中商人對組合の抗爭を惹起し、利害對立の立場にあり、過去における消費組合對市中商人の苦き對立抗爭に鑑み市中商人との利害の調整につき輸入組合側と種々協議の結果、新消費組合は地場仕入を立前としたものとなし、これが組合商品の仕入に對しては輸入組合が仲間に介在して組合員商店より仕入を行ふこの場合一部卸商のみに利益を壟斷され小賣邦商の商權を狹少ならしむる虞あるがため、これを未然に防止するの見地より各業種別に同業組合或は納入組合を組織せしめて納入交渉團體とするといふにあり、これにより消費組合側では

一、委託仕入、仕切仕入の方法により多額の資金を必要とせず、また資金の固定を避け得る
二、また手持品値下りによる損害や賣殘品による損害皆無となる
三、保管、倉敷等の諸費用皆無となる
四、從つて內部的の人件費も單獨でやる場合の如く增嵩せず
五、常に中間に介入する輸入組合が最も公平なる立場より斡旋を爲す爲め納入價格を低廉ならしめ得る

等の諸利益あり、大連の組合本部より少量宛仕入れるよりも遙かに有利なる結果を招きまた市中商人側でも

一、地場仕入の原則により滿鐵沿線において見るが如き組合との對立を見ず
二、納入に對し機會均等なるが故その努力如何によつては從來社員に對する露人、滿人商店の得意先をも併せ有し得る事となる
三、從つて消費組合の擴充により賣上の增進を來すとも決して減退を招く虞はない

また一般組合員外消費者に於ても消費組合との均衡上、賣價にも影響を受け物價の低下

氣運 を促進し、間接ながらその利益を享受し得るといふ利益があり、滿鐵社員も市中商人も兩立し得るといふ理想的の消費組合で要はその經營方法の如何にあり、好成績を納め得れば組合未組織の各地にも相當刺戟を與へるものとしてその成行に對しては多大の興味がつながれてゐる

硫安思惑買中止方嚴重警告
商工省が配給組合に

【東京特電二十八日發】商工省は配給組合代表を招致して硫安の思惑買を中止せしむると共に萬全の處置を講ずるやう嚴重警告したが右に對し組合代表は

一、警約三ケ條による輸入數量は十萬噸であつたが、今後需給の實勢に對應して右の限度を隨時增加すること
一、目下外品安の手當は組合側は五月迄八萬噸の契約あるが、此外に組合外に二萬噸あり之れに一月輸入せる一萬七千噸を加算すれば十一萬七千噸の輸入となるを以て供給不足の懸念なし
一、更に萬全の處置を講じて善後策の遺憾なきを期す

と答申した

先行高見越しの大連麻袋市況

大連麻袋市況をみるに一月末五百萬枚の在荷を擁し一面現物の賣行不振から當地氣配は極度に悲觀され、現物三十五錢九厘と新値に崩落、產地市場に比し二錢擱みも下鞘を呈するなど需要期としては稀に見る現象を招來し、先行頗る憂慮されたが

爾後 輸入筋は極力輸入を手控へ、地場當業者も亦先物の買を見送り、手持ちの荷捌きに努め斯くして不安人氣を除くと共に相場の恢復を待つの方針に出たゝめ市場も著るしく明るくなり、氣配も漸次立直り二錢擱みの反撥をみるに至つた、現在當地の在荷は大約四百萬枚を算し三月中の入荷は五十萬枚見當を豫想されてゐる、一方奧地大豆の出廻り狀況をみるに北滿は殆ど殘されてゐるらしくこの數量については諸說區々として的確な數字は判明せぬが、假に百萬噸とし、この內五十萬噸が出廻るとしても五百萬枚の麻袋を必要とする、而もこの出廻りは時期の問題であつて現狀よりすれば歐洲方面が一向に買付かぬと大豆の暴落によつて期待したやうに出廻つてゐない、恐らく出廻りは今後もぼつ〳〵で端境期切まで延長されるのではあるまいかとみられ相場も月末接近につれて幾分引緩みつゝあつたが、最近蘇聯國營の買賣部から大口の引合があつたので現物三十八錢四厘と昂騰し一般筒目先高見越し濃厚となつた

一方 產地市場は過般來堅調商狀を辿つてゐるが之れは南洋筋の入注とアメリカのインフレ、更に滿洲筋も今後買進むであらうとの期待によるものである、產地自體としては弗々閑散期に近付くので目先頭打ちではないかと觀測する向もあるが、世界的に高物價政策をとつてゐる現狀よりして果して如何なる推移をとるか俄に判定し難く圓爲替の如きも入超期の事とて現在以上に強調を辿るとは思はれず假りに產地が軟調を辿るとしても多くの下値は望まれまいと一般に觀測されてゐる

對印輸出統制案
官民協議會に附議

【東京二十八日發國通】商工省では對印輸出統制規定の成案を得たので、近く官民協議會を招集して附議決定する、當業者側は統制規定の決定次第輸出組合の設立認可を正式に申請するが、目下の處十日頃設立を終り十五日より實施する模樣である

二月限
株式受渡

大連五品取引所における二月限株式定期受渡高は株數二千百枚、代金六萬七千三百五十五圓、一株平均値三十二圓七錢でこれを前月の受渡に比較すると株數三百五十枚代金三萬八千九十五圓を減少し一株平均値は十圓九十七錢の値下りとなつてゐるが各取引人別に受渡內容を示せば左の如し

▲五品株（渡方）山田三〇〇、伊藤一三〇、德泰五〇、石橋六〇、笠間四〇〇、瀨川五〇、早渡三二〇（受方）山田四一〇、伊藤八〇、白川二〇、石橋六〇、山本九〇、首藤一〇、中村五〇、美好一七〇、首藤一〇、岡村一五〇、三谷一〇〇、岡二〇、鶴邊五〇、計一、二一〇枚
▲新豆株（渡方）山田一〇〇、伊藤二〇、德泰一〇、山本一七〇、瀨川二五〇、岡村五〇、三谷五〇、早渡二〇（受方）山田二五〇、後藤一二〇、首藤二〇、美好一八〇、岡村五〇、岡崎五〇、計六七〇枚
▲錢鈔株（渡方）首藤五〇、岡崎六〇（受方）岡村一一〇
▲滿興株（渡方）石橋三〇（受方）石橋三〇
▲新東株（渡方）中村八〇（受方）德泰四〇、美好三〇、鶴邊一〇、計八〇
▲受渡標準值
五品　二七〇　新豆　二五五
錢鈔　二三五　滿興　二八五
新東　一七七〇

”既定方針を飽迄固持せよ”と
紡聯我代表部に訓電

【大阪二十八日發國通】ランカシヤ綿業者が對日對策委員會で世界市場の全般的協定をせよとの決議をしたとの報道に接し、紡聯では二十七日午後二時綿業俱樂部に特別委員會を開き協議の結果

一、第三國と英帝國自治領等の協定より除外せよとの既定方針は飽くまで固持す
二、英國側が民間會商を一時打切り政府會商に移す場合には日印會商の轍を踏まぬ樣

との方針を決定し我代表部に訓電を發した

第三次會商
延期に決定

【ロンドン二十七日發國通】日英民間協議會は市場問題を挾んで双方の主張が極端に尖銳化し、二十八日の第三次正式會商は決裂の外なき形勢にあつたところ、二十七日に至り兩國代表協議の結果延期に決定した、尙三、四日中に兩國代表協議の上次回の開會日を決定の筈で多分三月七日には開會の運びとなる模樣である

漁區の再競賣
依然強硬態度で進む

【東京二十八日發國通】ソ側は既報の如く二十八日ウラジオで漁區の再競賣を行ふ旨通達し來つたが日本側は

一、三十二錢五厘の換算率は從來の如く總ての漁業問題に關する支拂ひに適用すべき事
一、二十八日の追加競賣はこれを形式的のものとし事實においては二十日の日本人側入札をその儘承認する事

の二點に同意せざる限り追加競賣には參加しない方針であるから、ソ聯側が如何なる態度に出づるか重要視されてゐる

滿鐵鐵道收入
中旬は減收

二月中旬の滿鐵鐵道收入は
客車收入　三七二、〇九四圓
貨車收入　三、〇一六、八五二
雜收入　八二、〇三七
計　三、四七〇、九八三
にして前旬に比し客車收入九萬七千三十三圓、貨車收入六十四萬一千四百四十四圓、雜收入は六千六百九十五圓の各減收である

支那の一律課税大連には有利
差詰め油房には好影響
◇…齎らされる一現象

南京政府はいよ〳〵滿洲國よりの輸入貨物に對して正式に輸入稅を賦課徵收することになりこの旨上海、青島、天津海關において布告されたが、これがため從來差別的取扱ひによつて不利な立場にあつた大連輸出品は營口、安東と均等な立場に置かるゝので大連油房の如きは直に好結果を來すのではないかとみられてゐる、當業者方面に於ては未だ確報がないがいづれにしても大連積のみが、高率關稅を課徵せられてゐた不合理が一掃さるゝこととなるので營口、安東粕に壓倒せられてゐた支那向は今後大連粕にも相當の取引をみるのではないかと期待されてゐる、大連市場に於ける滿商並に華商側は比較的鈍感なるため左程の影響をみないが南支筋が先般來十萬枚見當の豆粕を買つた事實は單なる思惑のみとは見られず、或は關稅關係の變化による取引の擡頭を見越したものではないかといはれてゐる、その他大豆、豆油、高粱、雜穀等にあつても大連輸出がこれによつて多少は增加するのではないかとみられ取引關係からみれば高率關稅が各港齊しく同一に課せられるので餘り歡迎すべきことではないが支那が正規の輸入稅を課するに至つたことは實質的に滿洲國を承認したことになり且つ大連積が均等の立場に置かるゝことになるので大連の當業者にとつては頗る好結果を招來せしめられるわけである

大連商議
新等級制認可

大連商工會議所の新等級增加に對する定款變更は過般の臨時總會において正式決定を見るに至つたので、直に關東廳に認可申請中であつたが二十四日附を以て認可の旨會議所宛通報があつた

下旬貿易
入超百廿八萬圓

二月下旬の對外貿易左の如し　圓
輸入　五七、一〇六、〇〇〇
輸出　五五、八二五、〇〇〇
差引入超　一、二八一、〇〇〇

五品株式
鮮取へ上場

五品、朝取兩市場株の交換上場は三月一日より兩市場同時に開始する豫定の處、朝取側のみ三月一日前場より實施し、五品側は目下鮮米問題にて上京中の朝取社長が歸鮮後賣株問題を交渉した上開始する模樣である

產金買上値据置

【東京特電二十八日發】產金買上値段は產金買上國內保有案の實施迄（四月一日頃）据置く模樣である

山森駐在員東上

東京商工獎勵館の山森駐在員は既報の駐在員協會主催見本展示會其他諸事務打合せのため一日のほんこん丸で約三週間の豫定で歸京すると

黄慶

◇…日英の民間會商、雲行き頗る險惡、彼我の主張對峙して相讓らず結局決裂の外はあるまいとの觀測であつたがけふの入電は第三次の正式會商が三四日延引の旨を報じてる、これで緩和點が見つからなければ政府交渉に移ることゝなる、イギリスの紡業者は日本の當業者のやうに雨く素直ではないと見える。

◇…內容擴充の必要に迫られてるハルビンの滿鐵消費組合が今度輸入組合と提携、地元仕入れを原則として在滿同胞の共存共榮に努めやうとしてることは、近ごろ朗かな一ニュースとして一般商店に歡迎されてる。

支那錢莊の凋落と新金融制度確立期
（三）
廣畑生

新式銀行擡頭の諸原因

支那固有の金融機關たる錢莊が多年の努力によつて築き上げて來た經濟的勢力を、僅くも僅々三十餘年の歷史しか有たない新式銀行の前に膝を屈しなければならなくなつたに就ては既に前項において一わたり述べたが、前項の與迹諸原因の外に彼等自身の內部組織に於て散漫であり小規模であつたため大資本を擁する各國の金融勢力及び國內新金融勢力に抗することが出來なくなつたことは爭はれない事實である、今主なる諸點を擧ぐれば

一、從來錢莊が掌握してゐた政府の國庫事務は民國革命後新式銀行の手に歸し、或は政府收入の大宗たる關稅收入の保管が外國銀行の手に收められてゐること
二、新式銀行は政府の公債募集に應ずるを餌として兌換券の發行權を獲得してゐること
三、新式銀行は其出資者が殆んど舊軍閥或は舊官僚であり、此等の政治的勢力を利用して政府の公金を保管利用し或は富豪の資金を吸收してゐること
四、從來新式銀行は手形交換所を有せず、總て錢莊の手を通じて交換してゐたものであるが、上海事變後上海各銀行は協力して遂に多年の懸案たる手形交換所を創設し錢莊の一勢力を奪つた
五、昨年四月錢莊の唯一の武器であつた銀兩を廢止してその最後の止めを刺したこと
六、新式銀行はその新知識を利用して各貿易港に倉庫や市內分店を增設し、或は紡績に投資する等漸次商工業者の利便を圖り、錢莊の牙城であつた一般經濟界に喰入りつゝあること

滿洲國內錢莊の現狀

以上に依つて大體支那に於ける錢莊の現狀と今後辿るであらう途は判るがついで滿洲國內の實狀を見るにハルビン、新京、奉天、吉林安東、營口等の各地は一昨年三月滿洲國が生れ中央銀行創立後は、通貨統一の見地から國幣が發行され、從來個々の價額で流通してゐた各種の通貨は一定の回收價額が規定されたゝめ、從來これ等多種類の通貨の市價變動に依つて利益を收めてゐた各地の錢莊は此處で利源の一つを奪はれ、舊軍閥時代の如く通貨の市價變動が激しくなつたゝめ、その營業的機能を發揮するに由なく、僅かに金票對國幣或は金票對鈔票の變動に死命を繫いでゐるが、如何にその全能力を發揮して見ても程度が知れて居り矢張り支那各地の錢莊の運命と同樣、他に轉業するか或は多數が合同して新式銀行化するより外途がないものと觀られてゐる、今大連錢莊の概況を見るに左の如し（滿洲の錢莊中最も勢力を有つてゐる奉天錢莊の現狀に就ては本年一月號の滿鐵調查月報に詳細な調查が揭載されてあるので茲には略す）

滿洲の門戶たる大連の錢莊は大連の呑吐する輸出入貨物が激增するに從つて、繁榮もなければならない筈であるが、その輸出入貨物の大部分が日本を相手として居るもの丈に、彼等の手を煩はすのは僅かに關稅納付用の鈔票と國幣の賣買のみに過ぎず彼等の勢力であり利源であつた對上海向爲替が、滿洲事變後滿支國交斷絕から封鎖的高率關稅の實施となり、上海方面を主とする對支移出入貿易が全く杜絕し、對上海及び對支那各地向爲替が殆んど皆無となつたと同時に、支那國民政府の「廢兩改元」と滿洲國の通貨統一政策とは、恰も右から左からと同時に頰べたを毆られた形で、右せんにも左せんにも機能の發揮し樣なく、且つ本家の上海及び支那各地の錢莊が沒落する影響を受けない譯に行かず、新たな活路を求むる轉換途上の運命に立たされてゐることは否まれない

新金融制度確立の絕好機

支那全國の錢莊が軍閥舊官僚の壓迫と、ひし〳〵と押寄する世界的不況に抗し得ず衰退の悲運に見舞はれ、満洲國の錢莊が舊軍閥瓦解に王道政治を標榜する新國家建設から固陋な舊制度改革となり、その舊制度改革の犧牲となつて沒落の過程に立つてゐることは、偶然とは云へ時を同じくしてその軌を一にしてゐることは奇蹟と云ふ可きである、從來一般商工業者に對する金融を殆ど一手に掌握してゐた錢莊の沒落は、宛も明治維新の際に於ける諸侯の御用を勤めてゐた兩替屋の沒落と同樣、封建的經濟狀態から近世資本主義經濟に轉換する一現象であり、近世資本主義經濟組織を創建するには絕好の機會であり、支那に於ては新式銀行滿洲に於ては吾が鮮銀、正金其他の邦商銀行の擴足を伸ばすことが極めて容易になつたのである、更に滿洲國財政部や中央銀行は精密な計畫を立て、新金融制度を創設するに於ては如何な理想的な金融組織でも新設し得られると云ふ惠まれた立場に置かれてゐると云ひ得る、何れ滿洲國內の錢莊は舊の錢莊と同樣、銀行合して新式銀行を組織する轉換期に遭遇してゐるので、王道政治の眞義が普及すると共に、新式銀行が雨後の筍の如く續出するであらう、だが併し何分文化と民度が低いので、漸次彼等を啓發して、彼等の利用を促すといふ漸進的態度に出づるのでなければ、彼等の信頼を贏ち得ない許りでなく、急進的態度に出づれば實狀に即せぬことになり、圓滿な發展を遂げることは困難であらう、されば滿洲國當局に於ても吾が在滿邦人銀行に於ても滿洲國民性を究め、精細遠大な計畫を立てゝ之に臨むに非ざれば、如何に惠まれた環境に立つても充分な成績を舉げることは出來ないであらう（終）

市況（廿八日）
株式
內地變らず當市保合

北濱定期の前場寄は大株五十錢安、大新一圓二十錢安、鐘紡一圓二十錢安、鐘新四十錢安、引は各四十錢高、九十錢高、八十錢高、三十錢高、東京短期の新東は七圓臺の弱保合を入れ當市五品は十錢安、新豆、電々保合、新東五十錢安、日產二十錢安、滿鐵新六十錢安、滿鐵二新二十錢高に引けた

一前場

上海爲替情報

【上海廿八日發】紐育銀はアメリカ政府がキユーバ政府へ銀買入資金貸付印度の銀輸入稅遞減カナダはロンドン銀協定を批准するとの入報にて急騰す投機筋は賣氣薄の所棉花デマンドの外爲替買物出廻りし爲め銀行出合薄にて各價とも稍弱くなりデマンドの一巡後北方筋の弗賣標金買あり後大德成、恒余の賣にて押す

上海標金
寄値　九四二弗三
高値　九四五弗一
安値　九三六弗九
止値　九三七弗五

滿鐵株（昂騰）

東京短期　滿鐵新株　六十八圓
大阪短期　滿鐵舊株　六十八圓九十錢

◇滿鐵の如きはけさ新舊株六十八圓臺に躍進し改組問題發生前から一層人氣を集め滿鐵株、東拓株などを首め其他の新興株も連日新値を遂ふといふ人氣だ
◇殊に滿洲關係株式は列國の滿洲國不承認解消氣運と皇帝御即位から一層人氣を集め滿鐵株、東拓株なども人氣を呼んでゐる
◇政局は依然混沌たるものがあるが廣田外交は着々効を奏し米國の對日滿感情なども餘程緩和されたが情勢となつたので株界もこの方面の好感から人氣も明るさをみせてゐる
◇雜株の循環買が一巡し滿洲物に廻つたのは相場も大體買ひ盡されたからだとみる向もある
◇しかし一面弱氣筋は內地における雜株高から主力株高に移るか昨今の雜株高が買人氣の出盡しか今後の推移に俟たれば俄かに判斷出來難いが恐らく近く迫つた政局の雲行如何が相場の分岐點をつくることにならう
らするとこ圓方も上廻つた、八分配當の維持が出來ると七十圓迄買つて五分五厘の利廻りで未だ採算に合ふといふ人氣である

五品雜觀

◇延取引
銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電々	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿二新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇定期（單位十錢）
五品　當限　先限　寄・中・引　二七四　二七四　二七四

◇雜取引
代行二六七、商取一八五、郊外土地七三、滿洲製麻三七〇
◇爲替及受渡日步

市場電報（廿八日）

銀塊及爲替
倫敦銀塊　一〇片一六分三
同先物　一〇片四分一
紐育銀塊　四五仙四分三
孟買銀塊　五三留比六分三
スチール　五三弗八分五
アナコンダ　一四弗八分五
英米爲替　五弗〇八仙八分三
米日爲替　三〇弗〇〇仙
米支爲替　三五弗〇〇仙

神戶日米
第一回　一六弗四分三
第二回　一六弗四分三
第三回　一六弗四分三

棉花
●米棉
現物　一二仙一五
三月　一一仙八三
五月　一一仙九六
七月　一二仙一一
十月　一二仙二三
十二月　一二仙三六
一月　一二仙三三
●印棉
ベンゴール　一四留比
ブローチ　一〇八留比

大阪株式
銘柄　前場寄　前場引
大株・大新・大紡・鐘新・日糖・郵船・滿鐵・滿鐵新・東株・東新（短期）大新・東新・鐘新・日產・帝人・滿鐵　（數値不鮮明）

東京株式
銘柄　前場寄　前場引　（數値不鮮明）

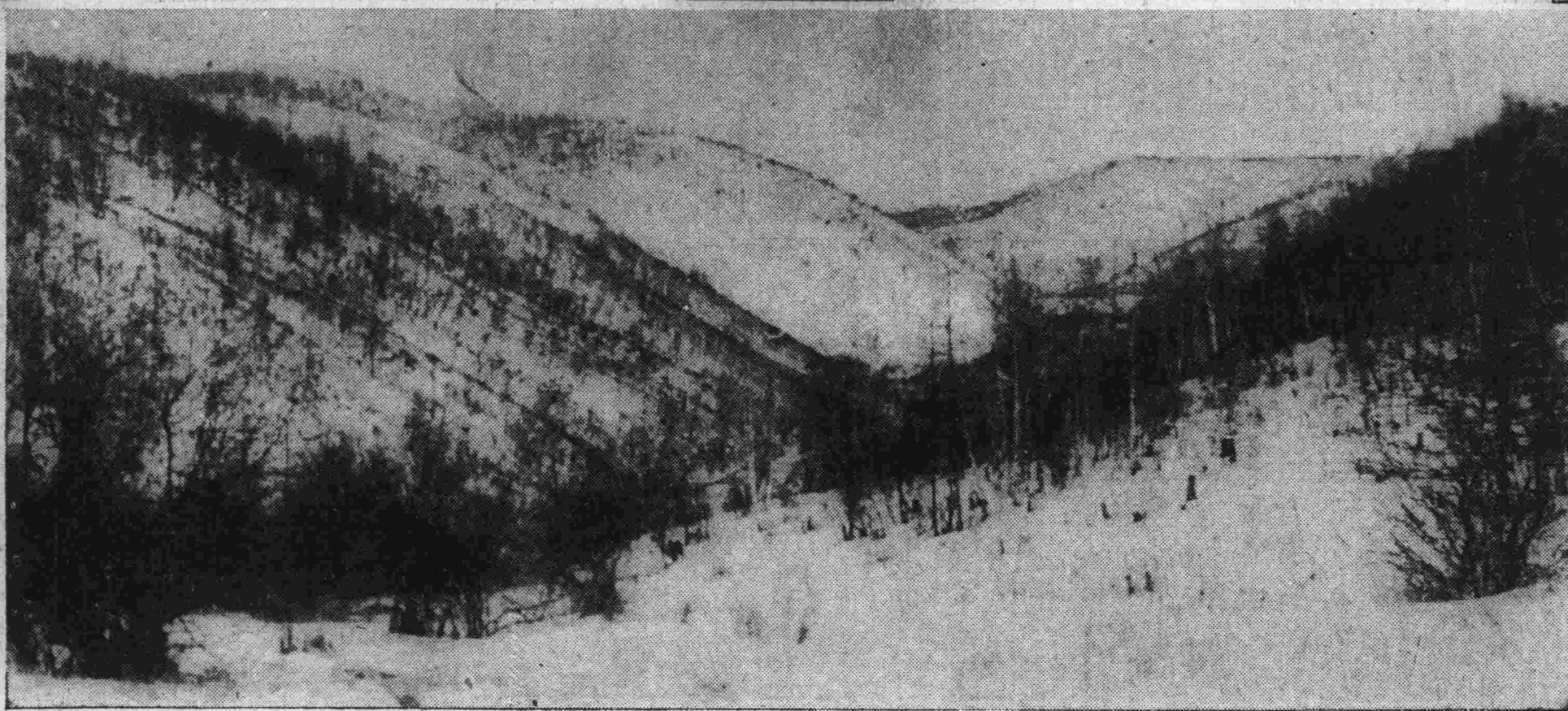
大阪期米・神戶期米・東京期米
當限・中限・先限　前場寄・前場引　（數値不鮮明）

大阪綿糸
限月　二月〜八月　前場寄　前場引　（數値不鮮明）

大阪棉花
當限・先限　寄付　大引　（數値不鮮明）

橫濱生糸
限月　二月〜七月　前一節　前二節　（數値不鮮明）

印度麻袋
鐵筋直積　一五留比六分三
青筋直積　一七留比八分五
爲替相場　七六留比〇分〇

仰ぐ滿洲國皇帝、皇后兩陛下
と新皇帝祖宗發祥の地長白山麓

慶祝・滿洲國大典

滿洲國獨立宣言以來、玆に滿二箇年。その間、內に執政府統制下の治績大に揚り、外に善隣の大義に準據した日本の努力功を奏して、今や行政、經濟、產業の各方面に平和繁榮の基礎は確立された。この機會に於て、名實共に王道政治の輪奐を具象すべく三月一日の吉辰をトし、皇帝登極の慶典を擧げられ元を改めて康德の大號を宣明し給ふこと、なつた。斯の如きは世界近時の大勢とこの地積年の史實とに鑑み、在住內外人心の嚮向に察し、更に新元首英邁仁孝の天縱に照らし、所謂天時、地利、人和の三德を得たる盛事である。滿洲國三千萬民衆は言ふに及ばず、唇齒輔車の關係深き日本國民の感激措かざる所である。

◇

熟ら惟みるに、歐洲大戰前後の國際事情は、世界各國を通じて一大轉機の運に逢して居た。絢爛たる光輝を衒耀した近世文明の弩末が、歐洲列强の各隅に一抹の妖雲を蒸起させて居たやうに、東洋大陸の紀綱弛緩は事毎に禍亂の萌芽を醞釀させて居た。それが不幸而清末期の國際的危機を展出せしめ、更に辛亥革命の大亂を武漢の要衝に勃發せしめた。歐洲の平和も之と後先して漸く攪拌され、西南各國の內亂に次いで、伊土、墺塞の諸紛議あり、一爐一蒸、遂に世界曠古の大爭鬪を爆發させた。

◇

破壞後の建設に於て列國注視の焦點は東洋問題となつたがその東洋問題の中心は實に滿洲であつた。何となれば、大西洋から轉向した太平洋の治亂は、一に繫つて東部亞細亞の興敗にあり、東部亞細亞の國際的不安は、絕えず滿洲にその端を發する憂ひを多からしめたからだ。切言すれば滿洲の開發安定は遂に世界大に新平和を齎らすべき基調であつた。紛糾已むなき支那の國情に對して、この地官民間の具眼者が常に保境安民の要を說き、日本亦滿洲問題の解決を國策の第一義としたのもその大因實にこの點にあつた。

◇

この必然性は、遂に獨立滿洲國となつて具體化された。之れを東洋文明史上の舊記に徵しても、滿蒙の廣域は連續して獨自の體裁を成して居た。時に漢人種の統制と正朔とを奉じたが、この地諸民族の社會的基礎は特殊の地理的自然力に陶冶され、今次新たに君臨された愛親覺羅氏は、滿洲最古の名族として數千年の系統を保存せられたのだ。そこに新皇帝登極の天命があつて、所謂宗社復辟とその根本義を異にする所以の大道がある。更に極言すれば周代に完成された王道觀よりも、一層自然的に具現された帝制であつて、開闢以來の民族精神が復古新興してこの盛典を擧ぐるに至らしめたのである。而してこの國是を益々明に發揚し給ふのは新帝陛下の洪德にあらればならぬ。隣邦の大典に際して欣喜の情に堪へず、聊か所感を述べて慶祝の誠意を表し奉る次第である。

蘭花燦たり"大滿洲帝國"

家庭

全世界に誇る けふの盛儀
古來王者承天の古義

滿洲國は大同元年三月一日を以て國家の創建を見、當時建國宣言を發布して三千萬民衆を軍閥の懸跡より救ひ、内に五族の協和を圖り外に國際の和平親善を圖らんことを誓つて來たのでありますが其間年を經る事僅かに二年……今や國民漸く其堵に安んじ眞に安居樂業の理想郷を現出せんとして居ります、世間に在つて我が執政閣下には叡明天縱の資を備へさせられ身を以て天下の儀表となり國を治め民を導き宵衣旰食遂に今日の盛業を見るに至り玆に新に皇天の命を承けさせられ畏くもけふ三月一日――帝位に卽かせらるゝに至つた次第で國内三千萬民衆及び宮中府内外臣僚の歡喜感激は固より申すまでもなく友邦日本國民の又齊しく同慶に勝へざる所であります。

惟ふに今玆に皇帝陛下の御登極は所謂受命の君として天の明命によるもので實に大に天に報ずべきことであつて郊祭を圜丘に行はせらるゝ誠に吾東洋古來王者承天の古義に則るものでございます、而して斯かる祭天の盛儀は王道國家に於てのみ見らるゝことで實に滿洲帝國の最大の誇りとすべきものであると信ずるのでございます。

亞婦聯創立委員會

亞細亞婦人聯盟創立委員會は一日午後一時ヤマトホテル大ホールで開催、一般婦人方の來會を歡迎するさうです

"祭天の儀式"
天子として最大至重の行事

漢民族は遠き上古の昔から天に對して其の色及び形體上から見た感覺的、物理的な天と、信仰的又は倫理的な觀念から見た天と、それから又哲學的な思索の對象としての天等、大凡三樣の見方をして居ります、その中信仰的倫理的な觀念から見た天は、天を全宇宙の

主宰 者として人格的存在と意識するところから來たものでこの場合天は上帝と同意義になるのであります。この人格的天に由つて人も萬物も造られ、同時にそれに生長發展の機能が賦與されたものと信ぜられ、その人民を治め且つ又これを教へ導くために天の代理者として天子を命じ、これに對して政治並に教化の理法を授け同時に天子の其政治及び道德上における是非善惡に因つて天から吉凶禍福を降すものとの信念を生ずるに至つたのであります、そこで此の觀念からして天子たる者は天の所在たる萬民の政治と教化とを完全に遂行すべき使命を天より受けて天下に君臨するものであります。それ故天を尊び、天の命を償むことは

天子 に取つて天に對する最大の義務であり、又その德に報い福を求むるために天を祭ることが天子として最大至重の行事であるのであります、その祭天の對象とする所は昊天上帝日月五帝星辰等、又昊天上帝に配するに天子の祖先を以てすることがあります、

その祭天の名稱は禘、郊、祖宗等四種あり、禘と申すのは禮記祭法の註に據れば昊天を圜丘に禋祭するもので、圜丘と云ふは天に象つた圜形の祭壇で禋め祭るのであります、次に郊とは上帝を南郊に祭るので、是は天德に報ゆることを主とし、天帝の代りに日を主とし之に月を配して祭るもので、これが卽ち

郊祭 で、其他天神の一として五帝卽ち春夏秋冬並に中央に配合した五人の帝を明堂といふ古への王者の重要典禮を行つた殿堂で祭るのを祖宗と呼んだのであります。

郊祭の沿革

上帝の祭祀は支那では何時頃から行はれたものか、比較的確實なところは殷の時代から禘が行はれたらしく、支那河南省殷墟から

發掘 されて居る殷代の卜辭中にも禘字の現れて居る事が知られて居り、禮記には殷人の郊祭は共陽を祭るとあり書經禮書にも極めて明瞭に表れて居ります。殷以後周代に入つても祭天の事は諸書に散見し後漢には建武二年に郊兆の祭天場所を城南に立て圓壇を造り天地及び五帝を祀りましたがその後南北朝時代より隋に至りましては受命して帝と稱した者の郊祭を行つたであらうことは察せられますが天下喪亂の間自ら祭天の例も廢れたことゝ思ひます。

滿洲國皇帝御卽位式場

(寫眞は天壇)

唐が 天下を統一するに及びまして高祖武德四年南郊に於て祭天を行ひ其後每歲冬至には昊天上帝を圜丘に行ひ景帝を配享したのであります、夫より五代を經て太祖の七年五月に青牛白馬を以て天地を祭り其歲十一月に木葉山といふ處に祠を立てて其後歷代の皇帝皆木葉山に郊祭を行ひました。宋に入つては太祖の乾德元年十一月に南郊に祀り大赦を行ひましたが金は太祖以後拜天の禮が行はれ元も亦拜天の禮がありまして帝后親ら之を行ひ宗族皆祭を助け憲宗郎位二年冕服を以て拜天の禮を日月山に行ひ其年十二月に昊天と后土とを台祭し太祖觀宗を配享したのであります。明に至り太祖の洪武元年二月に郊社宗廟の禮が定められそれより歲每に親祭を行ふことゝなり十一月に上帝を南京圜丘に祀り永樂帝の都を北京に遷してより益々祭天の禮が隆になりました。

清朝 に至つても二度臨時郊天の禮が行はれ一度は太宗の崇德と改元の時行はれ一度は世祖の支那に入つた時に行ひました、其後冬至には例年の郊祭が行はれました。

ラヂオ 大連 JQAK

滿洲國帝制記念放送

(第一日)三月一日

▲午前七時五十分より八時三十分(新京より)郊祭御模樣(順天廣場より中繼)

▲午前十一時四十分より午後一時登極式御模樣(宮廷内勤民樓より中繼)

▲午後三時三十分 ニユース

▲午後五時 子供の時間(日本より)一、祝辭 佐藤信明、藤の木清子(通譯)二、滿洲國々歌 女子放送合唱團(滿洲より)一 答辭 王世俞 二、君が代 孫培恕、張蘭芳

▲午後五時二十五分 講演「日滿古代の親交」文學博士沼田賴輔

▲午後六時三十分 講演―丸の内東京會館より中繼(東京より)祝辭外務大臣廣田弘毅、答辭外交部大臣謝介石

▲午後七時 獨唱「合唱管絃樂」新交響樂團練習所より中繼(一)合唱「大滿洲建國歌」(二)獨唱イやなぎのわた ロ、ペチカ ハ待ちぼうけ(三)管絃樂「滿洲行進曲」(四)獨唱「滿洲の春」(五)合唱「滿洲興國の歌」(獨唱)奥田良三(合唱)かくせい會合唱團、オリオンコール、(管絃樂)日本放送交響樂團(指揮)山田耕作

▲午後七時三十分(東京より)ラヂオドラマ「滿洲の春」作並に演出池田大伍(配役)梨皮裕村々主の息子烏拉特(汐見洋)布爾胡里村々主幹木兒(小杉義男)その長姉恩庫倫(岸輝子)同末弟佛庫倫(東山千夜子)奴兒野道代)村の男(木村太郎)蒙集央(三浦洋平)女占者薩滿(毛利菊枝)その他村の男女大勢及音樂等(解說)御備公(伴奏指揮)福田宗吉

▲午後八時三十分 時報(東京より)

▲午後八時三十一分 ニユース、氣象通報

▲午後九時 滿洲音樂(新京より)新京劇院より中繼

家庭顧問
子供の籍を拔きたい どんな手續をとればよいか

【問】 夫との間に長男、長女の二子がありますが事情があって離婚し子供二人は母の私が貰ひ受け度いと思ひます、夫もそれを承知してゐますが現に夫は戸主でございますので、子供の籍を拔く事が出來るか、どうか、心配してゐます、出來るとしたらどんな手續をとつたらよいでせうか？又私の方の籍へ入れるとしたら戸籍上どんな名義になるでせうか？(二人の母)

長男は廢嫡せねばならない

【答】 御主人が現在戸主であれば長男は家督相續人ですから相當の理由があつて廢嫡の判決を受けなければ貴女の籍へ引取るわけに行きません、長女は自由に引取ることが出來ます、方法は養子としてもよし、親族入籍といふ名義としてもどちらでもよいです、屆書は代書人に書いてお貰ひなさい(小野實雄)

若禿の防止

【問】 若禿の防止法と何か良き毛生藥を御教へ下さい(奉天若禿生)

フケを取ること

【答】 若禿は遺傳ですからなか〳〵防止することは困難ですがなるべく櫛の齒か何かでフケを取り除くこと、椿油をつけて毛の榮養を充分にすること、二週一回位上等の石鹸で洗髮することが肝要であります。

新棋戰 本社特選(其八)

先七段 △宮松關三郎
平手 七段 ▲小泉兼吉

【圖は七七金迄の局面】宮松氏持駒金桂步五ツ

▲七七金が拜ければ二％のレソルチン・アルコールを一日一回少量撒布すれば相當效力がありませう(辻慶太郎)

△七七銀 ▲四八馬
△六四步 ▲四七馬
△六三步成 ▲同銀
△七四桂 ▲同銀
△同步 ▲六九馬
△七三銀 ▲同桂

累計百手

土居八段講評

宮松君は敵に金銀を取られ自玉が危ぶなくなる迄には尙二手の餘裕があるを以て、その間を利用して六四步打以下敵の本營へ肉薄し、七三銀打の手段を遣つたのは鮮かである。

荻原七段解說

小泉氏の四八馬は、自玉の防備を弱めるがこの際唯一の決戰趣向である、宮松氏の六四步は、二四飛の橫利きを充分に活用する手段である、次の七四桂は六四步打の繼續で以下敵に六九馬と必至を掛けられるが七三銀打込み以下を讀切つた強手である。小泉氏の七四同銀と切つて六九馬は、この際至當な決戰手段である。

日本棋院 秋季 大手合戰譜(第十三局)

先 三段 中村勇太郎
初段 坂口常治郎

—【9】—

戰の跡

所要時間累計(白五時二十二分 黑六時五十三分)(制限時間各七時間)

◇黑百六十三は この場合(ロ十九)迄進むよりも優つてゐる黑(ロ十九)百六十五黑百六十三となるよりは、譜の如く百六十三及び百六十五と打つ方が有利だからである

◇白百六十四にて百六十五に受ければ黑は勿論百六十四にオサへるので、こゝは譜の如く白百六十四黑百六十九となるのと黑が百六十四にオサへるのとでは四目の差がある事を確めてほしい

◇白百七十四を怠つて黑にこゝを打たれ白(カ三)とツイだりすると隅には黑(ソ一)の味がある外に、中央も黑(チ五)白(チ六)の後に一手入る事になる―

"國旗" 揭揚の方法

一、國旗一旒揭揚の場合は門内より見て右(門内より外に向つて左)に揭揚します。

二、國旗二旒揭揚の場合は併立、交叉隨意なるべきも一定せんとする趣旨よりせば併立するを望ましく時宜により交叉するもよろしい、交叉する場合は門内より見て左(旗竿の本右)の國旗を内側とするがよろしい

三、特に外國に敬意を表する等外國國旗を日本國旗と共に揭揚する場合には併立交叉隨意なるべきも、一定せんとする趣旨よりせば交叉するを望ましく時宜に依り併立するも差支ありません而して併立する場合は日本國旗を門内より見て左(門外より見て右)に揭げ交叉する場合は日本國旗を門内より見て左(旗竿の本は右)に揭げ旗竿は内側と致します。(圖は正しい國旗の揭揚)

(第三種郵便物認可)

慶祝滿洲國即位大典

海拉爾

新皇御極
聖壽無疆
興安北分省長凌陞

凌陞

海拉爾鄉市政公所鄉長
李相庭

海拉爾市政籌備處長
德春
處員一同

呼倫稅捐局長
田向午

海拉爾
舊街商務會

海拉爾
新街商務會

撫順

撫順炭礦

撫順縣公署
趙仲達
外職員一同

滿洲土建協會
撫順支部

撫順銀行會社團

撫順金融合作社
黃毅

撫順區地方委員一同

撫順實業協會

遼陽

遼陽縣長
王德春

遼陽縣參事官
濱田義丸

財政部專賣公署遼陽分署
遼陽分署長
廣田一

遼陽區專賣總批發處

滿洲紡績株式會社

朝鮮銀行遼陽支店
支配人
大串盛多

株式會社
遼陽電燈公司

公主嶺

公主嶺取引所

信託株式會社

大同電氣株式會社
公主嶺支店

公主嶺
石炭商組合
合利洋行
松昌公司
新萃公司

正隆銀行
公主嶺支店

滿洲銀行
公主嶺支店

公主嶺
特產物商組合

公主嶺
金融組合

國際運輸會社
公主嶺營業所

公主嶺工友會

懷德縣公署職員一同
四十八村長村副一同

(いろは順)

公主嶺正隆銀行支店長
岩澤猛

公主嶺中央銀行行長
劉長漢

公主嶺地方委員議長
大岩峰吉

公主嶺地方委員副議長
大口靖太

公主嶺電信電話局長
吉川修平

公主嶺警察署長
仲村延四郎

公主嶺農事試驗場長
中本保三

公主嶺驛長
村瀨政之助

公主嶺輸入組合理事
楠田安一

公主嶺地方事務所長
前田鉞雄

河北商務會副會長
荊端五

大同電氣公主嶺支店長
古川三郎太郎

公主嶺在鄉軍人分會長
小松八郎

河北商務會長
張鳳翔

公主嶺滿鐵醫院長
三田泰三

公主嶺公學校長
宮野入博愛

公主嶺郵便局長
水口宇三郎

公主嶺驛構內食堂
井本賢次

公主嶺榮商店主
井本忠一

公主嶺柳寫眞館主
高柳祐之助

哈爾濱

北滿特別區長官兼哈爾濱特別市市長
呂榮寰

北滿鐵路護路軍
總司令
于琛澂

海軍江防艦隊
司令官
尹祚乾

哈爾濱航政局長
嚴東漢

國際運輸株式會社
常務取締役兼哈爾濱支店長
岡崎虎雄

哈爾濱郵政管理局

高橋貫一

蓄音器、ラヂオ、レコード
一木洋行支店
哈爾濱地段街

哈爾濱道裡新城大街
合資會社 大信號

合資會社 熊澤洋行
哈爾濱中央大街
電話(三)五八六九〇〇番

松浦洋行
哈爾濱中央大街

前田時計寶石店
時計寶石部 哈爾濱モストワヤ街四七
電話三一九一番
蓄音器部 哈爾濱大石道街七六
電話二八六一番

林秉商店賣捌店
哈爾濱道裡十道街北バザール

哈爾濱旅館組合

哈爾濱ホテル
花屋ホテル
北滿ホテル
北興ホテル
東洋ホテル
大陸ホテル
鶴屋旅館
名古屋ホテル
ナショナルホテル
樂山莊
雲仙莊
大和旅館

滿洲ホテル
二葉旅館
紅葉館
亞細亞ホテル
朝日旅館
佐賀ホテル
榮屋旅館
商務旅館
昭和旅館
敷島旅館
松花ホテル
日の丸ホテル

奉祝滿洲國帝制
健全な國家は
健全な母體から
オール女性の健康を護るは中將湯
肉體的に若返りて、氣分を爽かにし
幸福の破壞者婦人疾患を一掃して
輝く健康の歡喜に甦るには……
たった一つ名藥中將湯をすゝむ
CHUJOTO
婦人疾患に――
中將湯
あなたの守護神
こんな症狀の人は……ぜひ
▲手足腰が冷えて安眠が出來ぬ人
▲月經が不順で、その前後に下腹が引つるやうに痛む人
▲頭痛眩暈がし「こしけ」が下り、體に倦怠を覺える人
▲其他種々の婦人病にてお惱みの人
▲又感冒に罹つた場合に良き治療効果を奏します。
主効
腰足冷込 血脚氣
下腹痛み 頭痛眩暈
月經不順 子宮病
ヒステリー (血の道)
こしけ 神經衰弱
肩の凝 疝氣感冒
產前產後 浮腫惡阻
「健康の栞」と題する日滿兩國語の小冊子、婦人衞生手引を無代進呈いたします
御覽になつた新聞名記入の上御申込み下さい。
子宮病血の道くすり
中將湯
CHUJOTO
PREPARED BY TSUMURA JUNTENDO TOKYO JAPAN
The only remedy For Female complaints that ever prepared in the world
婦人
中將湯
滿洲國總代理店
大連市浪速町一四七 日本賣藥株式會社
奉天浪速通り 井上誠昌堂
同 加茂町一六 日本賣藥株式會社
同 小西關大街 佐藤廣濟堂
安東縣市場通五丁目 井上誠昌堂
同 同 七丁目 一木藥舖
營口 元神廟街 回天堂大藥房
支那總代理店
上海河南路三三九 東亞公司
價定
試用分 ¥ .20
3日分 ¥ .50
7日分 ¥ 1.00
15日分 ¥ 2.00
23日分 ¥ 3.00
40日分 ¥ 5.00
85日分 ¥ 10.00
本舖 津村順天堂
本店 東京市日本橋區通三丁目 電話日本橋六二 振替東京六〇八
支店 大阪市南區長堀橋筋一丁目
9―2G

日滿要人暗殺團 首都新京へ潜入

奉天驛で逮捕の怪漢から判明 警備機關必死の嚴戒

【新京特電二十八日發】御即位大典の盛儀を執り行はせらる日に當り、日滿警務關係方面では全滿警務機構を總動員して嚴戒に努めてゐるが、奉天附屬地憲兵隊員は二十七日夕闇迫る午後六時奉山線列車より降車せる滿人怪漢を奉天驛に於て逮捕取調べた所右は馬占山部下義勇軍に屬する陣長崔雲亭と稱し、反滿義勇軍本部より派遣された暗殺團第二班に屬するものと判明した

更に崔の自供によつて反滿暗殺團の第一班は既に奉山線を通過して大典盛儀準備中の首都新京に潜入せること判明したので、奉天憲兵隊では大いに驚き二十八日朝直ちに新京の憲兵司令部に通牒したので、憲兵司令部では俄然緊張して在京憲兵各分隊新京警察及び滿洲國側首都警察廳に移牒し總動員して非常警戒に當ることになつた

撫順に不穩文

【撫順特電二十八日發】滿洲國帝制實施に關する日本帝國主義を攻撃した不穩文書が二十八日撫順民報社及び撫順警務局に郵送され、大典時期とて當局に於ては重大視し直に犯人逮捕の非常手配を行つたが、その封書には奉天大西門局の消印があり犯人は奉天に潜伏し相當廣範圍に活動しをる形勢がある

蠢動する一味

【奉天特電二十八日發】中國共産黨の不穩ビラ頒布に抗日分子の策謀あり、大典をひかへて多少人心を動搖せしめん計畫せる者あるも、共産黨の結社運動に努めることを目的としたものか、反滿的の運動かその目的すら判然しない、不穩のビラは何等效果がなかつたが滿洲國要人暗殺一味十名は秘に各地に潜入し、最高二十萬から最低五萬元の懸賞付で活動を開始せんとした所を奉天憲兵隊の活動に依り逮捕された

總局けふ一周年

陣容整備して飛躍へ

【奉天特電二十八日發】鐵路總局は滿洲國國有鐵道の經營委託を受けて三ケ年、王道滿洲國の國策に則り一意整理改善に力め着々その實績を上げ、今や二千五百キロに亘る大鐵道の總本局としてその面目も整ひ來り、四月一日よりの職制の改革を實施、いよいよ從來のより建設整理改善發展の段階に乘り出す事になり、既に鐵道運營上の諸規定も制定或は實施を見て居り飛躍への準備成るに至つた、三月一日は滿洲國帝制實施のよき日と共に總局創設一周年記念に當るので、總局では同日午前十時より大典慶祝を兼ね總局電氣室にて一周年記念祝賀會を催す事となつた

一般電報取扱ひ

けふから總局各驛で

【奉天特電二十八日發】文化の向上と經濟的發展に伴うて電報利用者の激増に鑑み、鐵路總局では局内電報取扱設備を一般にも開放の爲め三月一日より公衆電報取扱を開始することゝなつた、受付は總局玄關左側窓口で行はれる

新興クラブ愈々身賣り

一時大騒ぎをした新興クラブでは表面役員間の暗鬪も鎭まり二三種目の遊戯が關東廳から認可され經營不振の挽回に努めてゐたところその遊戯方法も滿人の嗜好に一致せず相變らず經營不振を辿り、昨今では一日僅か二、三十圓の收入よりなく全く經營行詰りとなるに至つたので、遂に同倶樂部は新資本家を求めて身賣りするに大體役員の肚が一致して目下適當な資本家を物色中である

倶樂部振興策としては滿人の嗜好に適した賭博がゝつた遊戯を必要條件としてゐるが、關東廳當局では合同前の各遊戯場に對する世の非難と現在新興倶樂部役員の顔觸れに不滿があり、遊戯種目に嚴重制限を加へてゐるので遂に今日の如き經營不振の運命に立ち到つたものである、この間事情を窺知せる役員間ではこのまゝ放任する時は自滅の外なきに至るものとなし、一日も早く内地方面より有力な新資本家を物色して讓渡し、新資本家の手によつて關東廳を動かす以外更生策はないと見通しをつけるに至つたものである、なほ讓渡金額は四十萬圓を下るまいと見られ、某役員の如きは既に個人的に内地某資本家にその進出を交渉してゐるとも傳へられ

奇特な市吏員

天然痘患者を發見

市内興德街三丁目二二二番地市役所吏員小松秀夫(二五)さんは雨の日も風の日も租税調査のため市の隅から隅を戸別に歩き廻つて、おさおさ任務に怠りなかつたが、去る二月九日同じく租税調査に出向ひてゐる途中市内宏濟街一九番地曲大山方に立ち寄つた時大山の妻曲雲亭(二二)が奥間でウンウンうなつてゐるのを發見、不審がつて上り込み調べたところ意外にも天然痘症狀であることを知り直に無智な曲大山を促し所轄小崗子署衛生係りに届け出させたのを手始めに二十二日同じく平順街三八番地曹國釗方同居人呂瑞仙(二一)が天然痘にも拘らず放任のまゝにあるのを發見、自から署へ電話報告した事も判明、二十八日午前中同じく同様手段の報告を受けた署衛生係りでは始めてその人あるを知り近來稀なる奇特の士として大いに感謝の意を表するところあつた

不夜城新京を描く

1、執政府前　2、新京驛前　3、ヤマトホテル　4、城内奉祝塔

忠靈塔の勇士に 每朝淨めの奉仕

彌生高女の二生徒が

嚴寒降雪の朝も厭はず連日午前七時から七時半の間に亘つて忠靈塔の境内をはき淨める二人の女學生があつて參拜の人々をいたく感動させて居る——この美談の女學生は目下彌生高等女學校二年に在學中の滿鐵常務取締役高橋武夫氏長女育子さんと、宮崎ペチカ商會宮崎作太郎氏長女秀子さんの兩嬢で常盤小學校時代からの大仲よし、卒業後揃つて彌生高女に入學した

同校は一年數回、全校生徒に敬神崇祖の念を起させるため敬神崇祖週間を催して居るが、過般の週間に於いて兩嬢は忠靈塔を受けもち同所に於いて守役の説明に痛く感動し、爾後每朝の登校前に誘び合つて境内を掃除して居たので、學校當局者も全然この美行爲を知らず本社よりの通知で初めて知つた様な始末、細萱校長もこの美行爲を非常に喜んで居るが、輕薄に流れんとしつゝある當今女學生氣質に清涼劑を與へるものとして各方面より賞讃されて居る、右に關し細萱校長は語る

御社からの通知で初めて承知した次第です、早速修養會の上級生の手で調べましてやつと高橋さんと宮崎さんとであるといふことがわかつたのです、兩人とも成績も優等ですし、クラスの氣受けも非常によく模範生徒です、御承知の如く私達の學校では修養部があるのですが、この部は上級生の指導で忠靈塔や大連神社に奉仕をして居ります、高橋宮崎さんもこの時奉仕に行かれたことは承知して居りましたが、その後ずつと繼續されて居ることは全然わからなかつたのです、早速生徒一同にも知らせて修養の一つと致したいと考へます

なほ同校四年生梅組山領ヒロさん(父兄山領貞二氏)以下の五十餘名も十月以降日曜每に大連神社に奉仕し參拜人を感動させて居る

日本人として當然の事です

兩孃交々語る

(寫眞は二孃)

美談の女學生高橋宮崎兩嬢ははち切れそうな元氣で謙遜しながら交々語る

新聞に出さないで下さい、私達は立派な行爲とも思つて居りません、日本人の行爲として當然のことゝ思つてやつて居るのですから、父や母も承知して居りますが、そんなこと新聞に出されると父母に怒られます、どうぞ出さないで下さい

板垣少將赴京

【奉天特電二十八日發】ソ聯印度支那及支那滿洲視察の爲め二十六日來奉した參謀本部板垣征四郎少將は、二十八日午前九時三十四分土肥原特務機關長と共に大典參列の爲め飛行機で新京に向つたが、出發間際に語る

既に大連で話した事以外別にないが滿洲國の帝制第一日に參列出來る事は喜ばしい二日には再び來奉錦州方面の視察を行つた後北滿や京圖線を視察し三月二十一日雄基發敦賀經由歸任する豫定だ

航空郵便の新切手發賣

遞信省郵務局では航空郵便はがきの特別料金が昨年十一月七錢から八錢に値上されたので私製はがきに使用される九錢五厘切手について研究中であつたが、愈々三月一日からこの九錢五厘の切手がお目見得する事になつた、これによつて私製はがきは一枚の切手で用をたすことが出來、更に私製はがきの速達にも便利になつたわけだ

(寫眞は新切手、富士山に飛行機、刷色はたい／＼色)

米國煙草の賣行 前より良好

フベシコ氏氣煙あぐ

【奉天特電二十八日發】滿洲國が獨立したので外國からの各種輸入品は關税率の低るため影響を來し特に米國から直輸入する煙草は輸入關税の高率のため打撃を受けるであらうとの「ザリヤ」紙の報道に對し米國煙草會社の滿洲總代理店のフベシコ氏は二十八日來奉して語る

米國煙草の滿洲輸入は一ケ年約四千萬本、大箱にして二千箱で駱駝印を初めロッキイスト、ドイ、ポールモールでハルビンを中心として可成りの販路を有してゐるが、ザリヤ紙が米國製煙草の販路は絶望の如く傳へてゐるのは米國の滿洲に對する惡感情を刺戟するものである、滿洲國が成立してから政府は機會均等、門戸解放を唱へ外國品の輸入に對しては税率も變へず、煙草の如き三割方支拂つてゐるが現在も同様である、むしろ米國からの輸入煙草に對する商取引は舊軍閥時代より安全率が多くなりつゝある際、外國商人に危惧を抱かしめるやうな報道が新聞に現はれる事は滿洲國のため對外的に損失である、米國は勿論の事、歐洲各國としては滿洲國商人の有無に拘はらず一般外商がその堅實なる發展の期待をしてゐるのである、米國の對滿[illegible]が好轉しつゝある際反米に類した虚報が傳へらる事は面白くない云々……

水上掉尾の警戒

繫留船舶を虱潰しに

大連水上署では滿洲國の大典祝賀艦飾として二十八日午後一時より五十名の署員を總動員し、土屋署長指揮の下に港内繫留船舶の一齊臨檢を行ひ不逞者及び危險物の點檢に努めた 即ち第一班は細田高等主任指揮の下に第一、二埠頭を、第二班は西辻司法主任の下に第三、四埠頭を第三班は小林保安主任の下に西埠頭及び西部警内を、第四班は熊野執行主任の下に北大山通埠頭一帶に密集する戎克八十餘艘を虱潰しに點檢し、午後四時半に終了したが獲物は目下整理中である

ゴールマン氏放送

【新京特電二十八日發】マンチュリヤ・デーリー・ニュース記者ジョージ・ゴールマン氏は三月一日滿洲國帝制實施の當日新京無電臺から午前六時十五分より十五分間に亘り滿洲國皇帝即位に關し放送をなすと

ダンス教師にお灸をすゑる

舞踏教習所が教習所規定を破り秘に男女混合教授を行つて風紀上面白からざるダンス教師が二人小崗子署保安係の鋭い眼に觸れ各々呼び出されて警告された 市内連鎖街銀座通り北澤舞踏教習所及び同じく京極通り戸次舞踏所では規定の時間を破つて臨時男女ダンス教習者を入れ換い教習所でダンスを教へてゐたと云ふのであるが、二十七日兩教習所教師北澤昌苗(二六)同じく戸次寛治(二五)は小崗子署沖保安主任に手びどく訓誡された

車掌が兄弟共謀切符代横領

滿電の電車々掌が兄弟共謀で切符代を横領してゐた不正の件が發覺し滿電當局では監督を増員し全線に亘つて警戒の眼を光らすことゝなつた

不良車掌は八號系統勤務劉鶴年(二〇)で實兄の西崗子長安街六二ルンペン劉德生(二六)と共謀し去る二十五日午後一時三十分ごろ西崗子市場前で客を裝ひ乘車してゐる實兄に對し切符代から現金五十錢乘車券十數枚を手渡し更らに同日午後十二時ごろ日本橋終點で現金二十五錢と乘車券卅五枚を窃取、手渡すところを滿電川本監督に發見され兄弟共大連署に突き出されたもので餘罪多數による模樣である

天龍入港

一日は滿艦飾 參觀者を歡迎

旅順要港部所屬の軍艦天龍は大連市民と共に溥儀執政即位の大典に敬意を表するため二十八日午後二時入港九番バースに繫留したが、艦長金澤大佐は語る

日本帝國は善隣滿洲國の帝制實施に滿腔の祝意を表するが、我海軍にても同樣で旅順要港部としても天龍を滿洲の門戸大連に派遣し市民と共に敬意を表することになつた、當日は滿艦飾を施し碇泊中(二日間)は一般市民の參觀を歡迎します

因に同艦は三日拔錨威海衛に向ふ豫定である

フォンボルト將軍 滿洲軍顧問に招聘

【奉天特電二十八日發】滿洲國政府では歐洲大戰に驍名をはせた獨逸のフォンボルト將軍を招聘し最高軍事顧問として陸軍の改造に着手するさ

ゲ・ペ・ウ騎馬隊 六道溝に侵入

【東京二十八日發國通】琿春領事館外務報告では二十四日午前十時ゲ・ペ・ウ騎馬隊八騎が六道溝に侵入地形調査したさ

河上畫伯展

梅畫專門の畫家を以て知られる河上滬立氏の畫會は三月二日三日の兩日に亘り午前九時より滿鐵社員倶樂部に於て開催されるが、展覽畫は季節の變化に從ひ墨梅、月梅、雪梅と梅のあらゆる形態を巧にかいて居る、希望者には申込順によつて頒布されるが揮毫料は三十圓より六十圓迄であると

十五學會協會聯合會 賀表を捧呈す

在滿十五學會協會聯合會では去る二月九日技術會館に於て委員會を開催し、滿洲國帝制奉祝の賀表捧呈を決議し之れが起草委員として滿洲電氣協會が擧げられ、賀表は二月二十七日新京にて電氣協會常務理事孫徹氏より滿洲國へ捧呈した

朔日會講演

滿洲電氣協會朔日會では來る三月二日(金)午後四時三十分より滿鐵社員倶樂部に於て左記演題にて講演會開催一般人士の來聽を歡迎す

▲北鮮長津江三十三萬キロ水力發電所工事と耐寒施設に就て、滿鐵北島技師

對抗碁戰

大連法曹會對杏林團の對抗碁戰は二十六日大連棋院別室において濱島二段審判の下に催されたが選手各十三名、非常な接戰の後、二十九對二十九の同點で無勝負となり、他日を期して散會した、因に個人成績は次の通り

▼一等唯有(法曹五勝)▼二等笠置(法曹四勝)▼三等荒川(法曹四勝)▼四等光畑(杏林四勝)▼五等田村(法曹四勝)▼六等幡井(杏林三勝)

安樂子

電々會社も四面楚歌の聲にかてず遂に兜をぬいで四月一日から料金改訂を行ふ旨聲明した、それはいゝが今度は反對に料金還元が叫ばれさうだ。

……◇……

といふのは今度最低料金を三十九錢から四十錢に改める結果、めッたにしか電報を打たない階級、すなはち「アヽ、アスタツ」式の一、二語で濟む連中には値下げどころか却て一錢の値上げになるわけだから不平滿々。

……◇……

斯うなると電々會社の舊料金制定當時の釋明、すなはち「三十字位までは然う値上げにはなつて居ない、これらの電報が總數の約七十二%を占めて居るのだから大衆は喜ぶ」と頑張つたことが今度は逆になる次第。

……◇……

そこで「離婚のお歴々は滿足しても民衆には恨まれますぜ」といふと同社の總務部業務課長「いやどうもわしや辛い」

南蠻彩船 (57)

鈴木氏亨作　布施長春畫

雲の行方（七）

「殿、このやうなところにゐても面白くござらぬ。早速ひき上げるといたしませう」

主人思ひの遠里小野三郎は、助左衛門の、心の動きを見てとるとしん底から慰めた。

「これもみな繪師屋が不注意のためでございます。庄右衛門を拐んで、心行くまで窘めてやらうではござらぬか」

山村五郎三郎は、膝頭を激しく叩いた。

「庄右衛門奴が不届で御座る。彼れ、われ等の面前に立たば、一刀のもとに成敗いたさうものを」

安南錄之助は、拳さ、拳骨を、同時にぶる〳〵と震はせた。

「同感、同感！」

鬼兜羅も憤慨の色を見せた。

「然らば拙者の新刀の試し斬りに引導を渡してやらうと思ふが、御同列如何で御座る」

吉水洋二郎は、膝を叩いた。

「よからう、よからう」

「だが、楓を三日内に探し出さなかつたら、庄右衛門奴の臓腑を貰ひ受ける、と、云ふのも面白いではないか」

「女のことから起つた事件だけに臓腑を貰ひ受けると云ふ刑罰は面白いな」

「おい〳〵。皆の者、つまらぬ戯れ言は止せ！助左衛門が、たかゞ高術の遊女一人のために、羽虫も同然の町人を一人なきものにしたとあつては、末の世までのわが名にかゝる。そのやうなことは、口にも出して貰ひたくない」

助左衛門の調子は、急に險惡になつた。

一座は、海底のやうな靜寂さに陥つた。

「お怒しなさうに御座りますが、庄右衛門、この度のことについては、如何ようの責苦に會ひましても、全くもつて厭ひはいたしませぬ。どうぞ存分になされてくださいませ」

そこへ庄右衛門が、悄然と部屋に入つてくるなり、額を疊の緣にすりつけ、背骨のやうにへたばつた。

「殿！庄右衛門の願ひの通り、存分にいたさうでは御座いませぬか」

知慮者の山村五郎三郎は、立上ると、預けてあつた腰のものを取つて來ようとした。

「待て、五郎三郎！」

助左衛門の聲は、矢が弦を放れた時のやうに鋭かつた。

「折角、余に憐れみをかうてゐる者に、刄をもつて救ひに代へるとは、武士の情を知らぬものである。庄右衛門の生命はこのまゝ赦して彼に楓の行方を探させるのも一興であらう。どうぢや五三郎、余の理窟は立たぬかな」

「それこそ情ある士のなすことで御座います。その方が、一層の興があらうと云ふもので御座います」

「皆のものどうぢやな！」

助左衛門は、何故か寛大だつた。

「殿の仰しやる通り、異存が御座いませぬ」

一同が、助左衛門の言葉に同意して、輕く頭を下げた時である。庭前の春日燈籠の灯が、風もないのに消えたと思ふと、パンと皿を割つたやうな音がして、座敷の燭臺の灯も消えた。

滿日柳壇

祝滿洲帝國

高橋月南選

善政を謳ふ曠古の賀のごよみ　鞍山　鈴木　可鳴
三千萬帝のおはす滿洲旗　大連　渡邊　雨明
陰徳を積んで帝座は出來上り　大連　市村　喜一
御登極五色旗燦と春麗ら　普蘭店　八幡　長風
三千萬民は帝位に春祝ひ　開原　古市　贅六
皇道が照らす三千萬の額　大連　根本　栗人
高御座三千萬がひざまづき　大連　高橋　竹聲
聯盟を尻目に滿洲彌榮え　大連　金山　逸居
塗炭より民帝政の春に醉ひ　開原　石川　助六
瑞雲をことほぐ民の禮讃然　撫順　毋軍山正天
五色旗に蘭花燦然光つて居　營口　岡部　正弘

奉祝の爆竹野を越え山を越え　撫順　山下　岸柳
神の御子大滿洲へ天降り　大連　高柳　桂馬
生き伸びた甲斐善政の徳に醉ひ　鞍山　鈴木　年一
御即位の朝日は闇に強い影　新京　上倉　泥柳
蘭の香に三千萬の閧の聲　奉天　古田部凹一
帝制へ五族協和の春歌ひ　大連　今宮　龍吾
滿洲野原蘭花の香りかんばしく　昌圖　内山　松子
五色旗のへんぽんとして滿洲野春　大連　中川かめ代
大滿洲輝きわたる地圖の色　大連　玉井　天坊
新帝を頂く國家彌榮え　山海關　小林　鳩公
建國の氣分五色の酒に醉ひ　奉天　猪原　光廣
御大典天地もゆるぐ旗の波　大連　杉原　可坊
奉祝の坩堝溢れて湧く歡呼　鞍山　鈴木　かれ
帝國をかぞへる指が一つ殖え　大連　三谷　一佛
蘭と菊二つ並んで樂しい日　旅順　桃井たかし
嬉びは大滿洲に燃え上り　大連　橋口　白笑
祝砲に世界の國は振り返り　鞍山　瀧　みどり
あな可祝帝の國に蘭香る　大連　林　子ぐ
帝政となつて五族の樂天地　山海關　杉浦　田甫
東雲に皇帝降ります新國家　同　若杉　春曉
限りなき樂土の祝ひ七光り　遼陽　中沼久萬仁
新帝の御稜威輝く滿洲國　大連　田中　一蛙
身を賭して樂土を作る覺悟なり　山海關　水野　享流
赤い陽に王道樂土祝ひけり　大連　伊東　山坊
黎明に匪賊くものごと四散　新京　伊藤甦生子
春淺く滿洲野に薫る蘭の花　島根　德田　宗忠
怠らぬ手入れに蘭の花薫り　大連　尾道九十八
萎びれた牡丹尻目に蘭の花　大連　橋田　殘丘
產聲の五族のひゞく大國家　前所　上倉　都一
帝制に三千萬は只だ歡喜　大連　中村　秋泉
帝國になつて輝く新滿洲　撫順　松浦　蝶古
學良は此の祝日を惜しがり　昌圖　浦上　安子
帝政へ爆竹も揚げる三年目　同　浦上吉之助
建國の香ひを蘭の花に見せ　昌圖　山口　華江
三千萬五色の旗の下に生き　同　山口　房江
五彩旗靡ける春の滿洲野原　大石橋　常見　丘陽
春風にしづ〳〵進む皇帝旗　大連　和田　一哉
帝國を世界に示す氣で固め　山海關　水野　雅水
滿洲の帝莞爾として在し　大連　河邊　紫浪
滿洲へ蘭花いよ〳〵咲き匂ひ　大連　上河邊よし坊
しろしめす國慶びの聲に滿ち　撫順　齋藤十念坊
大典へ津々浦々の祝ふ聲　山海關　小黒三原女
新星に眼をパチつかす張學良　大連　安島　元坊
色どりの一つ殖えたる萬國旗　鞍山　龍　綠牛
五色旗の下にゆう〳〵豚が鳴き　新京　吉田　峰雲
全世界國旗の數が一つ殖え　昌圖　山口　北溟
昇る龍眼は世界中ねめ廻し　承德　川口　天山
帝政へ中華民國捨てゝ出る　山海關　高見澤和子
三千萬今日喜びの旗がゆれ　昌圖　山口　斗牛
滿蒙に蘭花一輪咲き誇り　大連　山嵜　嵐峰
帝政へ移民する氣の荷をまとめ　昌圖　吉田　甲子
全滿をあげて五色旗鮮かに　同　松尾小女郎
この佳き日三千萬の閧の聲　大連　星野美名都
みちよろづ今日ぞ喜悦の門に立つ　奉天　岡田　初郎
大艦に乘つた心ぞ三千萬　大連　寺山青々庵
東洋の平和促す新滿洲　大連　松崎　銀香
○選者吟
三千萬歡喜あふるゝ頌の聲

滿洲日報

附錄

國を擧げて・けふの慶祝

各地慶祝大會と賜餐

三千萬民衆の待望久しかつた滿洲國帝制實施の日、溥儀執政登極の日たる三月一日は遂に來り當日全滿洲國内はあげて慶祝の坩堝と化すことになつた、卽ちさきに帝制實施決定が發表されるや各地民衆は感激にふるへ爾來ひたすら當日を待望するとともにこのよき日の慶祝につき各地それ〴〵趣向をこらして諸行事の準備を進めてゐたが既にこれが準備もなり今や津々浦々にいたるまで大典慶祝氣分が横溢し今一日を迎へるとともにいよ〳〵これが最高潮に達せんとしてゐる、各主要地における諸行事豫定は大體左の如くであるが當日は各地ともあげて慶祝大會を開く外晝は旗行列、夜は提灯行列を行つて名狀すべからざる民衆歡喜の情を爆發せしめんとしてゐるのであり當日の民衆のこの盛んな慶祝行事は滿洲建國の歷史とゝもに永く記錄さるべき盛事である

奉天

慶祝大會と賜餐

三月一日の大典當日市民住戸一齊に國旗を掲揚し奉天市内主要ヶ所二十ヶ所に大國旗を掲揚し、又大西門、小西門にイルミネーションで裝飾を施した大アーチ裝飾塔を設置し午前十時より由緒深い故宮十王亭に官民代表三千名を招じて大慶祝大會を開催し、先づ臧奉天市長の開會の辭に次いで軍樂隊の國歌吹奏裡に國旗掲揚、御眞影、國旗遙拜禮、敎書奉讀、來賓の祝賀、大滿洲國の萬歲を三唱して式を終了し、それより省公署においては委任官以上、市政公署各科長主任、並に巡官以上二千名へ賜餐、委任官以下は酒肴料、學生生徒には菓子を賜はり、正午より十王亭前を起點として日滿小中學生約七千人、官吏二千、工商會員二千、警察隊、同馬隊、童子軍二百、一般民等合計一萬六千人の一大旗行列を行ひ附屬地大廣場前にて日本側と合體し日滿兩國の萬歲を三唱して午後三時解散し更に當日は飛行機數臺が慶祝飛行を行ひ空より慶祝傳單を撒布し花電車花自動車が運行され市中は全く感激と慶祝の渦巻きである、午後七時より建國前後の滿洲國史、帝制の意義等についての講演會、演劇、映畫、ラヂオ放送等三日間に亘り行はれ更に三月二日午後六時より五色に染出された滿洲國を表徵せる提灯を持つて一萬數千人の賑やかな提灯行列が行はれるのである

邦人側の旗行列

三月一日皇帝卽位式當日の邦人側催しである慶祝旗行列は當日午後一時忠靈塔前に參集、醫大十川先生の指揮の下に、醫大、中學、平安、千代田、敷島、の各小學校、普通學校、女學校、彌生、加茂、公學校、春日小學校、居留民會、各町内會、同文商業、商業、中學の順にて約五千の長蛇の陣を作り稻葉町を經、平安廣場に出更に驛に向ひ千代田通りを經て春日町に到り浪速通り、滿毛デパート前を過ぎ琴平町を奉天神社に參拜し中央廣場に滿洲國側旗行列の團體と合し最後に粟野地方事務所長は大滿洲帝國の萬歲を又臧市長は大日本帝國の萬歲を三唱日滿融和の礎を作り、盛大裡に解散した、尙中央廣場には高さ五十尺の華やかな慶祝塔を樹て市内各要所十一ヶ所には大國旗を又各戸には軒頭に國旗をたて提灯をかゝげて、祝意を表する

喜びの鄭孝胥氏の一家

した

各種の記念事業

▲市政公署　御大典記念事業として市政公署では滿洲中央銀行所有の大東關小河沿の拂下げを受けて五ヶ年計畫の下に一大遊園地となし諸種の新施設をなし蓮の名所となす計畫である、又市街美と一般商民の繁榮のため大西邊門より千代田通りまで道路兩側に記念街燈を建設する事となつた

▲奉天教育廳にては帝制記念塔を設立すべく準備中にて三月中に具體的決定をなし各學校小學生より一人に付二錢中學生一人に付き五錢の割にて基金を募集し又一般有志の義捐とに依つて六月頃まで建設の筈である

▲奉天教育廳禮教科に於いては三月一日午前十一時より大南關文廟に於いて孔子祭を行ひ敬老、孝子、節婦の表彰を行ふ事となつた

▲奉天日滿經濟研究會では滿洲國の帝制實施を記念に日滿民衆の融和を一層緊密ならしむる目的で工業費約百萬圓を投じて一大記念館を設立し日滿人の集會に充つる外、映畫、演劇、舞踊、演說、音樂等の會にも利用し又奉天商議、市商會、協和會、各府縣貿易駐在員事務所、小集會所、娛樂場、食堂、運動場、商品陳列場等を設く可く目下具體的研究中である

安東

曠古の慶典を迎へて安東商埠地は全市五色旗で蔽はれ縣公署の内外一帶は綠濃きアーチが美飾され午前十時頃から日滿官民續々と慶祝大會に參集する、會場の、こゝかしこに高脚踊り、娘太鼓、滿洲藝妓の手踊りが歡舞する、正午前に各學童を主體とする日滿兩方の旗行列が縣公署に參入し岡本安東領事は日本側を代表して卽位の賀辭を孫安東縣長に致し關屋市民會長の發聲で大滿洲帝國萬歲を高唱する

二日の地方賜饌は午前十前から縣公署に隣接する縣立第三小學校庭に於て開かれ安東、新義州の地方有力者三百五十名、安東滿洲國各機關職員四百五十名合計約八百名がお召しの光榮に浴する

附屬地においては安東市民會の主催で日鮮中小學校生徒三千五百名と各團體、市民の五千餘人から成る大旗行列は一日午前十一時驛前廣場を出發して縣公署の慶祝大會に參賀する、一日から三日間全市各戸晝は日滿國旗を夜は奉祝燈を掲げる、鎭江山の忠靈塔は滿電安東支店の寄進に依つて三日間美しくイルミネーションが飾られ大滿洲帝國の尊き人柱となつた幾多戰役の忠死者の英靈を慰むる

なほ安東地方事務所では日滿兩帝國民が永久に記憶すべきこの大典を記念するため日滿兩市街を打つて一丸とする大安東都市計畫を樹立し水道、交通、公園防疫等の日滿ブロックを目標に諸般の文化施設事業を起す方針である

遼陽

遼陽においては三月一日より三日まで三日間日滿兩國旗を掲揚、一日は夜間奉祝燈を掲げ市民代表の名をもつて賀電奉呈午前九時から神社で九時半から納骨祠前でそれぞれ奉告祭執行、午後零時半各學校兒童生徒市民地方事務所前に集合し城内に向け旗行列縣公署前で解散の筈、滿洲國側では一日午前十時より城内四大廟廣場で慶祝大會開催、終つて旗行列を擧行する

錦州

一日は各戸に日滿國旗を掲げ第五小學校、縣公署、師範中學校の前に各アーチを樹て午前十一時より第五小學校で盛大な慶祝式擧行、終つて中等學校、小學校各生徒兒童、警官、一般市民等の旗行列、二日正午から師範中學校において縣下各官吏その他に對し賜餐並に記念品の御下賜がある筈

鞍山

午前十一時より鞍山神社で奉告祭同二十分より市民、學校生徒及び各團體の旗行列神社前を出發、驛前廣場にいたり滿洲國側の行列と合して日滿交驩大會を開催、一日より三日までサイレン塔上で日滿大國旗を掲揚、市内各戸に國旗掲揚、四日賀表奉呈、滿洲國側は午前十時興盛廟に參集して慶祝大會を催し終つて旗行列、驛前にて日本側行列と合體

鐵嶺

一日午前十時より鐵嶺神社で奉告祭、午前十時半南關中學校の滿洲國側慶祝大會に參加午後一時小學校前に集合旗行列に移り南門より城内に入り縣公署前より小學校歸來、午後三時より公會堂にて官民合同の大祝賀會、三日間は各戸に國旗掲揚、滿洲國側では午前十時半から南關中學校にて慶祝大會、正午から同校にて賜餐、午後一時から旗行列、次いで午後六時から提灯行列を行ふ

四平街

一日午前十時より四平街神社にて奉告祭、終つて旗行列に移り、午後一時より公會堂で祝賀大會、この間午前十時より午後七時まで間斷なく煙花を打ち揚げ各戸に國旗を掲揚

撫順

一日から三日まで各戸、電車、自動車等に日滿兩國旗を掲揚、夜間は慶祝燈を掲げ各所に奉祝塔が建てられる、一日午後零時三十分より撫順神社で奉告祭、午後一時より旗行列に移り大官屯で滿洲側と合體、撫順驛前で解散、午後四時三十分より東七條小學校で日滿合同の祝賀會について祝宴が催される、滿洲國側では午前十時から縣公署で慶祝式典、午後旗行列日本側と合體して市中を行進する、縣公署では此外當日第一菜場で一般市民に慶祝饅頭を配給する

大石橋

三月一日を永久に記念するため協和會大石橋支部では娘々廟鎭迷山に珍木を植ゑて「協和の森」を建設

瓦房店

一日各戸に國旗を掲げ復縣公署門前に奉祝の大アーチを建て夜はイルミネーションで飾る、街頭には夜間奉祝提灯を掲げられる、午前九時半から復縣公署で日滿合同慶祝大會を行ひ、十一時より旗行列に移り正午皇帝の萬歲を三唱、零時半から市民倶樂部で慶祝記念宴會、夜十時から提灯行列が縣公署前を出發する、更に二日は市民倶樂部で地方賜餐、夜間は龍燈、高脚、帆船等あり三日は旗行列、記念宴會、提灯行列等あり三日間を通じて慶祝の坩堝と化す筈

營口

午前十時から縣公署で慶祝式典を興行、間斷なく煙花を打ち揚げ三江會館で歌舞女の合唱、舞踊の無料公開、高脚踊等ある筈、記念事業として貧民に金員を給與、植林道路修築等着々着手する筈

ハルビン

民衆待望の三月一日、今日この佳き日を迎へる大ハルビンにおいては市内數ヶ所目拔の通りに建てられた紅紫綾なす大慶祝門を縱橫にかけ拔ける美しく飾りつけられた花電車が數を連れて市中に現れる、街々戸々に飜へる新五色旗に織交ぜて「慶祝大滿洲帝國」「讃王道大滿洲帝國」のポスター傳單が隙間もなく貼られ、かれこれ十時に道裡公園の慶祝會場から打上げられる煙花に交つて、ポンポンと勇ましい爆竹の音が寒天をふるはせる、折しも爆音朗かに飛行機數臺が五色旗を飜へして市の上空に旋回し、五色の傳單を撒布し地上の喜悅に和すべく夜は街々戸々の慶祝電飾の火も華々しく明るく劇場といふ劇場は全部市民に開放され、大會場跡でも支那劇、舞踊等の餘興に賑ひ興じ提灯行列の火が長蛇のやうに市中の夜をうねつて行き斯くて大ハルビン五十萬民衆が總日未曾有の慶にひたつた慶祝第一日の夜は次第に加はる寒さと共に暮れて行くであらう

歷史的意義

劉允升

滿洲國は今や友邦日本帝國の絕大なる正義的援助を受けて王道樂土の建設を見るに至つた顧るにその支援協力を受けたるところ大なるものあり、庶民は擧つて王道を謳歌し樂土建設に邁進し新興國家の前途今や洋々たるものあり、玆に順天安民の大旨に基き執政の登極せらるゝに至つた事は三千萬民衆の最も喜びとするのみならず、東洋平和のため一大歷史的意義を有するものと信じて疑はず、本日より臣民として忠君愛國の精神を振作し興國の大業のため死を以て邁進する事を誓ふものである

慶祝滿洲國卽位大典

慶祝滿洲國即位大典

大連市會議員一同（次第不同）

志村德造　西田猪之輔　松浦開地良　森川莊吉　菅原恒男　一宮章　直塚芳夫　五十崎正大　千種峰藏　恩田明　石川良三郎　大内成美　三田芳之助　立石保福　龜澤福禎　相川米太郎　有馬邊　古泉光男　芦刈末喜　高塚源一　山口十助　高橋猪兎喜　今村貫一　矢野靜哉　熊谷直治　上原進　小野實雄　田中宇一郎　若月太郎　桑野彌一郎　蔦井新助　笠原博　張本政　麗睦堂　邵愼亭　劉仙洲　許億年　黃信之　周子揚

市會書記　野口一二

大連市內中等學校長一同

日本賣藥株式會社
大連支店
大連市浜速町一四七
電話六一三九番

船具金物機械、諸油塗料
岸洋行
大連市監部通二七
電話四三七六・六四二〇番

永順洋行
大連市大山通
電話（四三六九・四八三八番）

東亞煙草株式會社

ピクター蓄音機滿洲代理店
山葉洋行
大連市信濃町
電話代表四一四八番

文具繪書品
測量度量衡
內田洋行
大連市連鎖街銀座通
電話（六九二九・四八五六番）

大連人力車
乘用馬車組合
大連市八幡町二
電話七〇三八番

滿洲特產輸出貿易商
瓜谷長造商店
大連市山縣通一三七番地
電話（長）四四二六番・七三三六番・七三六四番
發電略號（ウ）又は（ウリ）

森永製菓會社・明治製菓會社　特約店
製菓卸問屋
機械製花アラレ類、掛物類、煎豆ピーナ、其他各種
木村屋分店
大連市若狹町四丁目一九九
電話六八六八番

大連信濃町市場組合
電話四七六三番

博多屋本店
大連市磐城町八九（西通筋）
電話四四五三番

建築材料石炭販賣
德和公司
大連市近江町二
電話六一八一番

大連海運合資會社
代表社員　佐々木謙治郎
本店　大連市大山通八五　電話五三六七番
荷扱所　大連北大山通四　電話七〇七六番

政記輪船股份有限公司
總理　張本政
大連市監部通三九
電話（代表）四一四一番

重富醫院
重富正人
大連市西通り八〇番地
電話七五二八番

株式會社　山田商店
大連市奧町
錢莊部　電五一三五番
證券部　電六一六八番
株式市場　電四四七七番

大連取引所
錢鈔取引人組合
劉仙洲
任召南

奥田時計店
大連市浪速町三丁目
電話六七三一番

滿日、大每、內地各地新聞販賣
辻山洋行新聞部
大連市山縣通六四
電話（三七〇六・五〇〇〇番）

合資會社　大連洋行
大連市連鎖街廣小路
電話（二二五三・六〇二五番）

銘酒　菊正
サツポロビール
盛進商行
大連市山縣通り一四一
電話五四七七番

銘酒　白鹿
ユニオンビール
辰馬商會
白鹿商店
電話五三四三番

自動車ボデー、設計製作
濱田工業所
濱田光三
大連市若松町四十四番地
電話八八四一番

絹洋服地
絹織物
富士絹
ワイシャツ
NS
日華蠶絲株式会社出張所
瑞豐
大連山縣通一七一
電話長八七一四

RCAビクター輸入元
羅紗雜貨輸入卸
地金銀白金賣買
合名會社　三清洋行
近藤三彌
河田清二
大連市山縣通五五
電話（長）八二九四番・二二六五〇番

時計　裝身具　貴金屬　蓄音器　眼鏡　徽章類
確實な店　總本店　近江洋行
大連市浪速町二丁目
電話代表八四四四六番・四二三番
支店（青島、奉天、京城、錦州）

均質牛乳
この牛乳で始めて安心
脂肪球が細かくて數が多いので滋養が豐富で消化吸收がよいまま牛乳同樣でヴイタミンに富む
純良牛乳
純良バター（御家庭用に）コーヒミルク
滿洲牧場
大連市櫻町
電話（代表）六一三四番
奉天支店　八幡町四・電話四三八五
鞍山支店　北三條町三十一・電話四一一三

滿洲化學工業株式會社
本社　大連市常盤町

大連製氷株式會社
大連市常盤町二三
電話四八七三・五四八〇
電話六三一三番（信濃町）

不動產管理處分
株式會社　鴻業公司
大連市山縣通一四二
電話三六二九番

製造品目
並厚、三粍窓硝子
四、五、六粍各厚板硝子
摺硝子及小紋硝子
昌光硝子株式會社
大連市秋月町二十番地
電話九一七四番

太陽牌膠皮鞋製造元
日本足袋株式會社
大連支店
大連市加賀町十六番地
電話（長）二一六五二番

轉ばぬ先きの杖、不慮の災難にこの保險
大連火災海上保險株式會社
大連市常盤橋中央ビルデング
電話（長）五四一二番・三五六一一番

總ては春の姿

あらゆる階級の人々が押寄す
成人熱河の事情

暴戾な舊東北軍閥の膺懲に曾ては鐵火の雨を降らした熱河省にもまた麗かな春が廻つて來た、長城の山波は遠く紫に霞み灤河の流れは何時しか潺々の響を立てる、秘境離宮の丘の上にも夢のやうな陽炎が燃え始めた、鳥が啼く、馬が嘶く、すべては春の姿である、康熙帝以來顧みられなかつた熱河も滿洲事變に蘇へつて麗かな第二春を迎へたのだ、而も昨年とは異り今年は執政の御即位もありこの輝かしい歷史を迎へて同じ春でも潑剌たる粧ひである、街には汽車の汽笛が鳴り村には自動車のエンヂンが響く、電燈も灯され電話もかゝり、目醒ましい新興の躍進である空には平和の慈雲が棚曳いて地には「成人熱河」の曲が奏られる、春にめぐまれるもの——熱河は日々に拓けて行く……いろ／＼な意味で謎とされてゐた熱河省が日本あるひは世界の認識に上つたのは一昨年の春王道立國滿洲國が建設されてからである、それが熱河作戰となり國際聯盟の問題となつて一躍世界の舞臺に登場し續いて平和克復、文化建設によつて熱河省の名は普遍化した、而もその熱河省は今後の經濟的諸關係に於て多大の關心を寛めてゐる、もと／＼熱河省が對外的に認識を與へなかつた事は土地邊陬に位して地理的に惠まれず從つて文化の交涉薄く交通不便な結果からと云はれてゐるがまた一方舊東北軍閥が極端なる排他主義から外來者の出入を阻止したと云ふ事實も否めない原因の一つであつた、謎の熱河として想像圏内に置かれてゐたのもその爲めで地下の經濟は徒らに死藏され康熙年間の豪華版と云はれた離宮、ラマの伽藍とへ餘りに紹介されず暴虐な虐政下に埋もれて來た處が熱河聖戰を一契機として謎の扉は靜かに開かれ正體熱河が普く認識されると同時に文化建設の運動は澎湃として起りいま省を擧げて全面的に動きつゝある

◇……◇

熱河省を語るには先づ省内の地形から述べねばならぬ、熱河省は滿洲國でも西南隅に片より興安山脈につゞいてゐる關係上到るところ山が多い、でなければ不毛の曠原である、朝陽から凌源平泉あたりまでは赭土の山、凌南の省境から長城線にかけては岩石露出の峨々たる險山で承德あたりも山の中、それより北の隆化も山また山の山岳地帶である、川は幾條となくその山波を縫ひ耕地は僅かその川べりに點在するのみ、赤峰附近も山多くそれより以北興安省に隣接の地はまた見渡す限り茫漠たる曠野である、斯うした地勢にある關係上匪賊の橫行も甚だしく皇軍入省後と雖も李海山、唐七點五龍、老耗子など大匪團を始め大小無數の賊團が各地に割據して掠奪暴行を恣にしてゐたためにその被害を蒙らざる地がなくこれが爲め土民は生命財產の保障なく安んじてその業に服する事も出來ず家業を拋ち耕地を棄てゝ他へ避難する者多く長きに亘る軍閥の搾取誅求と相俟つて一時省内は疲弊困憊その極に達してゐた

◇……◇

ところが皇軍の治安維持に當つて以來滿洲國側と協力し日夜これが討伐に當り或ひは宣撫よく努めた結果その多くは掃蕩され或ひは歸順して今では賊影を認めず治安全く恢復して何れも安住樂業についてゐる平和の風駘蕩と吹くところ牧童も高らかに角笛を吹いてゐる

◇……◇

熱河省の人口は滿洲人三百六十萬人、蒙古人四十萬人、計四百萬人といはれてゐる、邦人は聖戰後漸次入省し所謂寶庫熱河の宣傳がきゝ過ぎて始めは軍隊を對象とする料亭、飲食店これを根城とする藝酌婦、女給、御用商人のみであつたが今では旅館洗濯業、時計商、土木業、雜貨商、菓子製造、豆腐製造、寫眞屋、湯屋と總ゆる職業人を網羅し先づ朝陽の千百人、凌源の七百人、平泉の三百人、承德の九百二十人、赤峰の七百人を始め北票、口北營子、葉柏壽、建平灤平、古北口、凌南といたるところその姿を見ざる無くその數約五千と云はれてゐる、一時は困つた醫師さへも今では飽和狀態である

衛生方面は文化の低い關係上一般に思想幼稚で一度罹病すれば病勢の成り行きに任す舊習の狀態にあつたが昨今は邦人側の限地開業醫も見、その上日滿軍警間に於て屢々衛生會議を開催し衛生思想の普及に努めてゐるので漸次向上の狀態である、省内の主なる疾病は呼吸器病、皮膚病、眼病等で花柳病も相當多く蒙古人には梅毒、滿洲人には淋病が流行つてゐる、學界の謎、甲狀腺の腫脹は平泉南方の山間僻地に多く寬城附近に行けば澤山の瘤男、瘤女が見受けられ彼氏、彼女等は咽喉元に大きな瘤をフラつかせながら而かも眞面目に戀を囁いてゐる

◇……◇

獸取引は事變前主として平津地方に行はれてゐた、事變後は關税その他の關係により奉天營口方面に轉向したが即ち赤峰、北票、朝陽は錦州を經、奉山鐵道により平泉地方は驢馬、駱駝により喜峰口を經、承德附近は灤河を利用し或ひは古北口を經、相當額の取引を行つてゐた、それが事變中通商が杜絕し事變後國境關税が賦課さるゝやうになつてその取引は一變し奉山線利用による奉天、營口方面と結びつけられたのである、若し將來承德或ひは古北口に鐵道が敷設さるゝ曉あれば更に熱河貿易は一大變革を來し遠く察哈爾の多倫、張家口にまでも進出するであらう

通貨は十年以前まで吊文紙幣が一般に行使され民國十年熱河省興業銀行開設されてからは該銀行券を所謂「熱河票」として流通した、その後省政府の紙幣濫發に起因して漸次市價を下落せしめ不換紙幣として商民もこれを喜ばないので遂に現大洋一元につき同票五十元にまで低落した、併し滿洲國の建設とともに中央銀行が設置され同票五十元に對し中央銀行券一元の換算率を以つて兌換し回收に努めたので漸く通貨の安定を見、ソレに同銀行が一般業務も開始したので商民はその利便に非常に感謝してゐる、一般產業は地勢交通の不便な關係からこれが指導開發は比較的閑却されて來たが今後鐵道施設が完成し、交通機關が整備すれば或る程度まで引上げることが出來るであらう

◇……◇

現在においてすら朝陽、凌源、平泉附近からは熱河特產の大宗といはれる阿片を始め粟、高粱、大豆小豆、包米等の雜穀を產出し林檎葡萄、梨、棗、杏子等の果實も稔り凌南地方からは名物の蔬菜が產出する、灤河の川べりには水田が拓け赤峰地方からは羊毛、皮革を始め甘草、阿片が輸出される。夏の候カッキリ晴れた大空の下雪かとまがふ罌粟の花盛りは熱河でなければ見られぬ美觀の一つであるがだが熱河省は前にも述べた通り山岳地帶が多く耕地は極めて尠い、然うした關係上地上の物產は隣接の奉天省や吉林、黑龍兩省と比較にならず現在では熱河一省の自給自足にも達しない貧弱な有樣である。

たゞ前人未到のまゝ顧みられなかつた地下の經濟價値が今後の大きな謎として殘されてゐるが今の處では北票、新邱、隆化などが石炭礦として採掘に着手されたのみ、この外に金、銀、銅その他の鑛物が無盡藏だと傳へられてはゐるが未だに採鑛の着手を見ない、これも滿洲國の鑛業統制により何時世に現はれるか不明であるが併し國内の整備國礎の充實と相俟つて近き將來には必ずや採掘されるであらう埋藏量など幾何なるや一種の謎として疑問符上に置かれてゐる關係上そこに多大の興味を持たれる譯だが或ひは地上の貧弱なる物資を地下によつて補ふ事になるやも知れない。

◇……◇

ソレにしても必要なのは近代文化の注入である、道路に鐵道に電燈電話、電信にその完成は現在の熱河省として焦眉の喫緊問題とされ既に道路は滿洲國の建設により朝陽より古北口まで幹線國道として着手し朝陽赤峰間もまた修築されつゝあるが併しまだ完成に至らず雪解けまたは雨季に際會せば、[illegible]む無きに至るであらう、凌南、凌源間平泉、喜峰口間、承德、隆化および赤峰間、平泉、寬城間、凌源、赤峰間また主要道路であるに拘らず荒廢破損に委せてゐる。鐵道は北票線口北營子より朝陽までは既に假營業が開始され朝陽より凌源までは目下工事中である、四月中旬か五月上旬までには開通さすべく完成を急がれてゐるがこの道路、この鐵道などは特に熱河產業開發に重要な使命を帶びてゐる關係もあり、鐵道は更に赤峰までと承德を經て古北口までの延長を要望されてゐる「一寸奉天まで」などゝ氣輕に旅行し得らるゝ事になれば熱河文化の建設にも之れが根幹となつて多大の貢獻を齎すであらう。

◇……◇

バスは現在のところ朝陽を起點として赤峰と承德に毎日運轉されてゐるが賃銀は片道國幣赤峰まで九圓、承德まで十四圓である、承德から赤峰にも通ひまた北平にも運行されてゐる、承德北平間は古北口を中繼として古北口までが五圓、ソレより先き北平までが六圓、また平泉、北票間は十二圓五十錢である、熱河過渡期における交通機關として利用されてゐるが飛行機もまた毎週五日間錦州、朝陽、凌源承德のコースを往復し奉天にも連絡する、承德まで片道が國幣の四十五圓で機上から熱河の秘境を探勝する等は恐らく同地方としては尖端的の旅であらう。

◇……◇

電燈は既設の北票を始め朝陽、赤峰にも灯つたがこの三月中旬からは承德の市中にも點燈される事になつた、その他の都市即ち凌源、平泉、凌南、隆化、灤平、古北口は何れも前世紀の遺物である洋燈により漸く照明を得てゐる始末で夜間の市中は全く暗黑の世界である、電氣事業はその點燈によつて動力供給により種々の企業を促進し生活の向上を圖るのみならず土地の治安維持にも至大の關係があることゝもなるから近い將來には右都市の點燈は勿論延いては熱河電化といふ大きな計畫も目論まれるであらう

電話は現在赤峰と承德に架設されてゐるが今回更に赤峰五十個承德八十個の增設を見た、朝陽にも近く架設される運びになつたがこれも一般都市に架設の機運にあり、軈ては長距離電話も開通し奉天、大連あたりと「あゝモシ／＼」てな調子で通話が出來るやうになり商取引その他に至大の福音を齎すこと請合だ電報も各主要都市に取扱はれ赤峰、北票、朝陽、承德のほか二月始めからは凌源、平泉にも漢文、歐文のほか和文も併せて取扱はれる事になつた、錦州からの無電通信は現在赤峰間だけ直通となつて居り承德間は奉天迂廻の不便な狀態にあるが近く錦州に對熱河の一大無電送信所を設置するの計畫あるから完成の曉は承德とも直通となり總ての點において便利になる譯である

◇……◇

その他灤河の水運、牧畜の改善等も計畫にあり加工工業なども相當考へられてゐる。即ち未開熱河は未だ幼稚であり建設時代であるが以上鐵道の敷設、道路の開鑿、電氣事業の普及、電信、電話の架設その他文化施設の擴充により地上の物資、地下の鑛產を開拓し以て新興熱河の價値を引き揚げやうと努力してゐるのである、北、滿目荒涼たる千里の曠野、東、赭土の丘陵と不毛の山、西南、峨々たる險峰、この文化未到の熱河は產業黎明の處女地としていま總ゆる人工に科學の力が動きかけてゐるのだ、拓け行く熱河——その躍進途上に「成人熱河」の行進曲は朗かに演奏されてゐる。【寫眞は熱河街道キャラバン】

慶祝滿洲國即位大典

奉祝滿洲國帝政

國務院總務廳
新京市政公署

滿洲中央銀行
總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
吳思培
武安福男
劉燏棻
五十崎保司
劉世忠
監事 闞潮洸

滿洲國協和會

國際運輸株式會社
新京支店
支店長 蔘沼泰一

株式會社 福昌公司
新京出張所
新京八島通四二

新京電話工業株式會社
新京日本橋通七三
電話 三四七八 三九二一 番

株式會社 滿洲モータース
新京支店
新京八島通三二
電話三九〇八番

社團法人 新京賽馬倶樂部
新京富士町六
電話二三二三番

被服請負
株式會社 丁子屋商店
新京出張所
新京老松町四
電話四九五五番
本店 京城

滿鐵新京販賣事務所

新京地方事務所長
荒木章

新京販賣事務所長
久松治

南滿瓦斯株式會社
新京支社長
青木哲兒

新京輸入組合
理事 久末吉次

新京附屬地
各學校長一同

新京警察署長
高山勝司

新京地方委員議長
辯護士 大原萬千百
新京老松町一六
電話三九三七・三九六七番

新京商業會議所
理事 大垣鶴藏

新京驛區長一同

新京郵便局職員一同

三井物産株式會社
新京出張所長
中山佐吉

大連火災海上保險株式會社
新京出張所
所長 細井研智
新京八島通三二
電話三〇七四番

大信洋行新京支店
支配人 村上照一

滿鐵新京醫院一同

堀山産婦人科醫院
院長 堀山研作
新京蓬萊町一丁目一五
電話三一八〇番

知識眼科醫院
院長 知識吉彦
新京大和通六六

株式會社 山葉洋行
新京出張所
新京梅ヶ枝町
電話三二五七一番

金華號新京支店
新京日本橋通
電話三八四二番

羅紗及御服附屬
建築材料及塗料
加藤洋行支店
新京日本橋通

內田洋行新京支店
新京中央通
電話四七四四番

和洋雜貨
平本洋行
新京日本橋通
電話一一五番

大連出光商會
日本石油製品 新京代理店
撫順公司新京支店
石橋德太郎
新京日本通橋
電話二四四三番

各種皮靴
毛織物綿布
貿易商 合資會社 廣本洋行
新京日本橋通

松田商會
松田彌三郎
新京大馬路四九
電話 四三七九 六四八九 番

世帶道具と食料品の店
遠藤洋行
遠藤才次
新京中央通
電話四四五四番

森洋行新京支店
新京中央通四八
電話三八七三番

大阪屋號書店
新京中央通
電話二三二一番

文具の店
林洋行
新京日本橋通
電話二一六五番

滿洲金物株式會社
新京支店
新京永樂町二
電話二八一九番

寶山燐寸工場
前田伊織

和洋雜貨
寶山洋行
新京永樂町一丁目

品川洋行支店
新京日本橋通五九
電話 三二〇五 六九二三 番

大華窯業公司
新京日本橋通
電話二八四〇番

合資會社 勝本商會
新京曙町三ノ四
電話二六六八番

南滿洲電氣株式會社
新京支店

滿洲電信電話株式會社
新京首席駐在員 中谷彦太
新京中央電報局長 有川博基
新京中央電話局長 福永高介
新京放送局長 加藤誠之
新京工務所長 長谷忠二
新京無線工務所 佐々木敏郎

土木建築請負
碇山組
本店 奉天青葉町一四
電話四六五二番
支店 新京曙町二丁目一二
電話三三五三番

新京石炭商組合
松茂洋行 電話二〇四二 二五六二 東二條通
泰利號 電話二一七〇 二六九〇 東一條通 日本橋通
加藤洋行 電話二〇三二 日本橋通
大昌煤局 電話二五八二 三四七一 祝町三丁目
裕新公司 電話二三一三 北大街
仁和洋行 電話二五八二 三四七一 三笠町
泰山行 電話二一五六 日本橋通
新泰洋行 電話二二九七 祝町四ノ四

大興股份有限公司
資本 國幣六百萬圓(全額拂込濟)
主要業務 當業、造酒、製油、雜貨賣買、財產ノ管理、代理業、公債、社債券其ノ他有價證券募集並引受
本店 新京特別市北大街第三十六號
支店 奉天、新京、吉林、哈爾濱
營業店 滿洲國內重要地四十七ヶ所

和紙
洋紙
鳥ノ子紙
薄葉紙
武生製紙所
特產製紙株式會社
株式會社西野製紙所
株式會社丸井工場
總代理店
紙問屋 丸三合名會社
新京出張所
新京老松町九番地
本店 大阪西區靱上通一丁目
電話三一八八六番

慶祝・新帝卽位

國民の渇望 こゝに充たさる

ハルビン總領事 森島守人

滿洲國新帝陛下には天命に順ひ五族三千萬民衆の熱望に推されて本日御卽位の大典を擧げさせられる。滿洲百四十萬平方粁の全土が陽春の光の如き歡喜に浸ることも亦誠に宜なりといふべきである。滿洲帝國は茲に限りなき待望の裡に產れ出でた次第であるが、同國が之に依つて獨立國としての地歩を一層鞏固ならしむるに至つたことは、特に滿洲國と緊密な關係にある善隣の日本人として滿洲國人と共に慶祝に堪へないところである

思ふに滿洲國建國以來僅に二年に過ぎないが新興國として活潑々地の發展途上にあり、經濟的建設に於ては先づ幣制は統一を見、交通機關は整備せられ、航空路は四通八達し、敦圖、拉濱、二鐵道建設の結果は海を隔て、日本と息々相通ずるに至つたし、道路も亦既に國內樞要區間二十路二千粁の完成を見、其他各般の施設は着々として進捗しつゝあり、斯の如き經濟建設の成就は全く日滿兩國軍並に各警察機關の涙ぐましい努力による治安維持の賜であつて、之を往年の舊軍閥當時の滿洲又は中華民國の現狀と比較する時實にこの國こそ王道樂土の名實を具有するものだとの感を深からしむる、治安維持確保に伴ふ經濟建設は上述の通りであるが、更に政治的方面に就て見るに、行政機構は整備せられ、野に遺賢なき迄に人材の登用行はれ、政治建設は日に月に進展の一路を辿り五族協和の實績を擧げんとしつゝあり、新帝の御卽位は眞に畫龍點睛とも申すべきもので聖、賢、智を一身に具有せらるゝ王者の出現を見、化養の治に浴し、順天安民の善政を謳歌せんとする全國民の渇望は茲に充たさるゝに至つた次第である、新帝陛下の聖明なる御資質に就ては今更贅言を要しない、新帝の御登極に依て滿洲帝國の基礎は磐石の重きを加ふる次第であるが、最も重大なりと爲すべきは、滿洲人の心理建設が之に依つて成ることであつて三綱五常依つて以て樹ち、王道蕩々萬邦をして之を仰がしむるの基礎をなし、德治主義の國家として行詰れる各國政治の是正を示唆するものとなり、世界文化の向上に貢獻する所多大なるべきを思ふ次第で、之は今後の滿洲帝國の政治建設、經濟建設將又文化建設等の上に如實に表現せらるゝものと待望するものである

友邦滿洲帝國は之よりして內は上に聖明なる元首を戴き順天安民王道樂土の實現を見るに至るべく外は、國際信義を重んじ各國との邦交は益々敦厚を加ふべく、日滿兩帝國の提携は愈々固かるべく、東洋の平和は恒久に確立せられ、隣邦中華民國及ソ聯邦との友好關係は更に好轉し、延いては各國の不承認問題の如きも解消を見るであらう、斯く觀じ來れば、滿洲帝國は波靜かなる大洋の眞中に確實なる航海を續け來たり、今や更に「スピード・アップ」せんとして居るの槪がある、その前途實に洋々たりと言ふべきである

茲に謹んで新帝陛下の聖壽無窮を奉祝し滿洲帝國の健全なる發展を祈る次第である

東洋政治思想の動向を暗示

奉天總領事 蜂谷輝雄

本日の御盛典による滿洲國帝政の實現は、新皇帝たる溥儀執政の御英德に基く天意の發露として、又國內三千萬民衆の人心を安定し、その國礎を固むる意味において、滿洲國成立以來最も慶賀すべきことである、又今回の帝政實施を國際的に觀察するに、これにより新たに極東に一新帝國を出現せしめた意味において東洋史、否世界史上の一大劃期的事業として最も意義深きところであり、又これによつて近時高まりつゝあつた諸外國の滿洲國に對する認識を一層强からしむるものと考へられるので、之は眞に世界平和のために悅ぶ可きことゝ思ふ、更に之を現代の政治的思潮から見ると、一頃世界を風靡した所の共和政治に對する疑念が昨今起りつゝある際に新興滿洲國が率先してこの帝政を實施したことは將來に對する世界的少なくも東洋的政治思潮の動向を暗示するものとも思はれ、此の意味に於ても極めて重要視すべき所と考へられるのである、帝政實施に際し新皇帝の萬壽を祈り奉ると共に滿洲國の發展を希望し以て祝詞とする

上順天意 下應民心

北滿特別區長官 呂榮寰

辛亥民國成立以來九・一八事變に至るまで二十年の歲月を經たがこの二十年間に我滿洲三千萬民衆は軍閥の暴政の苦を嘗めたが、幸にして九・一八事變の機に乘じ隣師を借り醜類を驅除し民族自決の精神により滿洲新國を建てゝより歲月匆々既に二星霜を閱した、此の二年の過程中朝野上下の努力及友邦の熱烈なる援助により種々なる建設今日の成績を收めたのは吾人の自ら大いに慰め、且つ友邦に對し感謝措く能はぬところである、建設上に於ては相當の進展を見たが國體上なほ確實なる制定無く建國の大義未だ備はらざるものあるに依り、三月一日を期し天意に順じ、人心に應じ我執政皇帝の位に就き、國體を君主となす、萬姓歡騰朝野共慶す、實に千載難逢の盛典である、現に中央政府は憲法調査委員會を組織し憲法の編成に從事しつゝあり、大約明年三月には公布されると聞く之に依つて國家體制は益々完備し國家の基礎は益々鞏固となり我三千萬民衆は永く王道樂土に住ひ、安居樂業の生活を樂しむ譯である、我滿洲國民は之に依り永く王道の恩澤に浴し東亞民族の幸福世界永久の和平を見るべく我等臣民無限の欣賀の意を表するを禁じ得ない處である、所謂國家とは多數の風俗思想歷史言文相同じき民族が一定の土地內に組織せる生活集團の謂である、その國家の體制政治の主義は人心趨向の一種の反映的表現である、友邦日本は其の人民忠君愛國の精神に富み、皇祚無疆の思想を抱くが故に君主立憲の國體を有するし、佛米兩國人民は自由の思想に富み進取主義を抱くが故に人民共和の政治を有する、是各國建國の精神政治の主義各異なり、何れも一種の傳統的觀念を有しその由來する處久しく決して偶然のものではない、我滿洲は邊垂に位置し民風樸茂孝悌忠信の思想に對し一種の傳統的特性を有し如何なる新主義と雖も此の舊思想に抗するを得ない之滿洲民族と善隣日本の根本的一致點である、日本は明治維新以來今日迄六十餘年の努力を經、君主立憲王政復古の薰陶を受け遂に今日の政治の休明、經濟の發展、文化の優越、軍備の强大を齎し進んで世界三大强國となつた、滿洲人民は辛亥以來廿年未だ共和の福を享ける事なく、軍閥の害のみを受け來つた、之三千萬民衆が獨自の建國と帝制の實施を渴望する由來であるが、他面我執政の聖德格天民隱を化治し、臨御二載に過ぎないが功德全國に著しく遐邇賓服、朝野謳歌し三千萬人民の三月一日の皇帝卽位を渴望する所以でこれより順天應人大いに先王の道行はるれば人民は更に一層王道の恩澤を享受すべく帝制の實施は實に自然の趨勢であり必然の徑路で所謂上順天意下應民心とはこの謂である天既に水深火熱の中から我三千萬民衆の蘇生の機を與へた以上、我民衆は此の意を體し忠君護國の精神により勇往邁進吏始を圖り天心に副ふべきは三千萬民衆の天職である。

滿洲國大典記念繪はがき

黎明の曉雲開く

新京特別市長 金璧東

天意の趨く處些たる人爲を以て之を阻むべくも非ず、而も滿蒙三千萬民衆の輿望滔々として之に隨ひ茲に溥儀執政の御登極に會ひ奉り、順天安民の帝制國家は窮りなき滿蒙黎明の曉雲を開きて出現す執政の英明に在し一に國利民福にのみ御心を用ひさせらるゝ大德を備へ給ふは申すも愚、三千萬民衆の欣喜、渴仰亦何をか言はん、惟ふに君主國たるべき滿洲國の理想は夙に建國者並に三千萬民衆の輿望として其の發見を見たるものにして執政出廬の當初より滿蒙上下の間に燃ゆるが如き立憲君主國建設の熱望蟠居せしは多言を要せざる所なり

而も民衆如何に王道樂土の出現を渴望せりと雖も暴虐極りなき舊軍閥の壓政下に在りて確たる指導者さへ有せざるに於ては、民衆の聲は無に等しく徒らに苦痛を反覆するに過ぎざりしも、俄然勃發せる過般の九・一八事件を導火線として爆發するや滿蒙獨立の聲、春潮の澎湃たるに似て止まる處を知らず、指導的人傑の出現に加ふるに善隣大日本帝國擧國一致の犧牲的援助に俟ちて滿洲國の獨立となり、共存共榮の大同國家の建設を見、今又茲に光輝赫々たる立憲君主國の實現に會へり

建國以來微力を致せる不肖又感激措く能はざる所にして、三千萬民衆と共に今日の盛典を天に謝し大日本帝國に感謝す

滿洲國の獨立、更に立憲君主國の出現、今尚世界列國の承認する處とならずと雖も嚴然たる此實在を驅諭以て如何となすや、而も尚この事實を快しとせざる國家なきを保し難し、皇帝の威容備はり滿洲國茲に安定したりと雖も天下愈々多事にして世界の風雲亦漸く急を告ぐるを感ずるとき、その局に當る者更に一段の大志壯圖を描くも亦痛快ならずや

要は日滿提携、五族協和、只管大東亞の和平に向ひて邁進あるのみ、正義の存するところ又何をか憂ひ恐れん

斯る四圍の情勢下に在りて滿洲國は既に大同三年の春を迎へ、國內の治安定まり人心既に一に歸し王道大政治の原則に返りて本道を歩み堂々國體を一決して君主制を定め、執政を推戴して第一代皇帝の榮冠を戴かしめ、三千萬民衆相和して光彩燦然たる新國家の偉容を示し、茲に極東永遠の平和は嚴然としてその基礎を確立せり

斯く滿洲國が其の國體の基礎を帝制に置くべきは、理論上よりするも實際上よりするも既に一點の疑義を存せざる所にして、天意、民意、合致の極なりとも稱すべく極東平和、世界平和を確保する上より見るも當然なる歸結なり

斯くして滿洲國が立憲君主國としての偉容を完備せる今日、人材を擧ぐるにも布衣の間に於て敢し、徒らに形式に墮したる老廢人物或は軍閥的人物を陳列することなく、苟も採るべき有らば山澤の一青年、巷間の一布衣をも擧げて新皇帝の輔相とするの英斷を以てせば日滿兩國他日の提携、勃興期して俟つべきあるは言を俟たず、不肖嘗親土の血を享けて國恩を蒙ることも亦大なり、此の盛世に會ひて只管感激あり、身を賭して盡忠の志あるのみ

恭値大典公布裁
執政卽
皇帝位爲非常榮幸之事凡民有擁戴心久
矣適來兵戎歲戢年穀順成天心顯示
東顧也天爲民立之君凡以從民欲耳
皇上俯允勸進大寶誕膺上下實一心也順
民心卽所以順天心滿洲全國咸仰望
皇上正此大位拯天下於水火而登諸衽席
仁民愛物納斯世於大同焉俾其禕而

丁鑑脩謹誌

奉祝満洲國帝政

瓦房店

- 復縣公署一同
- 娘々宮 海邊警察隊員一同
- 瓦房店國境警察隊 職員一同
- 復縣警務局一同
- 復洲灣煤礦一同
- 瓦房店電燈株式會社 社員一同
- 關東廳滿鐵會社指定土木建築請負業 井上組 電話七六番
- 白龍正宗釀造場 電話一一一番
- 許家屯 製造業 和記號
- 蘆家屯商務會
- 萬家嶺商務會
- 松樹商務會
- 許家屯商務會
- 田家商務會

- 地方事務所長 越智通明
- 警察署長 酒井碩三
- 醫院長 佐藤良治
- 蘆家屯 萩岡農園
- 萬家嶺 石材業 吉田連
- 萬家嶺 石材業 多田工務所
- 復州鑛業株式會社 川上眞水
- 復縣金融合作社 丹上義勝
- 復縣稅捐總局長 呂振邦
- 御料理 筑紫館 電話一五番
- カフエー キング 電話一三番
- さんば 大河原ヒロ 電話七九番
- 蘆家屯商務會長 共和村 鄒子厚
- 蘆家屯商務會副會長 天合成 鄒彛軒
- 蘆家屯 大有慶 高會鄉
- 蘆家屯 天順合 金翔閣
- 蘆家屯 全盛泰 王浮然
- 蘆家屯 慶合東 唐化南
- 得利寺商務會
- 松樹 元泰永 孫元福
- 許家屯 義成興 王擧英
- 萬家嶺商務會長 德生合 張蘭亭
- 萬家嶺 福全樓 王金五
- 萬家嶺 裕興隆 丁熙元
- 萬家嶺商務會副會長 松璧源 王振廣
- 洋酒、雜貨 德裕商店 電話二九番
- 田家商務會長 王向周

- 田家商務會副會長 宮子安
- 田家 那永順
- 田家 慶來盛
- 復縣第十三小學校職員一同
- 復縣第十二小學校職員一同
- 復縣第九小學校職員一同
- 撫順炭礦 炸子窰炭坑一同
- 鹽復製驗 緝私局
- 王家驛長 川口晃藏
- 公學校長 伊藤德市
- 田家驛長 籠蘭勇吉
- 瓦房店驛長 川名繁吉
- 復縣地方法院長 袁希懋
- 電燈會長 支配人 齋藤喜一
- 復縣檢察廳長 曹鵬飛
- 瓦房店小學校長 雪本一智
- 監獄長 伍光曦
- 松樹公學校長 山路猶龍
- 復縣苗圃主任 宋香遠
- 瓦房店郵便局長 女池賢純
- 許家商務會長 王品三
- 瓦房店保線工長 三宅善平
- 許家屯副會長 陳溪泉
- 地方委員議長 丸目保
- 許家屯 吉順東
- 東區長 森田彥三郎
- 許家屯 東興盛
- 電報電話局長 末武時太郎
- 萬家嶺 忠發德
- 消費組合主事 赤木源五郎
- 萬家嶺 利發長
- 滿鐵、陸軍指定 みどり旅館
- 松樹商務會長 劉星輔
- 蘆家驛長 陶山太平
- 松樹 東盛隆
- 九寨驛長 山賀仙造
- 松樹副會長 趙鑄三
- 許家屯驛長 小林光威
- 得利寺 蕭雲章
- 萬家嶺驛長 若林彥一郎
- 得利寺 衞子陽
- 松樹驛長 鹿野鶴造
- 得利寺 蔡聖禹
- 得利寺驛長 竹澤富久治
- 滿日支局長 井上秀雄

洮南

- 洮南縣 縣長 齊鄉
- 參事官 永井正
- 副參事官 岩尾精一
- 警務指導官 井村衷
- 同 浦山德太郎
- 同 岩元一雄
- 總務科長 孫炳輝
- 警務局長 許越衡
- 內務局長 王廼武
- 教育局長 于香九
- 洮昂 齊克 洮索 鐵路局
- 滿鐵洮南事務所
- 洮南日本居留民會
- 洮南電燈廠
- 洮南輕便鐵路公司
- 國際運輸株式會社 洮南營業所

- 洮南康樂街 南滿旅館 川本與賀郎
- 洮南康樂街 御料理 青楊
- 洮南康樂街 御料理 藤乃家
- 洮南康樂街 御料理 松芳樓 支店 白城子城內
- カフエー ミス洮南 洮南康樂街
- 和洋御料理 御壽司 折詰辨當仕出 鈴蘭 洮南康樂街 電話交通七一一
- 洮南康樂街 食道樂 高砂
- カフエー アルシヤン 洮南老馬市
- カフエー ふく助 洮南康樂街
- 洮南同樂街 御旅館 萬國ホテル 電話交通一六七
- 洮南柴市街 南滿醫院 朝山英夫
- 洮南康樂街 陸軍御用達 永昌號
- カフエー ホンカン (洮南康樂街 電話交通九三) 政洋千節安 代 子子子子子
- 陸軍御用達 滿鐵社產物製藥部 貿易商 高木洋行

- 洮南朝鮮人民會
- 洮南富文街 滿蒙貿易館 昭盛號
- 撫順印刷會社 洮南出張所 洮南康樂街 電話交通一六一
- 洮南商務會長 張遇春
- 洮南稅捐局長 喩榮華
- 大矢組洮南出張所
- 滿洲日報洮南支局

洮安

- 洮安縣
- 縣長 張殿銘
- 參事官 高橋光雄
- 副參事官 稻田勝芳
- 警務指導官 松本寬二
- 同 藤原今衛門
- 同 古賀定治
- 總務科長 王盛貴
- 警務局長 李樹田
- 內務局長 佟履謙
- 洮安縣商務會長 王香九

春光〝慶祝滿洲帝國〟に輝く

滿洲日報

第一號外

本號外は本紙に再錄いたしません

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　滿洲日報社

大滿洲國皇帝登極
吉川鐵華謹賦

天使偉人創帝基　協和五族表旌旗
菊留晩節詩眞性　蘭放清香盛典儀
渤海濤波韶景麗　興安嶺雪瑞光披
古陵松栢輝加翠　黍庶癸心献賀辭

前題

登極盛儀萬象新　滿洲誰不賀佳辰
謳歌遥仰攀龍㒵　匹是堯天舜地民

列國の視聽を集めて新生帝國の第一歩へ
けふぞ第一世皇帝即位

【新京特電一日發】さきに三千萬民衆の熱望によりて帝制實施を決定し天の啓示に基きて溥儀執政を皇帝に推戴すべく決定した滿洲國は建國第三年の本日、三月一日を期してこれを實現し國號を「大滿洲帝國」と稱し年號を「康德」と改むるとともに、第一世皇帝の即位に伴ふ諸制度の改革に關する諸根本法規を制定公布し、こゝに列國驚異の視聽をあつめて輝かしい新生帝國としての第一歩を踏み出した、この日新帝國の第一世皇帝たるべき溥儀執政の皇帝即位の大典は午前八時郊祭の大儀に引續き正午より勤民樓においていとも莊重に執り行はれる、即ち溥儀執政は早朝滿洲古代の莊重なる祭服を召され文武大官を從へて午前八時輿運門を出御、同十五分順天廣場に設けられたる郊祭式場に着御、神々しい儀式を執り行はせられ、次いで正午より大元帥の御正装を召され、勤民樓上において政府文武百官及び外賓奉仕侍立の上金色の御紋章燦然と輝く高御座に登らせられ登極の大儀を行はれる、かくて建國二年創業の國務にいそしまれた溥儀執政は御年二十九歳の萬壽節を迎へられて間もなく父祖の因縁も深い新興大滿洲帝國第一世の皇帝に踐祚され、こゝに東亞の新しき君主國大滿洲帝國の國礎は巖然として確立し新帝國及び新皇帝を壽ぐ萬歳の聲は全滿の山野をおほうた

けふの二大盛儀

嚴肅なる郊祭の御儀
午前八時順天廣場にて

【新京特電一日發】この日溥儀執政は午前五時半御起床、御自ら滿洲古代の祭服を召されて七時五十五分掌禮官の嚮導で啓化門を出御、中和門前にてお召自動車に召され迎暉から御出門、宮廷府前廣場に編成お待ち申上げてゐた鹵簿供奉員を從へられ出御の報告自動車を先頭に先導車、警正、督察官車、掌禮官車、宮内府大臣車、前引車、警衞長、宮廷府警務科長車、侍衞官車、お召車の御順で、これに續いて更に十數臺が供奉し總數二十五臺の自動車は午前八時輿運門を出門、輿運路を右折長通路を東六馬路に曲り大馬路から左折、朝日通りを一直線に大同大街に出て大同廣場より朝陽路に右折、東萬壽街を左に同八時十五分順天廣場正門に着御、幄舍にて御小憩の後天壇に進まれ南に面し着御される

て莊嚴なる燔柴迎神の儀に次いで禮拜を行はれ引續き典贊官によつて送神の儀送燎の儀が行はれて嚴肅な郊祭の御儀を終らせられる、時に八時四十分執政には御小憩の後八時五十分一路輿運丘宮廷府に

勤民樓上の登極御儀
三千萬國民に詔書を賜ふ

【新京特電一日發】郊祭の儀について正午輝く登極の御儀が行はれる、郊祭より御歸還の新帝は御少憩の後燦然たる大元帥服を召され掌禮官等を從へられて啓化門から中和門を經て勤民樓の承光門に進まれる、晴れの登極式に參列する光榮の文武高官及び外賓は十一時三十分までに參入、勤民樓階上の式場に整列、かくて執政は十一時五十五分勤民樓に入られ御小憩の後正午大禮官の嚮導にて式場に入られて燦然と輝く高御座に上られる、こゝに滿洲帝國第一世の皇帝の御位につかせられた新帝は三千萬國民に賜ふ詔書に御璽を鈐せられ綸音朗かにこれを御宣讀、終つて鄭國務總理大臣は新帝の御前に進み畏みて賀詞を奏上し參列諸員一同新帝の萬歳を三唱する、鄭總理大臣は恭しく詔書を拜受して原位置に復し參列者一同とともに最敬禮を行つて大禮官式の終了を奏上、新帝には大禮官の恭

新皇帝親筆

顧
提天之
明命

【說明】書經の太甲篇に、湯の天子太甲が天に誓ひたる言葉の中に「是の天の明命を顧みる」とある、意味は天子たるものは天の明命を受けて帝位に即きたるものなれば、この重大使命を片時も忘れず、君德を修め民を治めざるべからずと言ふに在り

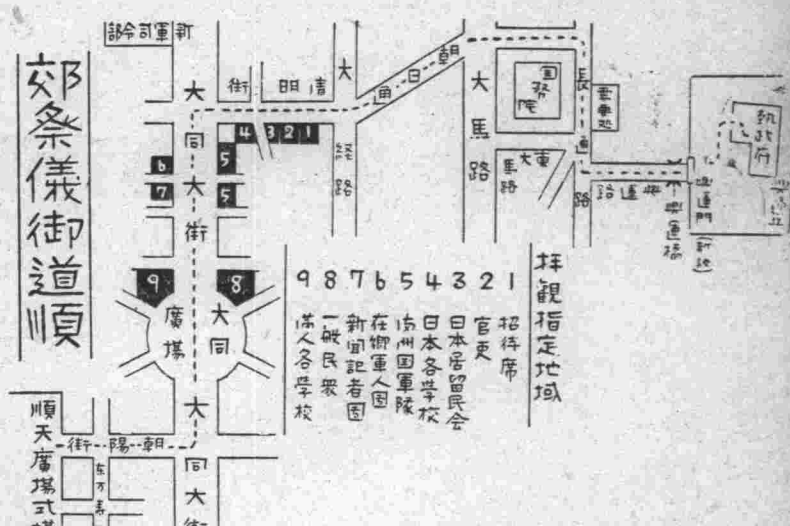
鹵簿次第

【新京特電一日發】一日早朝執政府より順天廣場の郊祭式場に成らせられる鹵簿の次第左の如し

(一)報告車＝首都警察廳巡官一名(二)先導車＝同警佐一名、(三)第一號車＝同警佐一名(四)民政部警務司督察官一名(五)第二號車＝掌禮官(六)第三號車＝宮内府大臣(七)第四號車＝前引官(八)第五號車＝皇帝警衞長(九)第六號車＝宮内府警衞科長、侍從武官長管理侍衞官一名、宮内府憲兵(十)御用車(十)第七號車＝後扈官(十一)第八號車＝侍從武官(十二)第九號車＝侍衞官(十三)第十號車＝捧璽官(十四)第十一號車＝護軍統領、宮内府憲兵長(十五)第十二號車＝警視總監(十六)第十三號車＝民政部警務司長(十七)第十四號車＝京師憲兵司令官(十八)第十五號車＝新京憲兵隊長(十九)第十六號車＝首都警備司令官、吉長地區警備司令官(二十)第十七號車＝隨行(二十一)第十八號車＝

護軍六名(二十二)第十九號車＝(同六名)第二十三號車＝新憲兵分隊長(二十四)第二十……

慶祝・大典
即位の眞意義
國務總理大臣　鄭孝胥

日滿兩國の精神的結合緊密
趙欣伯

仁政・全國衆庶に治し
大典に際して國務院佈告

【新京特電一日發】康德元年三月一日新帝陛下即位大典に當り鄭國務總理大臣は左の佈告を發した

國務院佈告第一號

爲佈告、茲ニ恭シク
皇上登極ノ大典ニ逢ヒ普天率土與ニ其慶ヲ同フスルノ日ニ方リ本國務總理大臣欽テ
聖諭ヲ承ケ赦令ヲ奉行シテ解綱ノ仁德ヲ洽クセル外更ニ
恩綸ヲ拜シ、孝子、節婦ヲ表彰シ耆老ヲ敬式シテ以テ禮俗ヲ淳フシ、又慈善事業ヲ奬勵シ其發達ヲ翼成スヘク恩賜財團ヲ設置シ更ニ中央社會事業聯合會ニ命シテ難民ヲ救恤シ無告ノ民ヲシテ同シク其恵ニ沾ハシメ、加ツルニ文武ノ官職ニ在リテ其身ヲ建國ノ業ニ殉シタル者ノ遺功ヲ追褒シテ遺族ヲ撫䘏スヘク均シク國帑ヨリ支撥シ
天慈ノ遺漏ナク膏澤ノ普及ヲ圖ルヘク備サニ案ヲ具シテ有司ニ飭令シ以テ其徹底ヲ期セリ薄海ノ民皆克ク一視同仁ノ
鴻麻ヲ體シ相與ニ更始維新ノ德政ニ與ランコトヲ特ニ此ヲ佈告シ咸ヲ遍知セシム

康德元年三月一日

國務總理大臣

郊祭儀御道順

登極式場略圖

合三皇五帝之號而曰皇帝自古所傳皇帝之要道即孟子所謂保民而王而已　孝胥

只々感泣
外交部大臣　謝介石

不易の聖業創建
林博太郎

謹で登極を慶祝す
菱刈隆

至基誕受
睿德難名
謝介石

滿腔の祝意
八田嘉明

所懐を述ぶ
小磯國昭